

別記様式第2号（その1の1）

（用紙 日本工業規格A4縦型）

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の新設者変更							
フリガナ設置者	カッコウホクジン ハマナガクイン 学校法人 濱名学院						旧設置者： 学校法人 神戸山手学園	
フリガナ大学の名称	カサイコクアイガク 関西国際大学 (Kansai University of International Studies)						変更元大学： 神戸山手大学	
大学本部の位置	兵庫県三木市志染町青山1-18							
大学の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、グローバルな視野に立った研究能力、専門的知識・技術を修得し、国際社会において活躍できる人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的 (設置者を変更する理由)	教育研究活動を充実させ、魅力ある高等教育を地域社会に提供するとともに、より安定した学校経営基盤の強化を図ることを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	現代社会学部 【School of the Study of Contemporary Society】	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	神戸市中央区中山手通 6丁目5番2号
	総合社会学科 【Department of Applied Sociology】	4	80	3年次 10	340	学士 (学術) 【Bachelor of Arts in Philosophy】	令和2年4月 第1年次 令和2年4月 第3年次	
	観光学科 【Department of Tourism】	4	120	-	480	学士 (観光学) 【Bachelor of Arts in Tourism】	令和2年4月 第1年次	
	都市交流学科 【Department of Interdisciplinary Urban Studies】	-	-	-	-	学士 (学術) 【Bachelor of Arts in Philosophy】	平成18年4月 第1年次	
計		200	3年次 10	820			平成25年4月 学生募集停止	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	看護学研究科看護学専攻課程変更 (2) (平成31年3月認可申請) 保健医療学部 [定員増] (20) (平成31年3月認可申請) 現代社会学部 [定員増] (200) (令和元年6月認可申請予定) (新旧法人の沿革について別添記載)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	現代社会学部 総合社会学科	129 科目	86 科目	29 科目	244 科目	126 単位		
現代社会学部 観光学科	89 科目	82 科目	29 科目	200 科目	126 単位			

教 員 組 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等		
			教授	准教授	講師	助教	計		助手	
新 設 分 の 設 分	新 設 分	現代社会学部総合社会学科	6人	5人	2人	0人	13人	0人	78人	
		現代社会学部観光学科	13	6	3	0	22	0	52	
		計	19	11	5	0	35	0	-	
	既 設 分	既 設 分	保健医療学部看護学科	12	4	8	6	30	0	52
			人間科学部人間心理学科	12	3	3	0	18	0	43
			教育学部教育福祉学科	8	12	3	0	23	0	57
			経営学部経営学科	14	2	2	0	18	0	32
			国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	6	4	1	0	11	0	48
			基盤教育推進機構	2	0	0	1	3	0	0
	計	54	25	17	7	103	0	-		
合計	73	36	22	7	138	0	-			
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		91人		64人		155人			
	技 術 職 員		0		0		0			
	図 書 館 専 門 職 員		4		1		5			
	そ の 他 の 職 員		0		0		0			
計		95		65		160				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	37,896㎡	6,155㎡	2007㎡		46,058㎡				
	運 動 場 用 地	42,267㎡	33,820㎡	-		76,087㎡				
	小 計	80,163㎡	39,975㎡	2007㎡		122,145㎡				
	そ の 他	7,413㎡	1,484㎡	-		8,897㎡				
	合 計	87,576㎡	41,459㎡	2007㎡		131,042㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		43,586㎡	2,054㎡	4,021㎡		49,661㎡				
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設				
	53室	65室	27室	8室 (補助職員4人)		1室 (補助職員1人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		177 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	373,655〔45,920〕	5,752〔2,281〕	3,503〔2,033〕	9,996	6,520	51			
	計	373,655〔45,920〕	5,752〔2,281〕	3,503〔2,033〕	9,996	6,520	51			
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
		3,204㎡		358		344,830冊				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		3,115㎡		テニスコート7面		該当なし				

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には電子ジャーナルの整備費（運用コスト）を含む
		教員1人当り研究費等		250千円	250千円	250千円	250千円	-	-	
		共同研究費等		9,950千円	9,950千円	9,950千円	9,950千円	-	-	
		図書購入費	24,269千円	24,269千円	24,269千円	24,269千円	24,269千円	-	-	
	設備購入費	273,589千円	273,589千円	273,589千円	273,589千円	273,589千円	-	-		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		保健医療学部	1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	- 千円	- 千円		
		その他学部	1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	- 千円	- 千円		
		人間行動学研究科	920千円	720千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
		看護学研究科	1,100千円	900千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。							
既設大学等の状況	大学の名称		関西国際大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	平成31年4月より学生募集停止  平成31年3月収容定員増認可申請  平成31年4月より学生募集停止
	人間科学部	年	人	年次人	人		倍			
	経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	平成23年度	兵庫県三木市志染町青山1-18	
	人間心理学科	4	125	-	500	学士(行動科学)	1.00	平成19年度		
	経営学部			3年次			1.13			
	経営学科	4	100	20	440	学士(経営学)	1.13	令和元年度		
	保健医療学部						1.12			
	看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.12	平成25年度		
	教育学部						1.09		兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	1.09	平成19年度			
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(英語学)	-	平成19年度			
国際コミュニケーション学部						1.10				
英語コミュニケーション学科	4	50	-	200	学士(英語学)	1.10	令和元年度			
既設大学等の状況	大学の名称		関西国際大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	人間行動学研究科						0.81			
	人間行動学専攻	2	8	-	16	修士(人間行動学)	0.43	平成18年度	兵庫県三木市志染町青山1-18	
	臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士(教育学)	1.18	平成26年度		兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号
看護学研究科						0.66				
看護学専攻	2	6	-	12	修士(看護学)	0.66	平成27年度	兵庫県三木市志染町青山1-18		
附属施設の概要		該当なし								

## 学校法人濱名学院の沿革

### (1) 建学の精神及び概要

創始者濱名ミサヲは、「戦後の復興は教育、特に幼児教育にあり」との信念から 1950(昭和 25)年、幼稚園建設に踏みきる。「以愛為園」すなわち「愛を以って園と為す」を建学の精神として、「愛の園幼稚園」(尼崎市)を設立した。また幼稚園教員及び保母養成のため、幼稚園教員・保母養成所を開設し、関西保育福祉専門学校の礎を築いた。

1987(昭和 62)年には、兵庫県三木市に関西女学院短期大学を開学し、1998(平成 10)年に関西女学院短期大学を母体とし、関西国際大学を開設した。その後、関西国際大学大学院を開設するなど、2019(平成 31)年 4 月現在においては、関西国際大学は 5 学部、2 大学院研究科を開設するまでになっている。

### (2) 沿革

昭和 25 年 5 月	校祖濱名ミサヲ先生は、第 2 次世界大戦で自宅を全焼する。世相は混乱し、生活も苦しく物資にこと欠く中で、当時尼崎市連合婦人会会長、及び尼崎市教育審議会委員でもあった同人に私立幼稚園設立の強い要請もあり、かねてから抱いていた「戦後の復興は教育、特に幼児教育にあり」との信念から、資産を処分し、幼稚園建設にふみ切る。「以愛為園」即ち「愛をもって学園となす」の精神から人の心を受け入れる姿勢とおもいやりこそ人格形成の基礎を培う幼児教育の根本であり、建学の精神として最もふさわしいとの考えから「愛の園幼稚園」と命名し、自ら園長となり、陣頭に立って幼児教育に没頭する。
昭和 28 年 6 月	文部大臣の認可を得て、尼崎幼稚園教員養成所を愛の園幼稚園に開設
昭和 30 年 12 月	幼稚園及び教員養成所を統括する学校法人濱名学院を設立
昭和 32 年 3 月	尼崎幼稚園教員養成所を関西女学院と改称。文部大臣より幼稚園教員養成所の指定を受ける
昭和 32 年 10 月	関西女学院に保母養成所を開設。厚生大臣より保母養成機関の指定を受ける
昭和 41 年 4 月	関西女学院校舎を現在の尼崎市昭和通に移転
昭和 51 年 4 月	専修学校制度発足に伴い、関西女学院保育専門学校の認可を受ける
昭和 56 年 4 月	男性保育者の進出を受け入れるため、校名を関西保育専門学校に変更
昭和 59 年 4 月	関西保育専門学校に社会福祉科を開設
昭和 60 年 7 月	三木市より関西女学院短期大学用地の寄付を受ける 関西女学院短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
昭和 61 年 12 月	文部大臣より関西女学院短期大学の設置認可を受ける
昭和 62 年 4 月	関西女学院短期大学(経営学科)を開学

昭和 63 年 4 月	関西保育専門学校に介護福祉科を開設
平成元年 4 月	関西保育専門学校を関西保育福祉専門学校と改称
平成 3 年 4 月	関西女学院短期大学コミュニケーション学科を開設
平成 5 年 4 月	関西女学院短期大学専攻科コミュニケーション専攻を開設
平成 9 年 12 月	文部大臣より関西国際大学の設置認可を受ける
平成 10 年 4 月	関西国際大学（経営学部）を開学 関西国際大学の開学に伴い、関西女学院短期大学の校名を関西国際大学短期大学部に変更
平成 13 年 4 月	人間学部（人間行動学科、英語コミュニケーション学科）を開設
平成 16 年 4 月	関西国際大学経営学部経営学科を改組し、経営学部総合ビジネス学科を開設
平成 17 年 4 月	関西国際大学大学院人間行動学研究科人間行動学専攻を開設
平成 18 年 4 月	人間学部人間行動学科を改組し、人間心理・教育福祉の 2 学科を開設
平成 19 年 4 月	関西国際大学経営学部及び人間学部を改組し、人間科学部（ビジネス行動学科・人間心理学科）及び教育学部（教育福祉学科・英語教育学科）を開設
平成 21 年 4 月	尼崎キャンパスを開設。関西国際大学教育学部を尼崎キャンパスに移転
平成 23 年 4 月	関西国際大学人間科学部ビジネス行動学科を改組し、人間科学部経営学科を開設
平成 25 年 4 月	保健医療学部看護学科を開設
平成 26 年 4 月	関西国際大学大学院人間行動学研究科に臨床教育学専攻を開設
平成 26 年 10 月	関西国際大学留学生別科を開設
平成 27 年 4 月	関西国際大学大学院看護学研究科看護学専攻を開設
平成 30 年 4 月	関西国際大学経営学部及び国際コミュニケーション学部を開設

## 学校法人神戸山手学園の沿革

### (1) 建学の精神

建学の精神として「自学自習」「情操陶冶」を掲げている。これは、学園創立の最大功労者である杉野精造が提唱したものであり、杉野は、「学校とは教校でなく学ぶところであり、自力的学習の場である」とし、「自学自習」を提唱した。「学習」とは、いうまでもなく「論語」の冒頭にある「学びて時にこれを習うふ」を出典に、学園はこの学習を「自学自習」とし、よりいっそう自力的で積極的な、自ら進んで学習する姿勢を鮮明に主張するものである。また、「情操陶冶」は、この「自学自習」の精神を受け、「知」だけの習得に偏らず、「情」と「意」を併せ持つ人格の形成を理想とするものであり、健やかで調和のとれた人格、しなやかで豊かな知性が自ら形成されることを教育理念としている。

### (2) 沿革

年	事項
1924	山手学習院創立
1926	神戸山手高等女学校開校
1947	神戸山手女子専門学校開校 学制改革により神戸山手女子中学校開校
1948	学制改革により神戸山手女子高等学校開校
1950	神戸山手女子短期大学開学
1951	組織変更により学校法人神戸山手学園設立
1999	神戸山手大学開学（当初は女子大学）人文学部環境文化学科設置
2008	神戸山手大学「人文学部」を「現代社会学部」に名称変更
2013	神戸山手大学現代社会学部に総合社会学科を開設（環境文化学科、都市交流学科を改組）
2014.7	神戸山手大学現代社会学部に観光文化学科の設置認可を申請神戸夙川学院観光文化学部観光文化学科のカリキュラム・学生・教職員を継承と発表
2015	現代社会学部に観光文化学科を開設
2019.4	神戸山手大学現代社会学部「観光文化学科」を「観光学科」に名称変更

様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要

(関西国際大学現代社会学部総合社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎科目	【第I群】リテラシー	情報リテラシー I		2			○							兼1	
		コンピュータ・リテラシー II		2			○							兼2	
		コンピュータ・リテラシー III (ネットワーク・プレゼンテーション)		2			○							兼1	
		コンピュータ・リテラシー IV (データ処理演習)		2			○							兼1	
		リサーチ入門		1			○							兼1	
	表現力	日本語表現(基礎)	1春	2			○			1				兼4	
		日本語表現(応用)	1秋	2			○			1				兼4	
		日本語コミュニケーション実践	2・3春・秋	2			○							兼1	
		学習技術	1春	1			○							兼1	
	留学生以外	総合英語 I	1春	2			○							兼2	
		総合英語 II	1春	2			○							兼3	
		総合英語 III	1秋	2			○							兼2	
		総合英語 IV	1秋	2			○							兼3	
		留学生	総合日本語 I	1春	2			○							兼4
			総合日本語 II	1春	2			○							兼4
			総合日本語 III	1秋	2			○							兼4
			総合日本語 IV	1秋	2			○							兼4
			総合日本語 V	2春	2			○			1				兼3
			総合日本語 VI	2秋	2			○			1				兼3
		日本語・日本文化 I	1春	2			○			1				兼3	
		日本語・日本文化 II	1秋	2			○			1				兼3	
		第2外国語科目	ドイツ語・ドイツ文化 I	1・2春	2			○							兼1
			ドイツ語・ドイツ文化 II	1・2秋	2			○							兼1
	イタリア語・イタリア文化 I		1・2春	2			○							兼1	
	イタリア語・イタリア文化 II		1・2秋	2			○							兼1	
	ハングル・韓国文化 I		1・2春	2			○							兼1	
	ハングル・韓国文化 II		1・2秋	2			○							兼1	
	中国語・中国文化 I		1・2春	2			○							兼2	
	中国語・中国文化 II		1・2秋	2			○							兼2	
	スペイン語・スペイン文化 I		1・2春	2			○							兼1	
	スペイン語・スペイン文化 II		1・2秋	2			○							兼1	
	フランス語・フランス文化 I		1・2春	2			○			1					
	フランス語・フランス文化 II		1・2秋	2			○			1					
選択語学	選択英語A	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語B	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語C	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語D	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語E	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語F	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語G	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語H	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択英語I	1・2・3春・秋	2			○							兼4		
	選択中国語A	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語B	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語C	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語D	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語E	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語F	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
	選択中国語G	1・2・3春・秋	2			○							兼3		
選択中国語H	1・2・3春・秋	2			○							兼3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎科目	選択語学	選択中国語I	1・2・3春・秋	2			○							兼3	
		資格日本語 I	2・3春	2			○							兼1	
		資格日本語 II	2・3秋	2			○							兼1	
		上級日本語 I	2・3春	2			○							兼1	
		上級日本語 II	2・3秋	2			○							兼1	
		海外語学研修	1・2春・秋	4				○						兼1	集中
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	1冬	1				○						兼1	
		グローバルスタディⅡ	2夏	2				○						兼1	
		グローバルスタディⅢ	2夏	3				○						兼1	
	基礎演習	基礎演習	1通	4			○		3	5				兼5	
	【第Ⅲ群】総合基礎力 キャリア科目	キャリアガイダンスⅠ	1春		2		○		1	1					
		キャリアガイダンスⅡ	1秋		2		○							兼2	
		キャリアガイダンスⅢ	2春		2		○							兼5	
		キャリアガイダンスⅣ	2秋		2		○							兼5	
		キャリアプランニングⅠ	3春		2		○		1					兼3	
		キャリアプランニングⅡ	3秋		2		○		1					兼4	
		キャリアプランニングⅢ	4春		2		○							兼3	
		キャリアプランニングⅣ	4秋		2		○							兼1	
		インターンシップ1A	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1B	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1C	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1D	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1E	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1F	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1G	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ1H	1・2・3通	1				○						兼2	集中
		インターンシップ2A	1・2・3通	2				○						兼2	集中
		インターンシップ2B	1・2・3通	2				○						兼2	集中
		インターンシップ2C	1・2・3通	2				○						兼2	集中
		インターンシップ2D	1・2・3通	2				○						兼2	集中
	インターンシップ2E	1・2・3通	2				○						兼2	集中	
	インターンシップ2F	1・2・3通	2				○						兼2	集中	
	インターンシップ2G	1・2・3通	2				○						兼2	集中	
インターンシップ2H	1・2・3通	2				○						兼2	集中		
評価と実践Ⅰ	1～2	1				○							兼1		
評価と実践Ⅱ	3～4	1				○							兼1		
リーダーシップ演習	1冬	1				○							兼1	集中	
【第Ⅳ群】教養科目	人間学Ⅰ	1春	2			○							兼3	オムニバス	
	人間学Ⅱ	1秋	2			○							兼3	オムニバス	
	地域防災減災論	1冬	2			○							兼2		
	哲学	1・2春	2			○		1							
	倫理学	1・2秋	2			○		1							
	社会思想史	1・2春	2			○		1							
	ことばと人間	1・2秋	2			○			1						
	地理学	1・2春	2			○							兼1		
	文化人類学	1・2春	2			○			1						
	宗教と社会	1・2秋	2			○			1						
	法学	1・2春	2			○							兼1		
	自然史	1・2秋	2			○		1							
	生物学	1・2秋	2			○		1							
	統計学	1・2春	2			○							兼1		
	基礎数学	1・2春	2			○							兼1		
	健康科学	1・2春	2			○							兼1		
	トラベルメディスン	1・2秋	2			○							兼1		
手話演習	1・2秋	2				○						兼1			
スポーツ	1・2秋	1					○					兼1	集中		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	専門共通科目	現代社会概論		2		○								兼1
		社会学入門	1春		2		○			1				
		心理学入門	1春		2		○			1				
		経済・経営学入門	1春		2		○							兼1
		建築・インテリア入門	1春		2		○		1					
		陸上環境論	2・3秋		2		○							兼1
		海洋環境論	2・3春		2		○		1					
		環境倫理学	2・3秋		2		○		1					
		欧米文化論	2・3春		2		○							兼1
		アジア文化論	1・2秋		2		○			1				
		特殊講義(1)	2・3春		2		○		1					
		特殊講義(2)	2・3秋		2		○		1					
		特殊講義(3)	2・3春		2		○			1				
		特殊講義(4)	2・3秋		2		○			1				
		特殊講義(5)	2・3春		2		○		1					
		特殊講義(6)	2・3秋		2		○		1					
		特殊講義(7)	2・3春		2		○			1				
		特殊講義(8)	2・3秋		2		○			1				
		特殊講義(9)	2・3春		2		○		1					
		特殊講義(10)	2・3秋		2		○		1					
	海外留学	2・3秋		16				○						兼4
	総合社会学特別演習A	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習B	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習C	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習D	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習E	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習F	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習G	1・2・3通		1			○		1					集中
	総合社会学特別演習H	1・2・3通		1			○		1					集中
	両学科開講科目	地域創造論	1・2春		2		○							兼1
		ヘリテージツーリズム論	2・3秋		2		○							兼1
		世界遺産論	1・2春		2		○							兼1
		日本地域研究	1・2秋		2		○							兼1
		日本歴史文化論	2・3秋		2		○							兼1
東アジア地域研究		2・3秋		2		○							兼1	
東南アジア地域研究		2・3秋		2		○							兼1	
南・西アジア地域研究		2・3春		2		○							兼1	
北米地域研究		2・3春		2		○							兼1	
中南米地域研究		2・3春		2		○							兼1	
ヨーロッパ地域研究		2・3秋		2		○							兼1	
オセアニア地域研究		2・3春		2		○			1					
アフリカ地域研究		2・3秋		2		○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	社会学応用	教育社会学	2・3秋	2		○			1					
		消費生活論	2・3秋	2		○			1					
		ジェンダーと世代	2・3秋	2		○								兼1
		家族論	2・3秋	2		○								兼1
		福祉社会論	2・3春	2		○			1					
		労働社会学	2・3秋	2		○			1					
		社会関係論	3・4春	2		○								兼1
	地域・コミュニティ・まちづくり	まちづくり論	1・2秋	2		○				1				
		現代都市論	1・2春	2		○				1				
		コミュニティ論	2・3春	2		○				1				
		地域文化論	2・3春	2		○			1					
		神戸文化研究	1・2秋	2		○			1					
		神戸学フィールドワーク	1・2春	2		○			1					
		社会的企業論	3・4春	2		○				1				
	情報・メディア・文化	情報社会論	1・2秋	2		○			1					
		メディア文化論	1・2秋	2		○			1					
		マスコミ論	1・2秋	2		○								兼1
		メディア・文化演習	3・4秋	2		○			1					
		ジャーナリズム論(1)新聞研究	2・3春	2		○								兼1
		ジャーナリズム論(2)放送研究	2・3秋	2		○								兼1
		サブカルチャー論	2・3春	2		○								兼1
		メディア制作演習	3・4春	2		○								兼1
	社会調査	市場調査論	2・3春	2		○								兼1
		フィールドワーク	2・3秋	2		○				1				
		社会調査法(1)	2・3春	2		○			1	1				
		社会調査法(2)	2・3秋	2		○			1	1				
		社会調査実習(1)	2・3春	1				○	1	1				
		社会調査実習(2)	2・3秋	1				○	1	1				
	心理学フィールド	研究論・心理学概	心理学概論	1・2春	2		○			1				
			心理学研究法	2・3春	2		○			1				
心理測定法			2・3秋	2		○				1				
心理データ解析法			2・3秋	2		○			1					
実験・心理学実		心理学基礎実験	2・3春	1				○	1					
		心理学実験実習(1)	2・3秋	1				○		1				
		心理学実験実習(2)	3・4春	1				○	1					
		社会心理学実験実習	2・3春	1				○	1					
臨床教育・心理覚		教育評価	1・2秋	2		○			1					
		臨床心理学概論	1・2秋	2		○				1				
		認知心理学	2・3春	2		○			1					
		教育心理学	2・3春	2		○				1				
		発達心理学	2・3秋	2		○			1					
人格心理		カウンセリング	2・3春	2		○				1				
		教育相談	2・3秋	2		○				1				
		青年心理学	3・4春	2		○				1				
		人格心理学	2・3春	2		○				1				
社会・産業心理		社会心理学	1・2秋	2		○			1					
		環境心理学	1・2秋	2		○								兼1
		集団心理学	2・3秋	2		○			1					
	産業心理学	3・4秋	2		○			1						
	消費者の心理	3・4春	2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	産業と政策	現代経済理論	2・3春	2		○								兼1	
		日本経済とグローバル経済	2・3秋	2		○								兼1	
		中小企業論	2・3春	2		○								兼1	
		産業政策論	2・3春	2		○								兼1	
		環境政策論	2・3秋	2		○			1						
	企業と経営	経営学総論	2・3春	2		○								兼1	
		簿記と会計	3・4春	2		○								兼1	
		地域産業論	3・4春	2		○								兼1	
		イノベーション論	3・4春	2		○								兼1	
		ブランド論	2・3秋	2		○								兼1	
		マーケティング論	2・3春	2		○								兼1	
		経営品質論	3・4秋	2		○								兼1	
	マネジメント	生活と経済	1・2春	2		○								兼1	
		経営と法	1・2秋	2		○								兼1	
		ファイナンシャルプランニング(1)	2・3春	2		○			1						
		ファイナンシャルプランニング(2)	2・3秋	2		○			1						
	環境と科学技術	環境科学	1・2秋	2		○			1						
		科学技術論	2・3春	2		○			1						
		持続可能性経営論	2・3春	2		○			1						
		環境マネジメント論	3・4春	2		○			1						
		環境マネジメント演習	3・4秋	2			○		1						
		企業の社会的責任	3・4春	2		○			1						
	建築・インテリアフィールド	建築計画	建築文化史(1)	1・2春	2		○			1					
			建築文化史(2)	1・2秋	2		○			1					
			住居学	2・3春	2		○			1					
			建築生産	3・4秋	2		○			1					
			建築計画	2・3秋	2		○			1					
			建築・インテリア法規	3・4春	2		○			1					
			地域環境論	3・4春	2		○			1					
		建築構造	建築材料	1・2秋	2		○			1					
建築一般構造(1)			2・3春	2		○			1						
建築一般構造(2)			2・3秋	2		○			1						
建築構造力学			3・4秋	2		○								兼1	
設計製図		設計製図基礎(1)	2・3春	2			○		1						
		設計製図基礎(2)	2・3秋	2			○		1						
		設計製図演習(1)	3・4春	2			○		1						
	設計製図演習(2)	3・4秋	2			○		1							
	CAD(1)	2・3春	2			○							兼1		
	CAD(2)	2・3秋	2			○							兼1		
インテリア	インテリア計画論	1・2秋	2		○			1							
	インテリアコーディネート論(1)	1・2春	2		○			1							
	インテリアコーディネート論(2)	1・2秋	2		○			1							
演習	課題研究	2通	4			○		5	2				兼5		
	専門演習	3通	4			○		2	2	1			兼1		
	卒業研究	4通	4			○		3	1	2			兼2		
	卒業論文・制作・設計	4通	4				○	3	1	2			兼2		
合計(244科目)				57	413	16		—	6	5	2				
学位または称号		学士(学術)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係 経済学関係、文学関係、 工学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
基礎科目は42単位以上(必修23単位、選択必修6単位以上、選択13単位以上)、専門科目については74単位以上(必修18単位、選択必修4単位以上、選択52単位以上)を履修修得した上で、基礎科目及び専門科目から10単位以上を修得し、卒業要件単位である126単位を満たすこと。						1学年の学期区分		4学期							
						1学期の授業期間		春学期(15週) 夏学期(8週) 秋学期(15週) 冬学期(8週)							
						1時限の授業時間		90分							

様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要

(神戸山手大学現代社会学部総合社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
【第I群】リテラシー	情報リテラシー	コンピュータ・リテラシー I	1前・後	2			○								兼1	
		コンピュータ・リテラシー II	1・2前・後	2			○								兼2	
		コンピュータ・リテラシー III (ネットワーク・プレゼンテーション)	2・3後	2			○								兼1	
		コンピュータ・リテラシー IV (データ処理演習)	2・3後	2			○								兼1	
	表現力		日本語表現(基礎)	1前	2			○		1						兼4
			日本語表現(応用)	1後	2			○		1						兼4
			日本語コミュニケーション実践	2・3前・後	2			○								兼1
	留学生以外	総合英語	総合英語 I	1前	2			○								兼2
			総合英語 II	1前	2			○								兼3
			総合英語 III	1後	2			○								兼2
			総合英語 IV	1後	2			○								兼3
		総合日本語	総合日本語 I	1前	2			○								兼4
総合日本語 II			1前	2			○								兼4	
総合日本語 III			1後	2			○								兼4	
総合日本語 IV			1後	2			○								兼4	
総合日本語 V			2前	2			○		1						兼3	
総合日本語 VI			2後	2			○		1						兼3	
日本語・日本文化		日本語・日本文化 I	1前	2			○		1						兼3	
		日本語・日本文化 II	1後	2			○		1						兼3	
第2外国語科目	ドイツ語・ドイツ文化	ドイツ語・ドイツ文化 I	1・2前	2			○								兼1	
		ドイツ語・ドイツ文化 II	1・2後	2			○								兼1	
	イタリア語・イタリア文化	イタリア語・イタリア文化 I	1・2前	2			○								兼1	
		イタリア語・イタリア文化 II	1・2後	2			○								兼1	
	ハンガール・コア文化	ハンガール・コア文化 I	1・2前	2			○								兼1	
		ハンガール・コア文化 II	1・2後	2			○								兼1	
	中国語・中国文化	中国語・中国文化 I	1・2前	2			○								兼2	
		中国語・中国文化 II	1・2後	2			○								兼2	
	スペイン語・スペイン文化	スペイン語・スペイン文化 I	1・2前	2			○								兼1	
		スペイン語・スペイン文化 II	1・2後	2			○								兼1	
	フランス語・フランス文化	フランス語・フランス文化 I	1・2前	2			○		1							
		フランス語・フランス文化 II	1・2後	2			○		1							
選択語学	選択英語学	選択英語A	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語B	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語C	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語D	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語E	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語F	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語G	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語H	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択英語I	1・2・3前・後	2			○								兼4	
		選択中国語A	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語B	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語C	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語D	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語E	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語F	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		選択中国語G	1・2・3前・後	2			○								兼3	
選択中国語H	1・2・3前・後	2			○								兼3			

基礎科目

【第II群】国際コミュニケーション

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	選択語学	選択中国語I	1・2・3前・後	2			○								兼3	
		資格日本語 I	2・3前	2			○								兼1	
		資格日本語 II	2・3後	2			○								兼1	
		上級日本語 I	2・3前	2			○								兼1	
		上級日本語 II	2・3後	2			○								兼1	
		海外語学研修	1・2前・後	4				○							兼1	集中
	基礎演習	基礎演習	1通	4			○		3	5					兼5	
		キャリア科目	キャリアガイダンス I	1前	2			○		1	1					
	キャリアガイダンス II		1後	2			○								兼2	
	キャリアガイダンス III		2前	2			○								兼5	
	キャリアガイダンス IV		2後	2			○								兼5	
	キャリアプランニング I		3前	2			○		1						兼3	
	キャリアプランニング II		3後	2			○		1						兼4	
	キャリアプランニング III		4前	2			○								兼3	
	キャリアプランニング IV		4後	2			○								兼1	
	インターンシップ1A		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1B		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1C		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1D		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1E		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1F		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1G		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ1H		1・2・3通	1				○							兼2	集中
	インターンシップ2A		1・2・3通	2				○							兼2	集中
	インターンシップ2B		1・2・3通	2				○							兼2	集中
	インターンシップ2C		1・2・3通	2				○							兼2	集中
	インターンシップ2D		1・2・3通	2				○							兼2	集中
	インターンシップ2E	1・2・3通	2				○							兼2	集中	
	インターンシップ2F	1・2・3通	2				○							兼2	集中	
	インターンシップ2G	1・2・3通	2				○							兼2	集中	
	インターンシップ2H	1・2・3通	2				○							兼2	集中	
	【第IV群】教養科目	哲学	1・2前	2			○		1							
		倫理学	1・2後	2			○		1							
社会思想史		1・2前	2			○		1								
ことばと人間		1・2後	2			○			1							
地理学		1・2前	2			○								兼1		
文化人類学		1・2前	2			○			1							
宗教と社会		1・2後	2			○			1							
法学		1・2前	2			○								兼1		
自然史		1・2後	2			○		1								
生物学		1・2後	2			○		1								
統計学		1・2前	2			○								兼1		
基礎数学		1・2前	2			○								兼1		
健康科学		1・2前	2			○								兼1		
トラベルメディスン		1・2後	2			○								兼1		
手話演習		1・2後	2				○							兼1		
スポーツ		1・2後	1				○							兼1	集中	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 専門共通科目	現代社会概論	1前	2			○									兼1
	社会学入門	1前		2		○			1						
	心理学入門	1前		2		○			1						
	経済・経営学入門	1前		2		○									兼1
	建築・インテリア入門	1前		2		○			1						
	陸上環境論	2・3後		2		○									兼1
	海洋環境論	2・3前		2		○			1						
	環境倫理学	2・3後		2		○			1						
	欧米文化論	2・3前		2		○									兼1
	アジア文化論	1・2後		2		○				1					
	特殊講義(1)	2・3前		2		○			1						
	特殊講義(2)	2・3後		2		○			1						
	特殊講義(3)	2・3前		2		○				1					
	特殊講義(4)	2・3後		2		○				1					
	特殊講義(5)	2・3前		2		○			1						
	特殊講義(6)	2・3後		2		○			1						
	特殊講義(7)	2・3前		2		○				1					
	特殊講義(8)	2・3後		2		○				1					
	特殊講義(9)	2・3前		2		○			1						
	特殊講義(10)	2・3後		2		○			1						
	海外留学	2・3後		16				○							兼4
	総合社会学特別演習A	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習B	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習C	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習D	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習E	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習F	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習G	1・2・3通		1			○		1						集中
	総合社会学特別演習H	1・2・3通		1			○		1						集中
	両学科開講科目	地域創造論	1・2前		2		○								兼1
		ヘリテージツーリズム論	2・3後		2		○								兼1
		世界遺産論	1・2前		2		○								兼1
		日本地域研究	1・2後		2		○								兼1
		日本歴史文化論	2・3後		2		○								兼1
東アジア地域研究		2・3後		2		○								兼1	
東南アジア地域研究		2・3後		2		○								兼1	
南・西アジア地域研究		2・3前		2		○								兼1	
北米地域研究		2・3前		2		○								兼1	
中南米地域研究		2・3前		2		○								兼1	
ヨーロッパ地域研究		2・3後		2		○								兼1	
オセアニア地域研究		2・3前		2		○				1					
アフリカ地域研究	2・3後		2		○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	社会学応用	教育社会学	2・3後	2	○			1						
		消費生活論	2・3後	2	○			1						
		ジェンダーと世代	2・3後	2	○									兼1
		家族論	2・3後	2	○									兼1
		福祉社会学	2・3前	2	○			1						
		労働社会学	2・3後	2	○			1						
		社会関係論	3・4前	2	○									兼1
	地域・コミュニティ・まちづくり	まちづくり論	1・2後	2	○					1				
		現代都市論	1・2前	2	○					1				
		コミュニティ論	2・3前	2	○					1				
		地域文化論	2・3前	2	○			1						
		神戸文化研究	1・2後	2	○			1						
		神戸学フィールドワーク	1・2前	2	○			1						
		社会的企業論	3・4前	2	○					1				
	情報・メディア・文化	情報社会学	1・2後	2	○			1						
		メディア文化論	1・2後	2	○			1						
		マスコミ論	1・2後	2	○									兼1
		メディア・文化演習	3・4後	2	○			1						
		ジャーナリズム論(1)新聞研究	2・3前	2	○									兼1
		ジャーナリズム論(2)放送研究	2・3後	2	○									兼1
		サブカルチャー論	2・3前	2	○									兼1
		メディア制作演習	3・4前	2	○									兼1
	社会調査	市場調査論	2・3前	2	○									兼1
		フィールドワーク	2・3後	2	○				1					
		社会調査法(1)	2・3前	2	○			1	1					
		社会調査法(2)	2・3後	2	○			1	1					
		社会調査実習(1)	2・3前	1			○	1	1					
		社会調査実習(2)	2・3後	1			○	1	1					
	心理学フィールド	心理学概論・研究法	心理学概論	1・2前	2	○			1					
			心理学研究法	2・3前	2	○			1					
			心理測定法	2・3後	2	○				1				
			心理データ解析法	2・3後	2	○			1					
		心理学実験・実習	心理学基礎実験	2・3前	1			○	1					
			心理学実験実習(1)	2・3後	1			○		1				
			心理学実験実習(2)	3・4前	1			○	1					
			社会心理学実験実習	2・3前	1			○	1					
臨床・教育・心理		教育評価	1・2後	2	○			1						
		臨床心理学概論	1・2後	2	○				1					
		認知心理学	2・3前	2	○			1						
		教育心理学	2・3前	2	○				1					
		発達心理学	2・3後	2	○			1						
人格心理		カウンセリング	2・3前	2	○				1					
		教育相談	2・3後	2	○				1					
		青年心理学	3・4前	2	○				1					
	人格心理学	2・3前	2	○				1						
社会・産業心理	社会心理学	1・2後	2	○			1							
	環境心理学	1・2後	2	○									兼1	
	集団心理学	2・3後	2	○			1							
	産業心理学	3・4後	2	○			1							
	消費者の心理	3・4前	2	○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	産業と政策	現代経済理論	2・3前	2		○									兼1	
		日本経済とグローバル経済	2・3後	2		○									兼1	
		中小企業論	2・3前	2		○									兼1	
		産業政策論	2・3前	2		○									兼1	
		環境政策論	2・3後	2		○			1							
	企業と経営	経営学総論	2・3前	2		○									兼1	
		簿記と会計	3・4前	2		○									兼1	
		地域産業論	3・4前	2		○									兼1	
		イノベーション論	3・4前	2		○									兼1	
		ブランド論	2・3後	2		○									兼1	
		マーケティング論	2・3前	2		○									兼1	
		経営品質論	3・4後	2		○									兼1	
	マネジメント	生活と経済	1・2前	2		○									兼1	
		経営と法	1・2後	2		○									兼1	
		ファイナンシャルプランニング(1)	2・3前	2		○			1							
		ファイナンシャルプランニング(2)	2・3後	2		○			1							
	環境と科学技術	環境科学	1・2後	2		○			1							
		科学技術論	2・3前	2		○			1							
		持続可能性経営論	2・3前	2		○			1							
		環境マネジメント論	3・4前	2		○			1							
		環境マネジメント演習	3・4後	2			○		1							
		企業の社会的責任	3・4前	2		○			1							
	建築・インテリアフィールド	建築計画	建築文化史(1)	1・2前	2		○		1							
			建築文化史(2)	1・2後	2		○		1							
			住居学	2・3前	2		○			1						
			建築生産	3・4後	2		○			1						
			建築計画	2・3後	2		○			1						
			建築・インテリア法規	3・4前	2		○			1						
			地域環境論	3・4前	2		○			1						
		建築構造	建築材料	1・2後	2		○			1						
			建築一般構造(1)	2・3前	2		○			1						
			建築一般構造(2)	2・3後	2		○			1						
			建築構造力学	3・4後	2		○								兼1	
設計製図		設計製図基礎(1)	2・3前	2			○		1							
		設計製図基礎(2)	2・3後	2			○		1							
		設計製図演習(1)	3・4前	2			○		1							
	設計製図演習(2)	3・4後	2			○		1								
	CAD(1)	2・3前	2			○							兼1			
	CAD(2)	2・3後	2			○							兼1			
インテリア	インテリア計画論	1・2後	2		○			1								
	インテリアコーディネート論(1)	1・2前	2		○			1								
	インテリアコーディネート論(2)	1・2後	2		○			1								
演習	課題研究	2通	4			○		5	2					兼5		
	専門演習	3通	4			○		2	2	1				兼1		
	卒業研究	4通	4			○		3	1	2				兼2		
	卒業論文・制作・設計	4通	4				○	3	1	2				兼2		
合計(233科目)				50	419	0		—	6	5	2					
学位または称号		学士(学術)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係 経済学関係、文学関係、 工学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
基礎科目は40単位以上(必修16単位、選択必修6単位以上、選択18単位以上)、専門科目については74単位以上(必修18単位、選択必修4単位以上、選択52単位以上)を履修修得した上で、基礎科目及び専門科目から10単位を修得し、卒業要件単位である124単位を満たすこと。						1学年の学期区分			2学期							
						1学期の授業期間			前期(14週) 後期(14週)							
						1時限の授業時間			100分							



教育課程等の概要

(関西国際大学現代社会学部観光学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	【第I群】リテラシー 情報リテラシー	コンピュータ・リテラシー I	1春・秋	2			○		1					
		コンピュータ・リテラシー II	1・2春・秋	2			○		1	1				
		コンピュータ・リテラシー III (ネットワーク・プレゼンテーション)	2・3秋	2			○			1				
		コンピュータ・リテラシー IV (データ処理演習)	2・3秋	2			○			1				
		リサーチ入門	1夏	1			○							兼1
	表現力	日本語表現(基礎)	1春	2			○		4	2	1			
		日本語表現(応用)	1秋	2			○		4	2	1			
		日本語コミュニケーション実践	2・3春・秋	2			○							兼1
		学習技術	1春	1			○							兼1
	留学生以外	総合英語 I	1春	2			○			1				兼3
		総合英語 II	1春	2			○							兼2
		総合英語 III	1秋	2			○			1				兼3
		総合英語 IV	1秋	2			○							兼2
		中国語・中国文化 I	1春	2			○			1	1			
		中国語・中国文化 II	1秋	2			○			1	1			
	留学生	総合日本語 I	1春	2			○			1				
		総合日本語 II	1春	2			○							兼2
		総合日本語 III	1秋	2			○			1				
		総合日本語 IV	1秋	2			○							兼2
		総合日本語 V	2春	2			○			1				
		総合日本語 VI	2秋	2			○			1				
	選択語学	選択英語A	1・2・3春・秋	2			○			1				兼3
		選択英語B	1・2・3春・秋	2			○			1				兼3
		選択英語C	1・2・3春・秋	2			○			1				兼3
		選択英語D	1・2・3春・秋	2			○			1				兼3
選択英語E		1・2・3春・秋	2			○			1				兼3	
選択英語F		1・2・3春・秋	2			○			1				兼3	
選択英語G		1・2・3春・秋	2			○			1				兼3	
選択英語H		1・2・3春・秋	2			○			1				兼3	
選択英語I		1・2・3春・秋	2			○			1				兼3	
選択中国語A		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語B		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語C		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語D		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語E		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語F		1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1	
選択中国語G	1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1		
選択中国語H	1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1		
選択中国語I	1・2・3春・秋	2			○			1	1			兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手	
【第II群】国際コミュニケーション	資格日本語Ⅰ	2・3春		2			○		1						
	資格日本語Ⅱ	2・3秋		2			○		1						
	上級日本語Ⅰ	2・3春		2			○		1						
	上級日本語Ⅱ	2・3秋		2			○		1						
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅰ	1・2春		2			○							兼1	
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅱ	1・2秋		2			○							兼1	
	イタリア語・イタリア文化Ⅰ	1・2春		2			○							兼1	
	イタリア語・イタリア文化Ⅱ	1・2秋		2			○							兼1	
	ハンガール・コリア文化Ⅰ	1・2春		2			○							兼1	
	ハンガール・コリア文化Ⅱ	1・2秋		2			○							兼1	
	スペイン語・スペイン文化Ⅰ	1・2春		2			○		1						
	スペイン語・スペイン文化Ⅱ	1・2秋		2			○		1						
	フランス語・フランス文化Ⅰ	1・2春		2			○							兼1	
	フランス語・フランス文化Ⅱ	1・2秋		2			○							兼1	
	海外留学	2・3秋		16				○	1	2	1				
	海外語学研修	1・2春・秋		4				○	1						集中
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	1冬		1			○							兼1
		グローバルスタディⅡ	2夏		2			○							兼1
グローバルスタディⅢ		2夏		3			○							兼1	
【第III群】キャリア科目	キャリアガイダンスⅠ	1春			2		○		2						
	キャリアガイダンスⅡ	1秋			2		○							兼1	
	キャリアガイダンスⅢ	2春			2		○		2					兼3	
	キャリアガイダンスⅣ	2秋			2		○		2					兼3	
	キャリアプランニングⅠ	3春			2		○		1					兼2	
	キャリアプランニングⅡ	3秋			2		○							兼4	
	キャリアプランニングⅢ	4春			2		○		3						
	キャリアプランニングⅣ	4秋			2		○		1						
	インターンシップ1A	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1B	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1C	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1D	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1E	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1F	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1G	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ1H	1・2・3通		1				○	2						
	インターンシップ2A	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2B	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2C	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2D	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2E	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2F	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2G	1・2・3通		2				○	2						
	インターンシップ2H	1・2・3通		2				○	2						
	コープ4A	1・2・3通		4				○	2						
	コープ4B	1・2・3通		4				○	2						
	コープ4C	1・2・3通		4				○	2						
	コープ4D	1・2・3通		4				○	2						
	コープ4E	1・2・3通		4				○	2						
	コープ4F	1・2・3通		4				○	2						
	コープ16	1・2・3通		16				○	2						
	評価と実践Ⅰ	1～2		1				○							兼1
評価と実践Ⅱ	3～4		1				○							兼1	
リーダーシップ演習	1冬		1				○							兼1 集中	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	【第IV群】教養科目	人間学Ⅰ	1春	2			○								兼3	オムニバス
		人間学Ⅱ	1秋	2			○								兼3	オムニバス
		地域防災減災論	1冬		2		○								兼2	
		哲学	1・2春		2		○								兼1	
		倫理学	1・2秋		2		○								兼1	
		社会思想史	1・2春		2		○								兼1	
		ことばと人間	1・2秋		2		○								兼1	
		地理学	1・2春		2		○			1						
		文化人類学	1・2春		2		○								兼1	
		宗教と社会	1・2秋		2		○								兼1	
		法学	1・2春		2		○								兼1	
		社会学	1・2春		2		○								兼1	
		心理学	1・2春		2		○								兼1	
		経営学	1・2春		2		○					1				
		自然史	1・2秋		2		○								兼1	
		生物学	1・2秋		2		○								兼1	
		統計学	1・2春		2		○			1						
		基礎数学	1・2春		2		○				1					
		健康科学	1・2春		2		○			1						
		トラベルメディスン	1・2秋		2		○			1						
手話演習	1・2秋		2			○							兼1			
スポーツ	1・2秋		1				○	1								
専門科目	学科共通科目	現代社会概論	1春	2			○							兼1		
		観光学概論	1春	2			○		1							
		観光産業入門	1秋	2			○		1							
		グローバルコミュニケーション	1春	2			○		1							
		観光マーケティング基礎	2春	2			○		1							
		観光文化論	2春	2			○		1							
		観光リスクマネジメント	2秋	2			○		1							
		特殊講義Ⅰ	2・3春		2		○		1							
		特殊講義Ⅱ	2・3秋		2		○		1							
		特殊講義Ⅲ	2・3春		2		○		1							
		特殊講義Ⅳ	2・3秋		2		○		1							
		特殊講義Ⅴ	2・3春		2		○		1							
		特殊講義Ⅵ	2・3秋		2		○		1							
		特殊講義Ⅶ	2・3春		2		○		1							
		特殊講義Ⅷ	2・3秋		2		○		1							
		特殊講義Ⅸ	2・3春		2		○		1							
		特殊講義Ⅹ	2・3秋		2		○		1							
		観光文化学特別演習A	1・2・3通		1			○		1					集中	
		観光文化学特別演習B	1・2・3通		1			○		1					集中	
		観光文化学特別演習C	1・2・3通		1			○		1					集中	
		観光文化学特別演習D	1・2・3通		1			○		1					集中	
		観光文化学特別演習E	1・2・3通		1			○		1					集中	
		観光文化学特別演習F	1・2・3通		1			○		1					集中	
観光文化学特別演習G	1・2・3通		1			○		1					集中			
観光文化学特別演習H	1・2・3通		1			○		1					集中			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門共通科目	両学科開講科目	陸上環境論	2・3秋	2		○								兼1
		海洋環境論	2・3春	2		○								兼1
		環境倫理学	2・3秋	2		○								兼1
		欧米文化論	2・3春	2		○			1					
		アジア文化論	1・2秋	2		○								兼1
		消費生活論	2・3秋	2		○								兼1
		市場調査論	2・3春	2		○								兼1
		労働社会学	2・3秋	2		○								兼1
		産業心理学	3・4秋	2		○								兼1
		消費者の心理	3・4春	2		○								兼1
		現代経済理論	2・3春	2		○					1			
		日本経済とグローバル経済	2・3秋	2		○								兼1
		生活と経済	1・2春	2		○								兼1
		中小企業論	2・3春	2		○					1			
		産業政策論	2・3春	2		○					1			
		イノベーション論	3・4春	2		○					1			
		持続可能性経営論	2・3春	2		○								兼1
		企業の社会的責任	3・4春	2		○								兼1
		建築文化史(1)	1・2春	2		○								兼1
		建築文化史(2)	1・2秋	2		○								兼1
専門科目	地域創造	地域創造論	1・2春	2		○				1				
		サステイナブルツーリズム論	2・3秋	2		○							兼1	
		グリーンツーリズム論	2・3秋	2		○			1					
		エコツーリズム論	2・3春	2		○			1					
		ヘリテージツーリズム論	2・3春	2		○				1				
		フードツーリズム論	2・3春	2		○			1					
		ウェルネスツーリズム論	2・3春	2		○			1					
		スポーツツーリズム論	3・4秋	2		○			1					
	観光ビジネス	ホテルビジネス	1・2秋	2		○			1					
		ブライダルビジネス	1・2秋	2		○			1					
		旅行ビジネス	1・2春	2		○			1					
		エアラインビジネス	2・3春	2		○			1				兼1	
		観光ビジネスモデル論	2・3春	2		○			1					
		観光交通産業論	2・3秋	2		○							兼1	
		観光経済論	2・3春	2		○			1					
		インバウンドビジネス	3・4春	2		○			1					
		テーマパーク・リゾートビジネス	3・4春	2		○			1					
	分野別専門科目	グローバル	国際関係論	1・2秋	2		○			1				
			観光地理	1・2秋	2		○			1				
			世界遺産論	1・2春	2		○				1			
グローバル		世界の食文化	2・3秋	2		○			1					
		ユニバーサルツーリズム論	2・3春	2		○			1					
		日本地域研究	1・2秋	2		○			1					
		日本歴史文化論	2・3秋	2		○							兼1	
		東アジア地域研究	2・3秋	2		○				1				
		東南アジア地域研究	2・3秋	2		○			1					
		南・西アジア地域研究	2・3春	2		○			1					
		北米地域研究	2・3春	2		○							兼1	
		中南米地域研究	2・3春	2		○				1				
		ヨーロッパ地域研究	2・3秋	2		○				1				
オセアニア地域研究	2・3春	2		○							兼1			
アフリカ地域研究	2・3秋	2		○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目 演習	基礎演習Ⅰ	1春	2				○		5	4				
	基礎演習Ⅱ	1秋	2				○		5	4				
	課題研究Ⅰ	2春	2				○		7	1	1			
	課題研究Ⅱ	2秋	2				○		7	1	1			
	専門演習Ⅰ	3春	2				○		7	1	1			
	専門演習Ⅱ	3秋	2				○		7	1	1			
	卒業研究Ⅰ	4春	2				○		6	1	1			
	卒業研究Ⅱ	4秋	2				○		6	1	1			
	卒業論文	4秋		6			○		1					
合計(200科目)			67	341	0		—		13	6	3			
学位または称号		学士(観光学)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係						
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
基礎科目は42単位以上(必修25単位、選択必修17単位以上)、専門科目については64単位以上(必修30単位、選択34単位以上)を履修修得した上で、基礎科目及び専門科目から20単位以上を修得し、卒業要件単位である126単位を満たすこと。						1学年の学期区分			4学期					
						1学期の授業期間			春学期(15週) 夏学期(8週) 秋学期(15週) 冬学期(8週)					
						1時限の授業時間			90分					

様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要

(神戸山手大学現代社会学部観光学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	【第I群】リテラシー 情報リテラシー	コンピュータリテラシー I	1前・後	2			○		1					
		コンピュータリテラシー II	1・2前・後	2			○		1	1				
		コンピュータリテラシー III (ネットワーク・プレゼンテーション)	2・3後	2			○		1					
		コンピュータリテラシー IV (データ処理演習)	2・3後	2			○		1					
	表現力	日本語表現 (基礎)	1前	2			○		4	2	1			
		日本語表現 (応用)	1後	2			○		4	2	1			
		日本語コミュニケーション実践	2・3前・後	2			○							兼1
	留學生以外	総合英語 I	1前	2			○		1					兼3
		総合英語 II	1前	2			○							兼2
		総合英語 III	1後	2			○		1					兼3
		総合英語 IV	1後	2			○							兼2
		中国語・中国文化 I	1前	2			○		1	1				
		中国語・中国文化 II	1後	2			○		1	1				
	留學生	総合日本語 I	1前	2			○		1					
		総合日本語 II	1前	2			○							兼2
		総合日本語 III	1後	2			○		1					
		総合日本語 IV	1後	2			○							兼2
		総合日本語 V	2前	2			○		1					
		総合日本語 VI	2後	2			○		1					
選択語学	選択英語 A	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 B	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 C	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 D	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 E	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 F	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 G	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 H	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択英語 I	1・2・3前・後	2			○		1					兼3	
	選択中国語 A	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
	選択中国語 B	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
	選択中国語 C	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
	選択中国語 D	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
	選択中国語 E	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
	選択中国語 F	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1	
選択中国語 G	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1		
選択中国語 H	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1		
選択中国語 I	1・2・3前・後	2			○		1	1				兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手			
【第Ⅱ群】国際コミュニケーション	資格日本語Ⅰ	2・3前	2				○		1								
	資格日本語Ⅱ	2・3後	2				○		1								
	上級日本語Ⅰ	2・3前	2				○		1								
	上級日本語Ⅱ	2・3後	2				○		1								
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅰ	1・2前	2				○								兼1		
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅱ	1・2後	2				○								兼1		
	イタリア語・イタリア文化Ⅰ	1・2前	2				○								兼1		
	イタリア語・イタリア文化Ⅱ	1・2後	2				○								兼1		
	ハングル・コリア文化Ⅰ	1・2前	2				○								兼1		
	ハングル・コリア文化Ⅱ	1・2後	2				○								兼1		
	スペイン語・スペイン文化Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	スペイン語・スペイン文化Ⅱ	1・2後	2				○		1								
	フランス語・フランス文化Ⅰ	1・2前	2				○								兼1		
	フランス語・フランス文化Ⅱ	1・2後	2				○								兼1		
	海外留学	2・3後	16					○	1	2	1						
	海外語学研修	1・2前・後	4					○	1								集中
	【第Ⅲ群】キャリア科目 基礎科目	キャリアガイダンスⅠ	1前	2				○		2							
キャリアガイダンスⅡ		1後	2				○								兼1		
キャリアガイダンスⅢ		2前	2				○		2						兼3		
キャリアガイダンスⅣ		2後	2				○		2						兼3		
キャリアプランニングⅠ		3前	2				○		1						兼2		
キャリアプランニングⅡ		3後	2				○								兼4		
キャリアプランニングⅢ		4前	2				○		3								
キャリアプランニングⅣ		4後	2				○		1								
インターンシップ1A		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1B		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1C		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1D		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1E		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1F		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1G		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ1H		1・2・3通	1					○	2								
インターンシップ2A		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2B		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2C		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2D		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2E		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2F		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2G		1・2・3通	2					○	2								
インターンシップ2H		1・2・3通	2					○	2								
コープ4A		1・2・3通	4					○	2								
コープ4B		1・2・3通	4					○	2								
コープ4C		1・2・3通	4					○	2								
コープ4D		1・2・3通	4					○	2								
コープ4E	1・2・3通	4					○	2									
コープ4F	1・2・3通	4					○	2									
コープ16	1・2・3通	16					○	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	【第IV群】教養科目	哲学	1・2前	2		○									兼1
		倫理学	1・2後	2		○									兼1
		社会思想史	1・2前	2		○									兼1
		ことばと人間	1・2後	2		○									兼1
		地理学	1・2前	2		○			1						
		文化人類学	1・2前	2		○									兼1
		宗教と社会	1・2後	2		○									兼1
		法学	1・2前	2		○									兼1
		社会学	1・2前	2		○									兼1
		心理学	1・2前	2		○									兼1
		経営学	1・2前	2		○					1				
		自然史	1・2後	2		○									兼1
		生物学	1・2後	2		○									兼1
		統計学	1・2前	2		○			1						
		基礎数学	1・2前	2		○				1					
		健康科学	1・2前	2		○			1						
		トラベルメディスン	1・2後	2		○			1						
		手話演習	1・2後	2			○								兼1
		スポーツ	1・2後	1				○	1						
		専門科目	専門共通科目 学科共通科目	現代社会概論	1前	2		○							
観光学概論	1前			2		○			1						
観光産業入門	1後			2		○			1						
グローバルコミュニケーション	1前			2		○			1						
観光マーケティング基礎	2前			2		○			1						
観光文化論	2前			2		○			1						
観光リスクマネジメント	2後			2		○			1						
特殊講義Ⅰ	2・3前			2		○			1						
特殊講義Ⅱ	2・3後			2		○			1						
特殊講義Ⅲ	2・3前			2		○			1						
特殊講義Ⅳ	2・3後			2		○			1						
特殊講義Ⅴ	2・3前			2		○			1						
特殊講義Ⅵ	2・3後			2		○			1						
特殊講義Ⅶ	2・3前			2		○			1						
特殊講義Ⅷ	2・3後			2		○			1						
特殊講義Ⅸ	2・3前			2		○			1						
特殊講義Ⅹ	2・3後			2		○			1						
観光文化学特別演習A	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習B	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習C	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習D	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習E	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習F	1・2・3通			1			○		1						集中
観光文化学特別演習G	1・2・3通	1			○		1						集中		
観光文化学特別演習H	1・2・3通	1			○		1						集中		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門共通科目	両学科開講科目	陸上環境論	2・3後	2		○								兼1
		海洋環境論	2・3前	2		○								兼1
		環境倫理学	2・3後	2		○								兼1
		欧米文化論	2・3前	2		○			1					
		アジア文化論	1・2後	2		○								兼1
		消費生活論	2・3後	2		○								兼1
		市場調査論	2・3前	2		○								兼1
		労働社会学	2・3後	2		○								兼1
		産業心理学	3・4後	2		○								兼1
		消費者の心理	3・4前	2		○								兼1
		現代経済理論	2・3前	2		○					1			
		日本経済とグローバル経済	2・3後	2		○								兼1
		生活と経済	1・2前	2		○								兼1
		中小企業論	2・3前	2		○					1			
		産業政策論	2・3前	2		○					1			
		イノベーション論	3・4前	2		○					1			
		持続可能性経営論	2・3前	2		○								兼1
		企業の社会的責任	3・4前	2		○								兼1
		建築文化史(1)	1・2前	2		○								兼1
		建築文化史(2)	1・2後	2		○								兼1
専門科目	地域創造	地域創造論	1・2前	2		○				1				
		サステイナブルツーリズム論	2・3後	2		○							兼1	
		グリーンツーリズム論	2・3後	2		○			1					
		エコツーリズム論	2・3前	2		○			1					
		ヘリテージツーリズム論	2・3前	2		○				1				
		フードツーリズム論	2・3前	2		○			1					
		ウェルネスツーリズム論	2・3前	2		○			1					
		スポーツツーリズム論	3・4後	2		○			1					
	観光ビジネス	ホテルビジネス	1・2後	2		○			1					
		ブライダルビジネス	1・2後	2		○			1					
		旅行ビジネス	1・2前	2		○			1					
		エアラインビジネス	2・3前	2		○			1				兼1	
		観光ビジネスモデル論	2・3前	2		○			1					
		観光交通産業論	2・3後	2		○							兼1	
		観光経済論	2・3前	2		○			1					
		インバウンドビジネス	3・4前	2		○			1					
		テーマパーク・リゾートビジネス	3・4前	2		○			1					
		国際関係論	1・2後	2		○			1					
	グローバル	観光地理	1・2後	2		○			1					
		世界遺産論	1・2前	2		○				1				
世界の食文化		2・3後	2		○			1						
ユニバーサルツーリズム論		2・3前	2		○			1						
日本地域研究		1・2後	2		○			1						
日本歴史文化論		2・3後	2		○							兼1		
東アジア地域研究		2・3後	2		○				1					
東南アジア地域研究		2・3後	2		○			1						
南・西アジア地域研究		2・3前	2		○			1						
北米地域研究		2・3前	2		○							兼1		
中南米地域研究		2・3前	2		○				1					
ヨーロッパ地域研究		2・3後	2		○				1					
オセアニア地域研究	2・3前	2		○							兼1			
アフリカ地域研究	2・3後	2		○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 演習	基礎演習Ⅰ	1前	2				○		5	4					
	基礎演習Ⅱ	1後	2				○		5	4					
	課題研究Ⅰ	2前	2				○		7	1	1				
	課題研究Ⅱ	2後	2				○		7	1	1				
	専門演習Ⅰ	3前	2				○		7	1	1				
	専門演習Ⅱ	3後	2				○		7	1	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2				○		6	1	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2				○		6	1	1				
	卒業論文	4後		6			○		1						
合計(189科目)			60	347	0	—			13	6	3				
学位または称号		学士(観光学)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
基礎科目は40単位以上(必修18単位、選択必修22単位以上)、専門科目については64単位以上(必修30単位、選択34単位以上)を履修修得した上で、基礎科目及び専門科目から20単位以上を修得し、卒業要件単位である124単位を満たすこと。							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			前期(14週) 後期(14週)					
							1時限の授業時間			100分					

学校法人濱名学院 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和2年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
関西国際大学					関西国際大学					
人間科学部	人間心理学科	125	-	500	人間科学部	人間心理学科	125	-	500	
経営学部	経営学科	100	3年次 20	440	経営学部	経営学科	100	3年次 20	440	
教育学部	教育福祉学科	150	-	600	教育学部	教育福祉学科	150	-	600	
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50	-	200	国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50	-	200	
保健医療学部	看護学科	80	-	320	保健医療学部	看護学科	<u>100</u>	-	<u>400</u>	定員変更(20) (認可申請) 平成31年3月申請
計		505	3年次 20	2,060	現代社会学部	総合社会学科	<u>80</u>	<u>3年次 10</u>	<u>340</u>	設置者変更 (認可申請) 定員変更 (入学定員200、 編入学定員10人 (3年次)) 令和元年6月申請
						観光学科	<u>120</u>	-	<u>480</u>	
						都市交流学科	<u>0</u>	-	<u>0</u>	平成25年4月 募集停止
					計		<u>725</u>	<u>3年次 30</u>	<u>2,960</u>	
関西国際大学大学院					関西国際大学大学院					
人間行動学研究科人間行動学専攻(M)		8	-	16	人間行動学研究科人間行動学専攻(M)		8	-	16	
人間行動学研究科臨床教育学専攻(M)		8	-	16	人間行動学研究科臨床教育学専攻(M)		8	-	16	
看護学研究科看護学専攻(M)		6	-	12	看護学研究科看護学専攻(M)		6	-	12	
計		22		44	看護学研究科看護学専攻(D)		<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更 (認可申請) 平成31年3月申請
					計		<u>24</u>		<u>50</u>	
関西保育福祉専門学校					関西保育福祉専門学校					
保育専門課程保育科		140	-	280	保育専門課程保育科		<u>100</u>	-	<u>200</u>	入学定員変更 (△40)
福祉専門課程介護福祉科		40	-	80	福祉専門課程介護福祉科		40	-	80	
計		180	-	360	計		<u>140</u>		<u>280</u>	
認定こども園					認定こども園					
難波愛の園幼稚園		-	-	324	難波愛の園幼稚園		-	-	324	

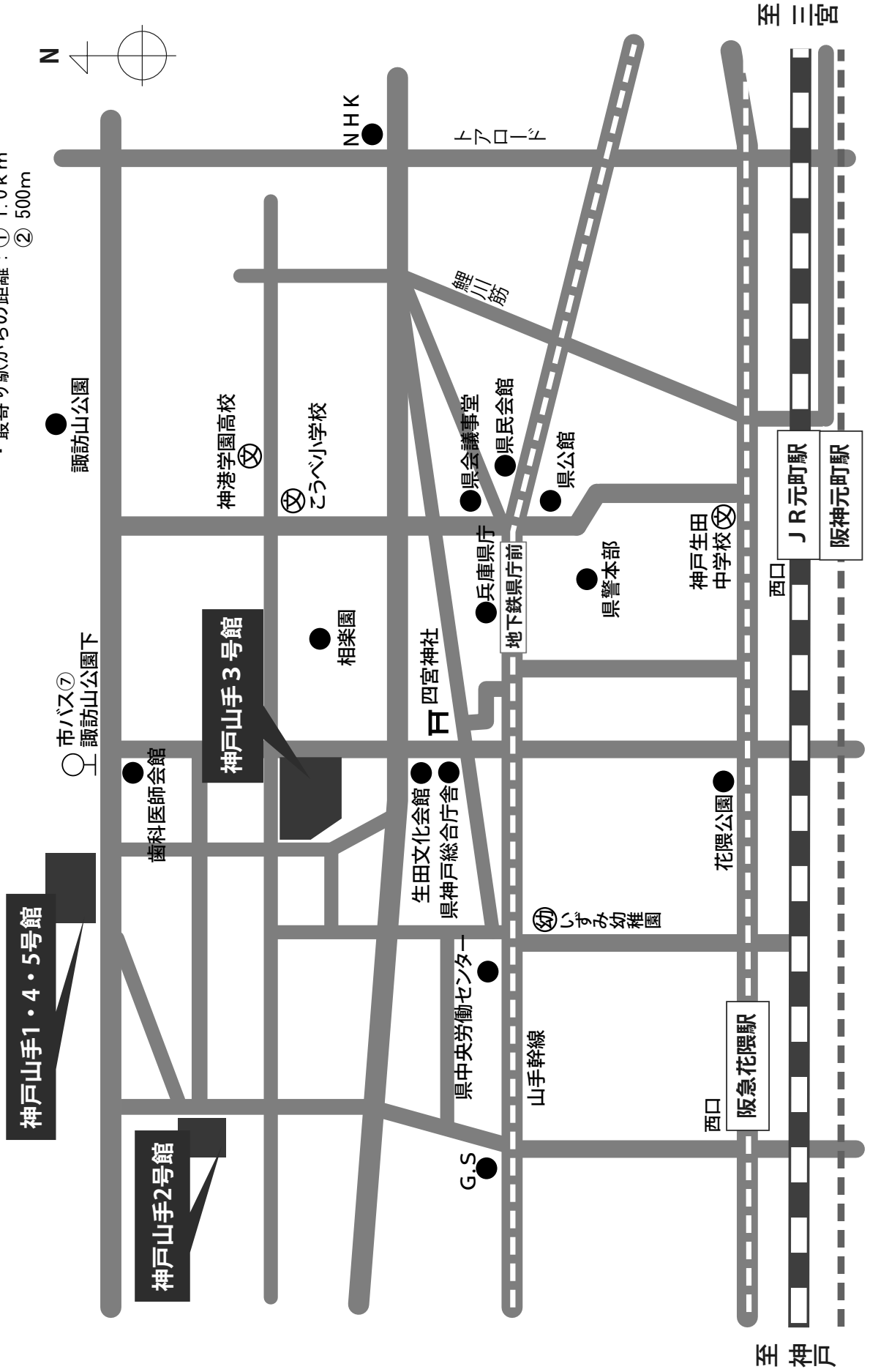
①都道府県内における位置関係の図面



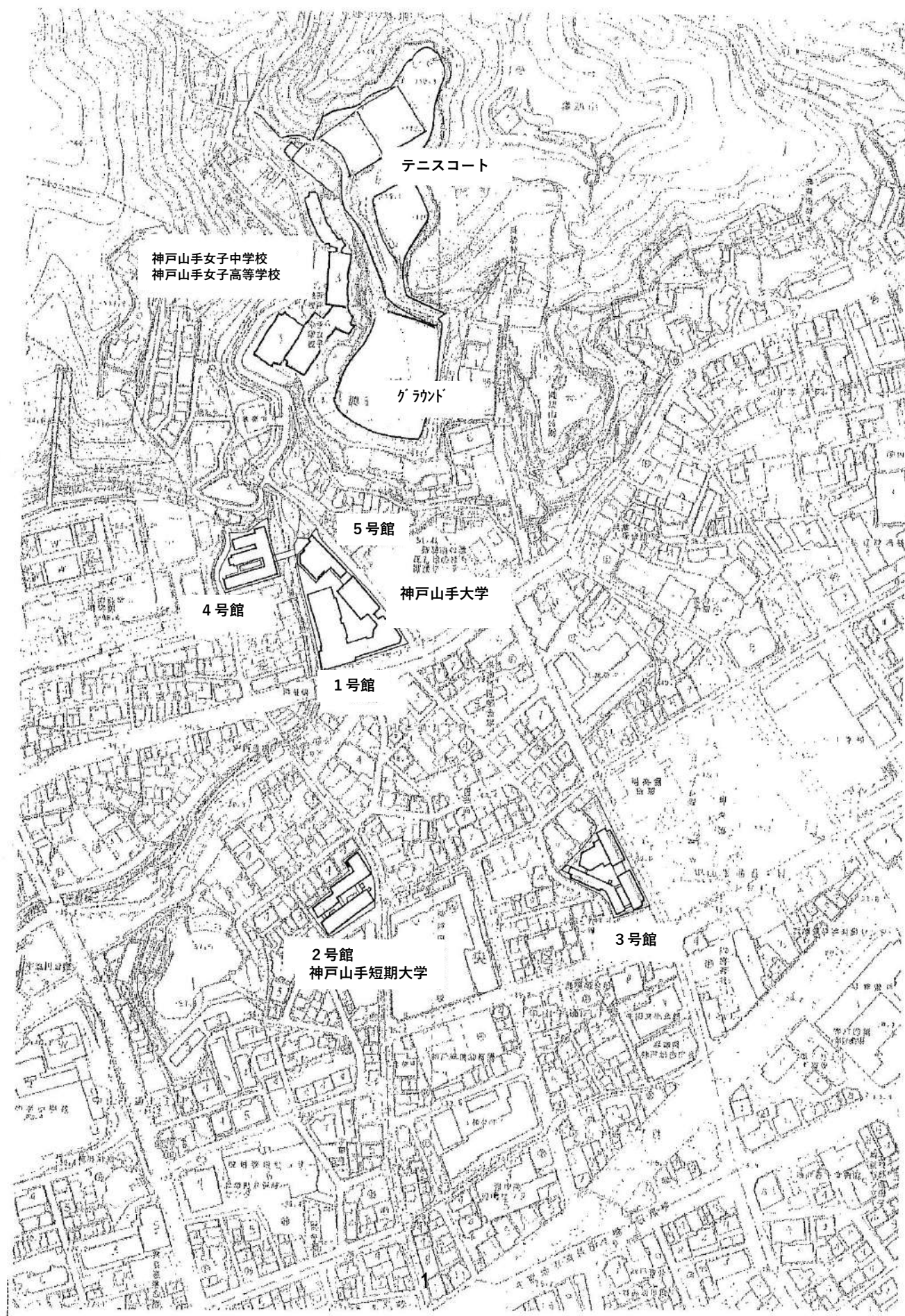


②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

- 最寄り駅：① JR元町駅（徒歩12分）
- ② 地下鉄県庁前駅（徒歩5分）
- ・最寄り駅からの距離：① 1.0 km ② 500m





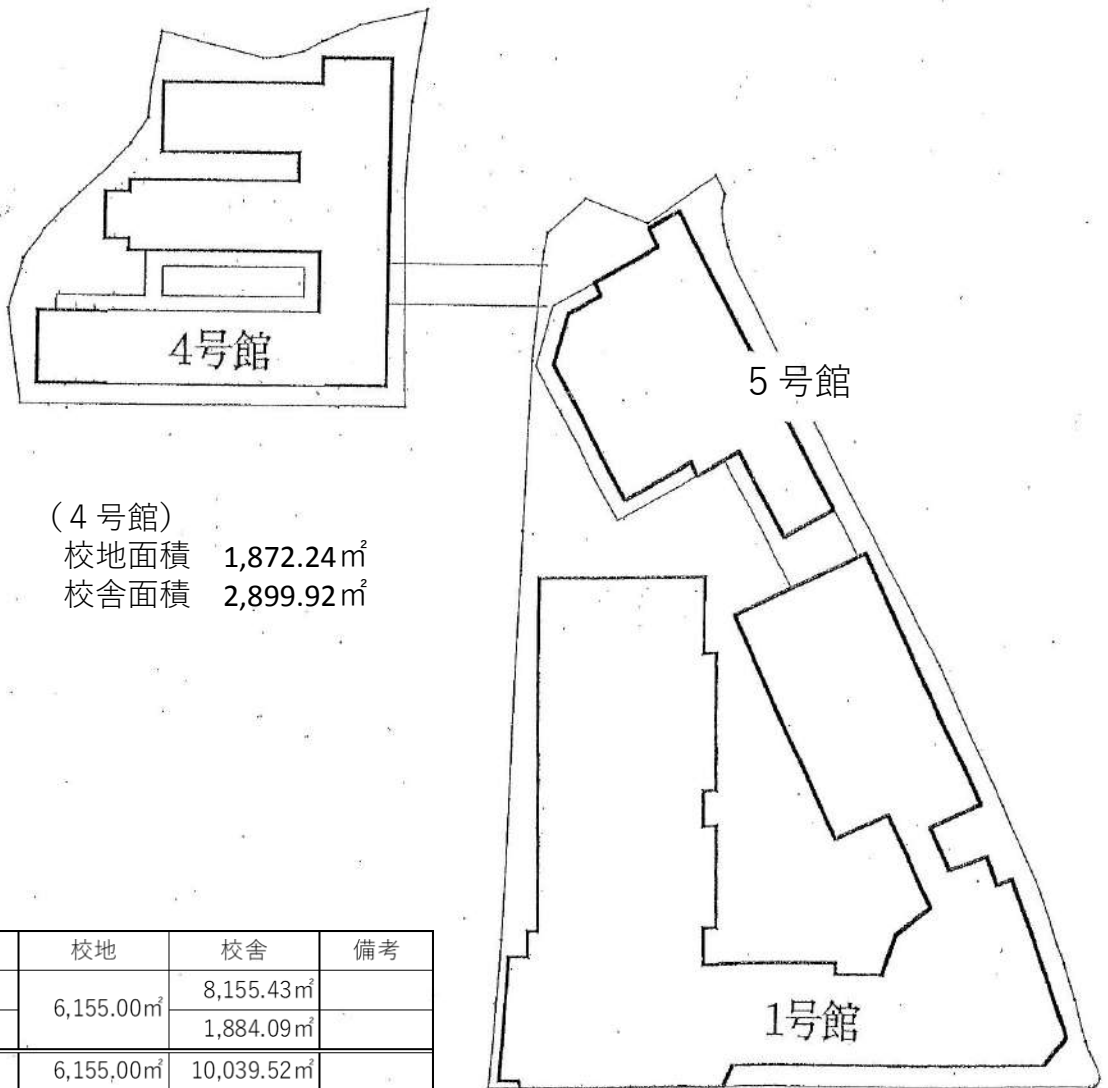




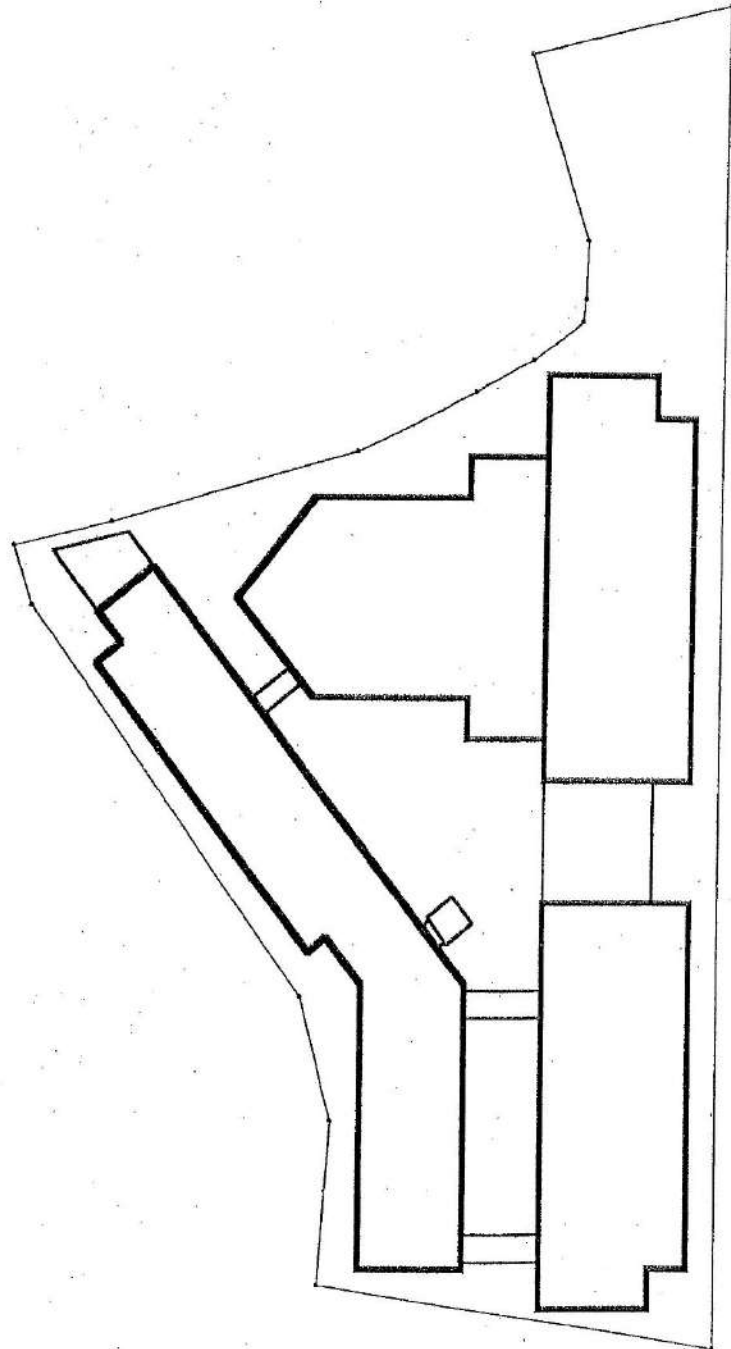
# 神戸山手大学

## 校舎等建物の配置図

1号館、4号館、5号館

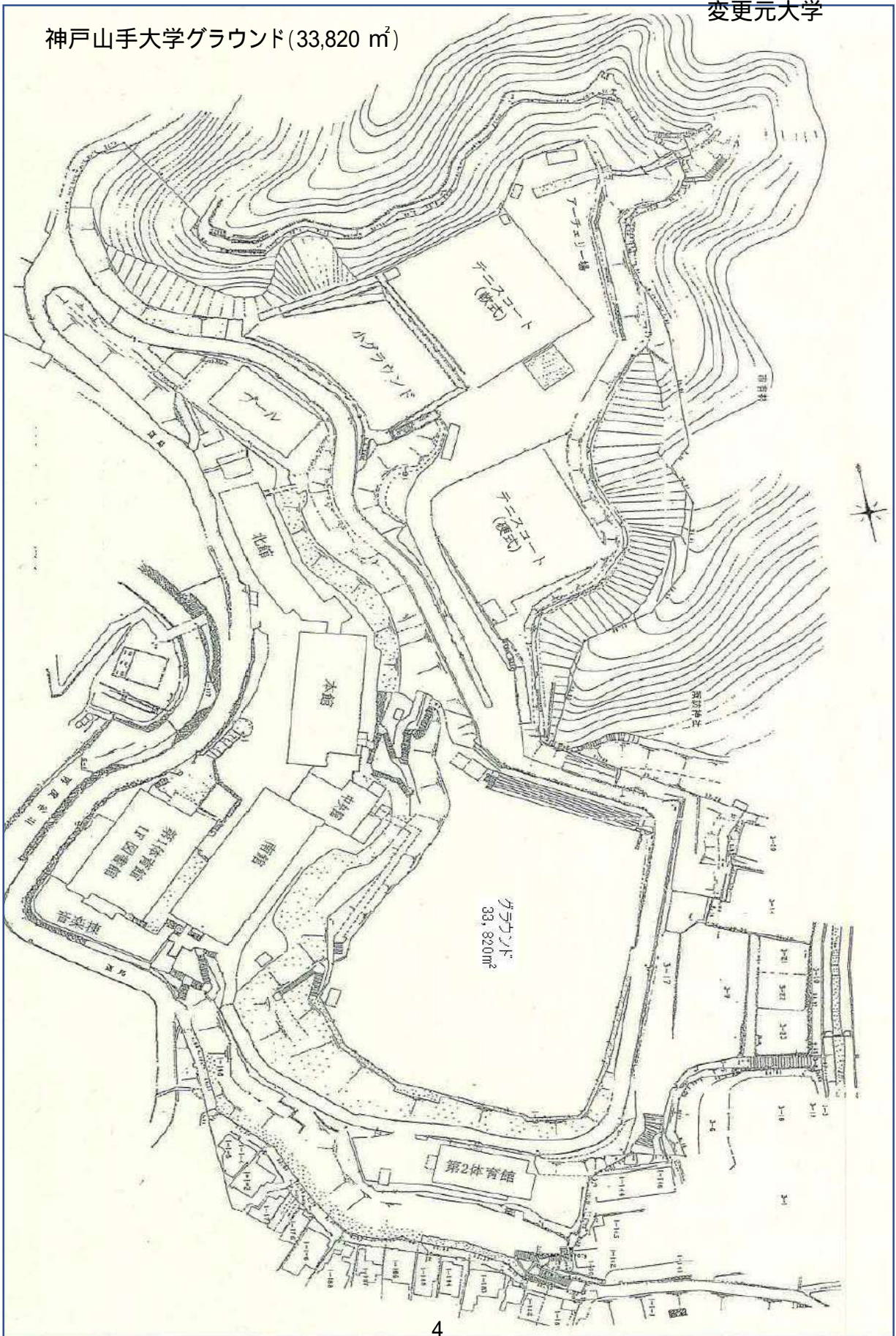


神戸山手大学  
校舎等建物の配置図  
3号館



(3号館)  
校地面積 2,942.24m<sup>2</sup>  
校舎面積 5,698.95m<sup>2</sup>

神戸山手大学グラウンド(33,820 m<sup>2</sup>)

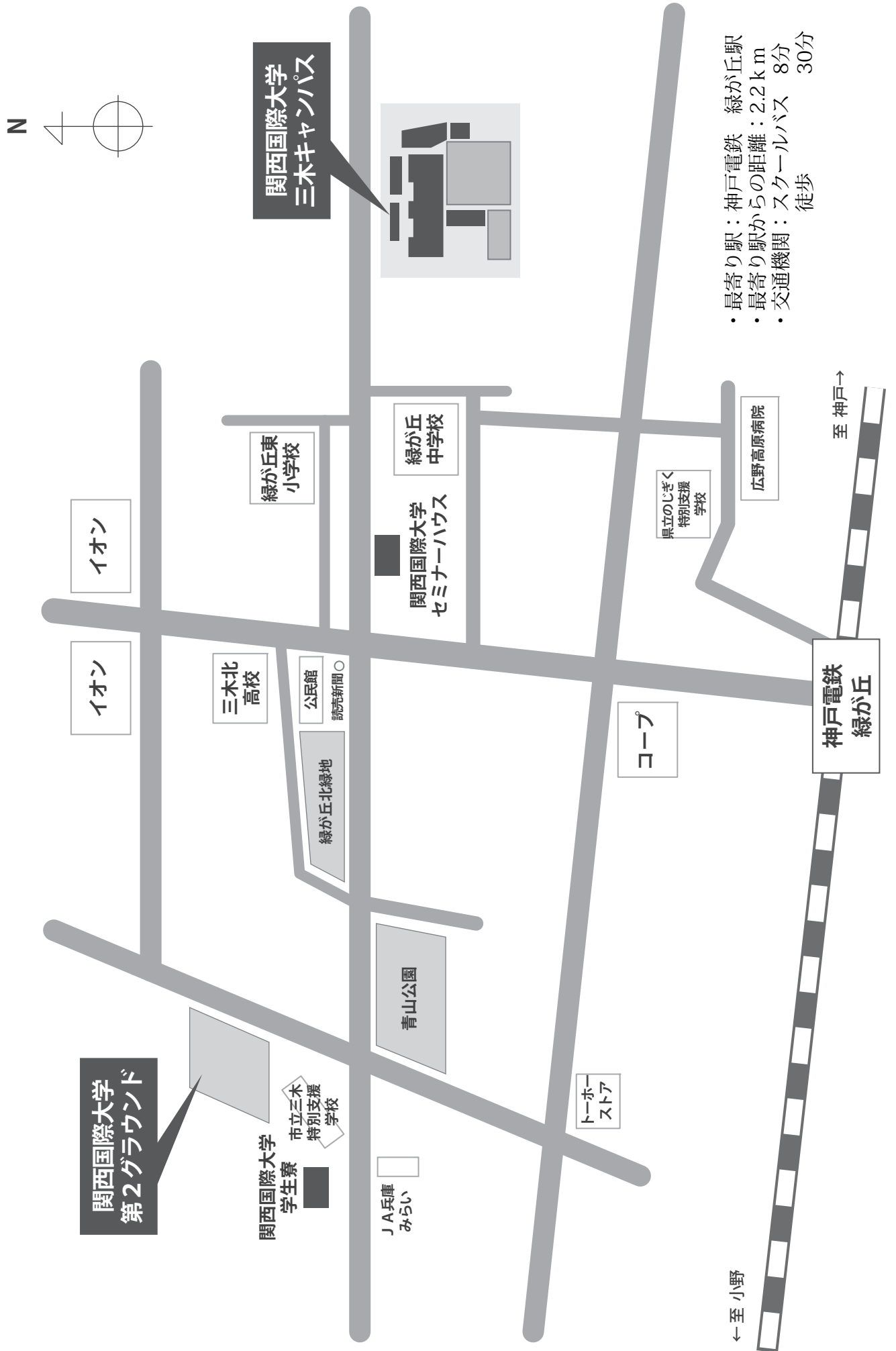


①都道府県内における位置関係の図面

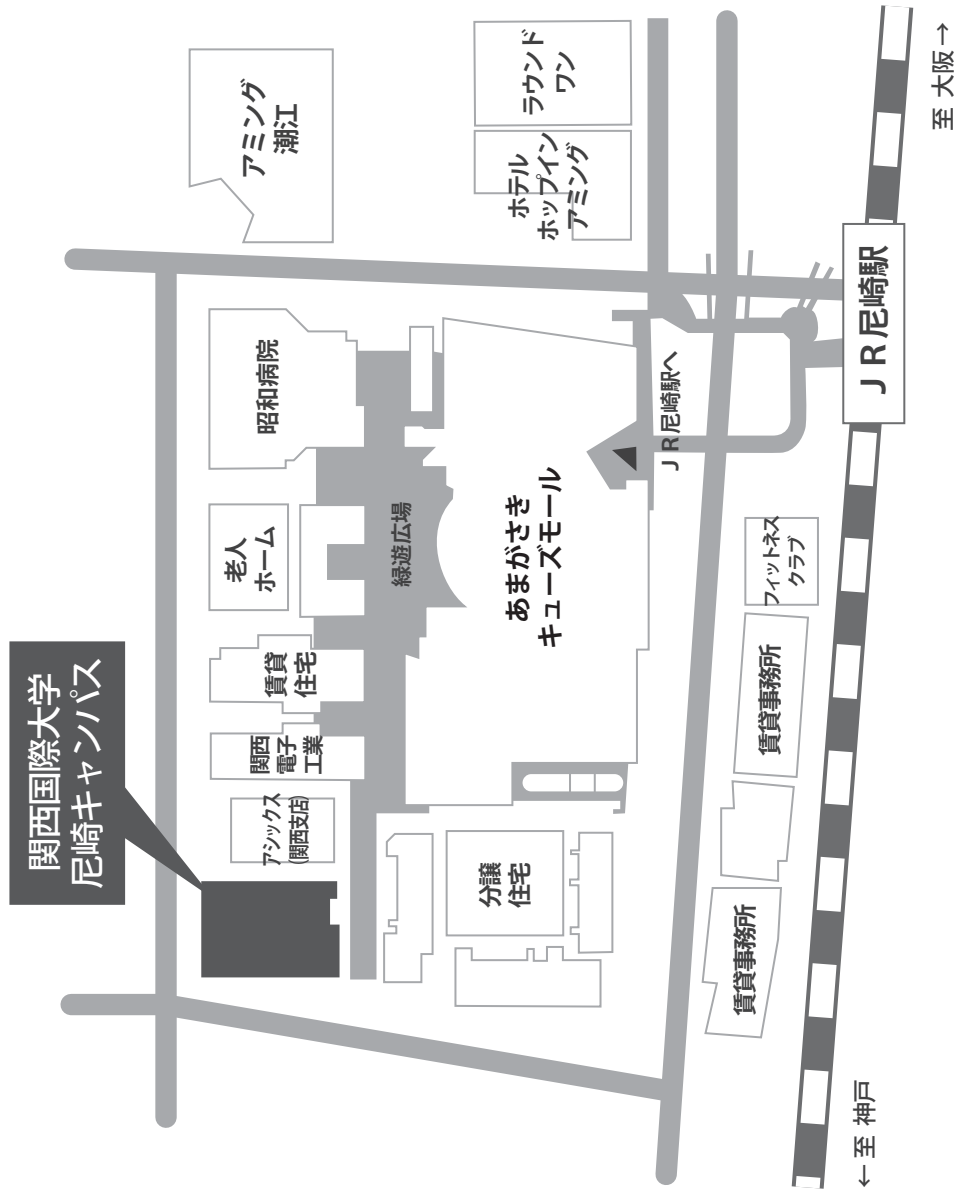




②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面（三木キャンパス）

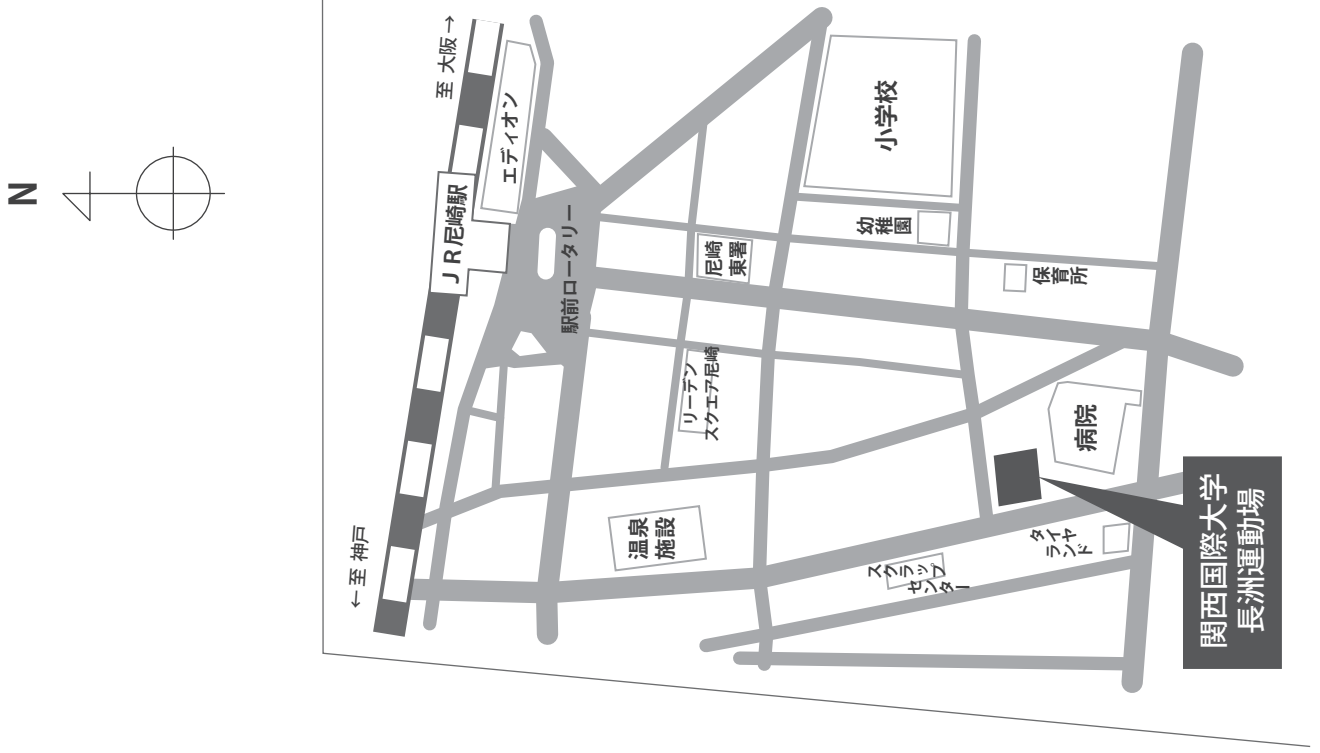


②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面（尼崎キャンパス）



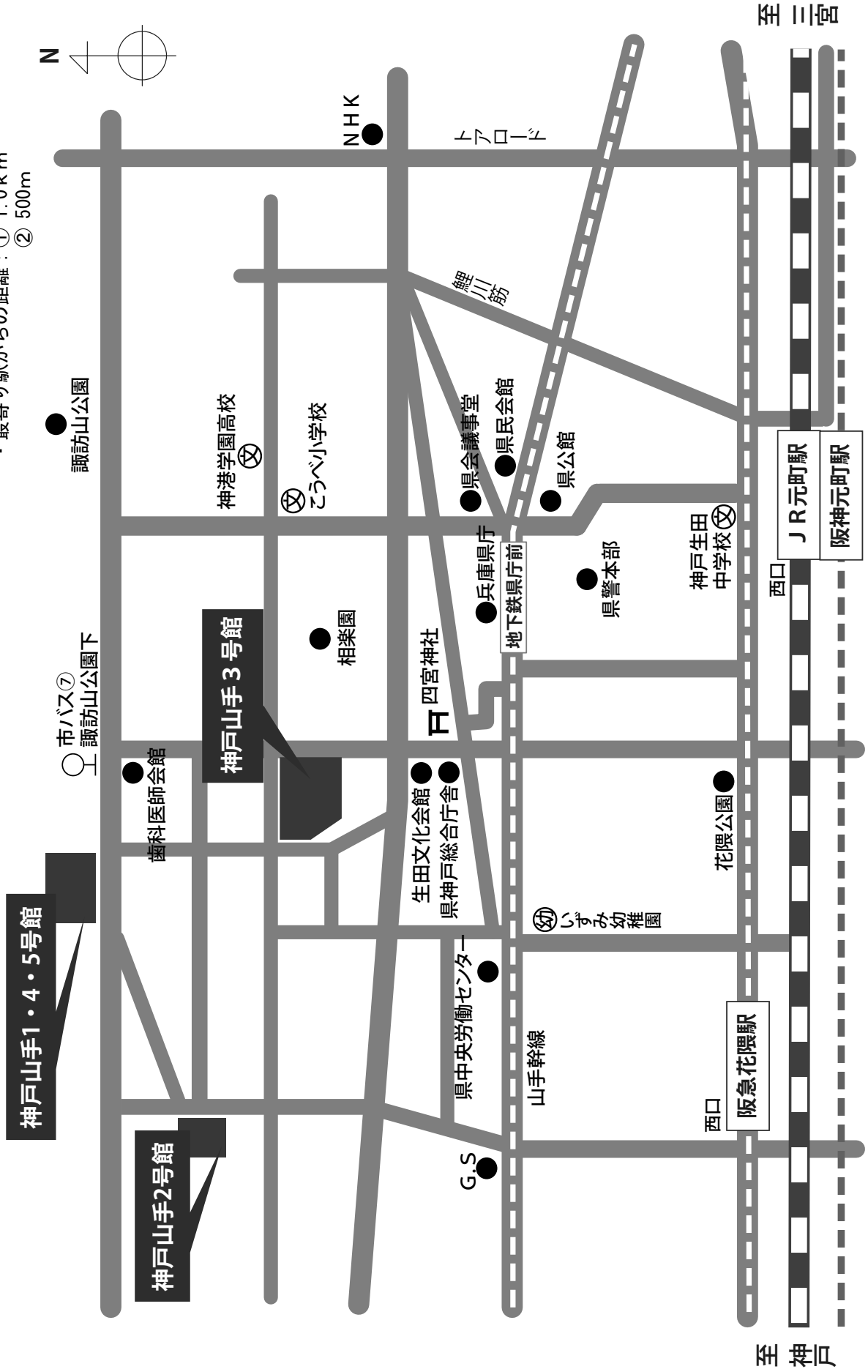
- 最寄り駅：JR 尼崎駅
- 最寄り駅からの距離： 0.6 k m
- 交通機関：徒歩 7分

変更先大学



②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面（神戸山手キャンパス）

- ・最寄り駅：① JR元町駅（徒歩12分）  
② 地下鉄県庁前駅（徒歩5分）
- ・最寄り駅からの距離：① 1.0 km ② 500m



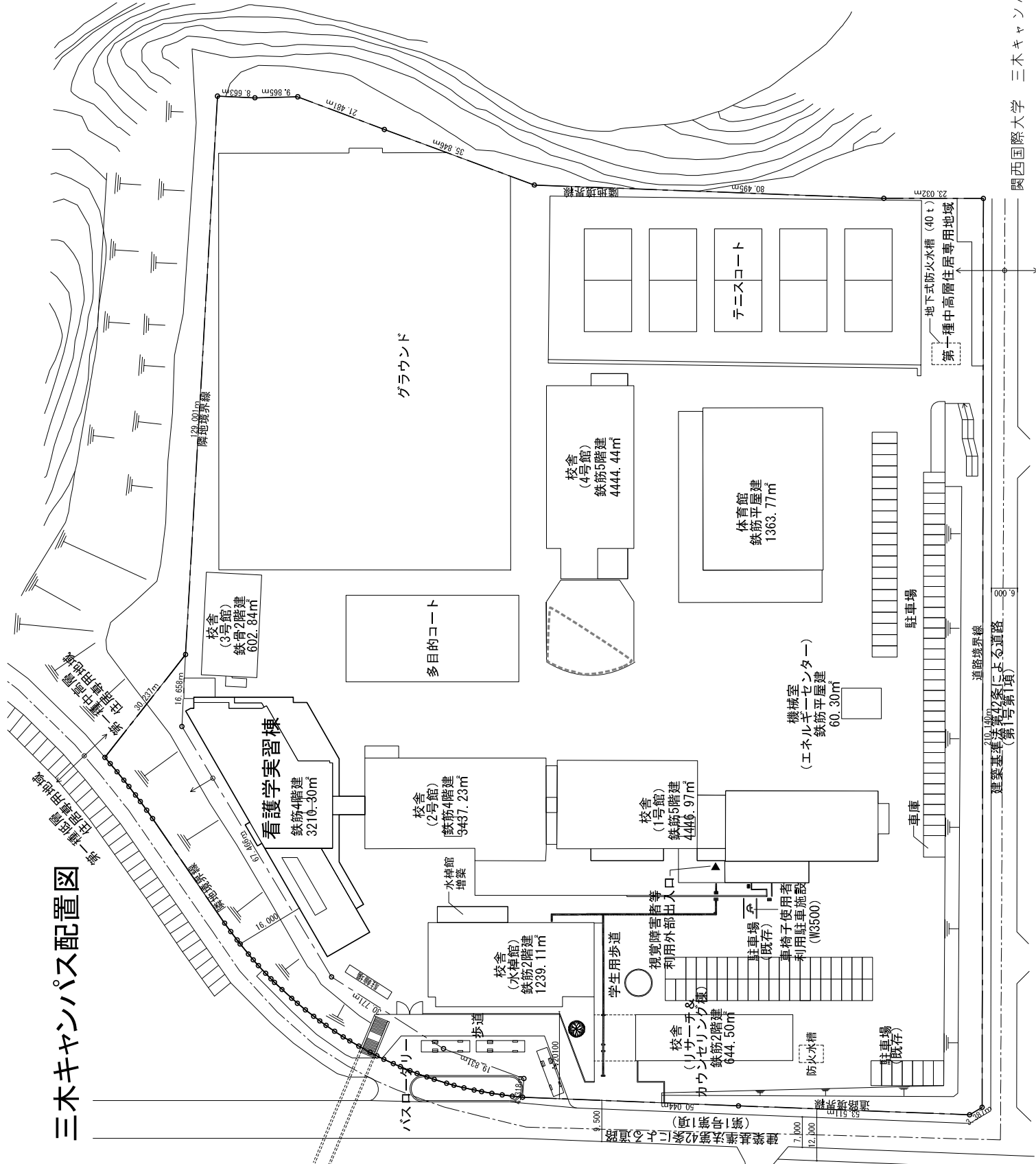




三木キャンパス配置図



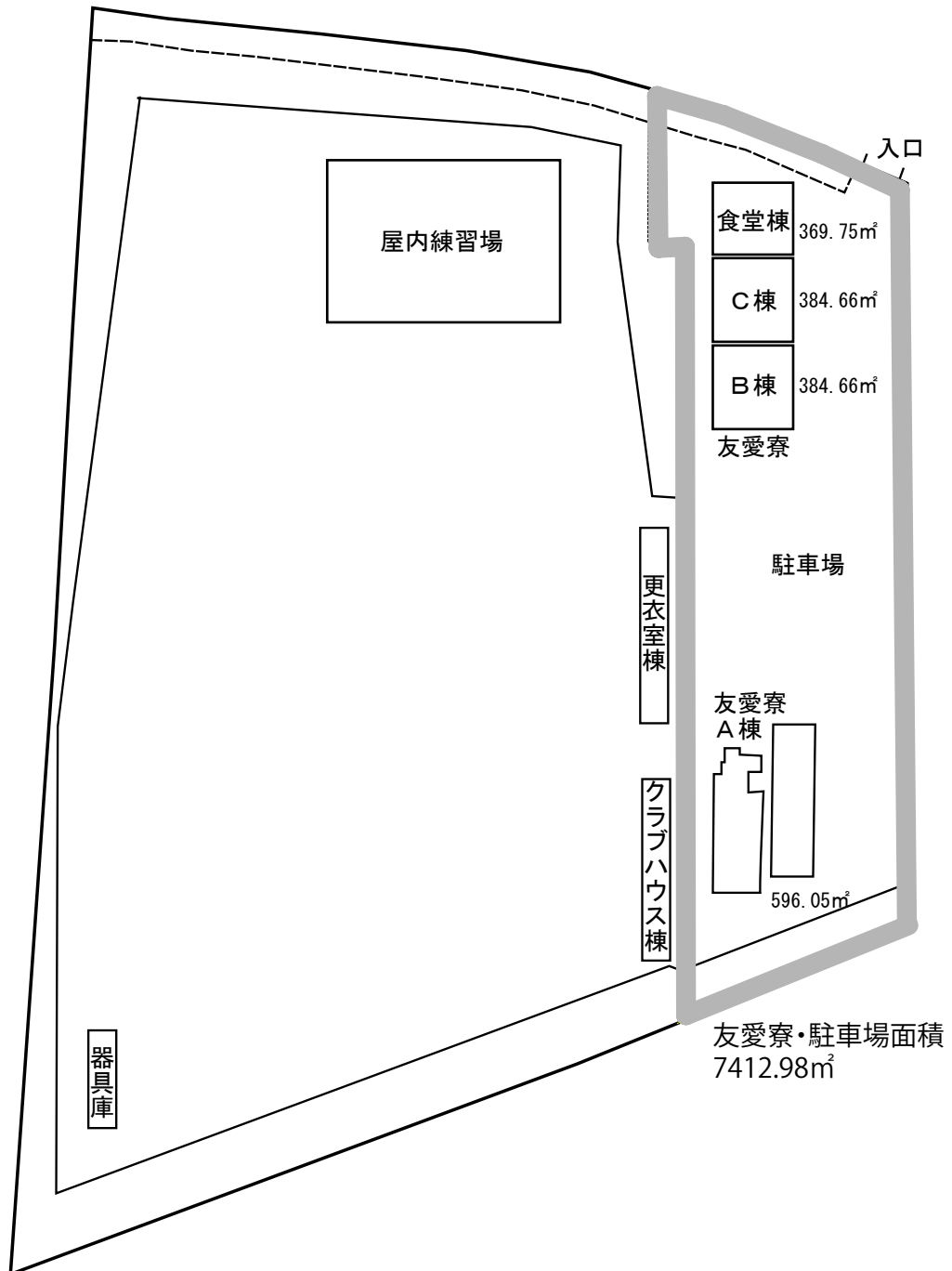
校地面積 36,713㎡  
校舎面積 17,612㎡



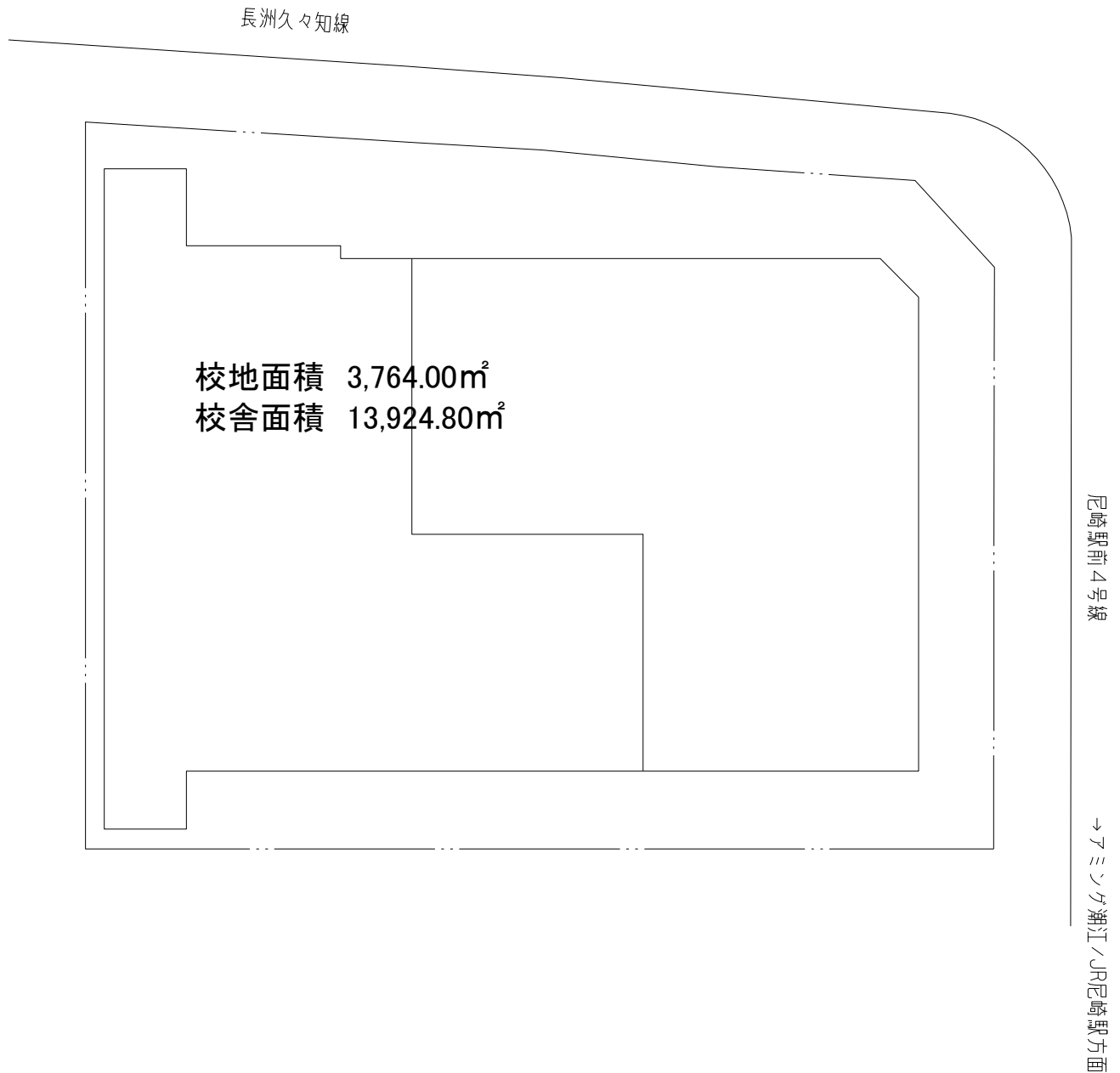
## 関西国際大学第2グラウンド

校地面積32,978.00㎡

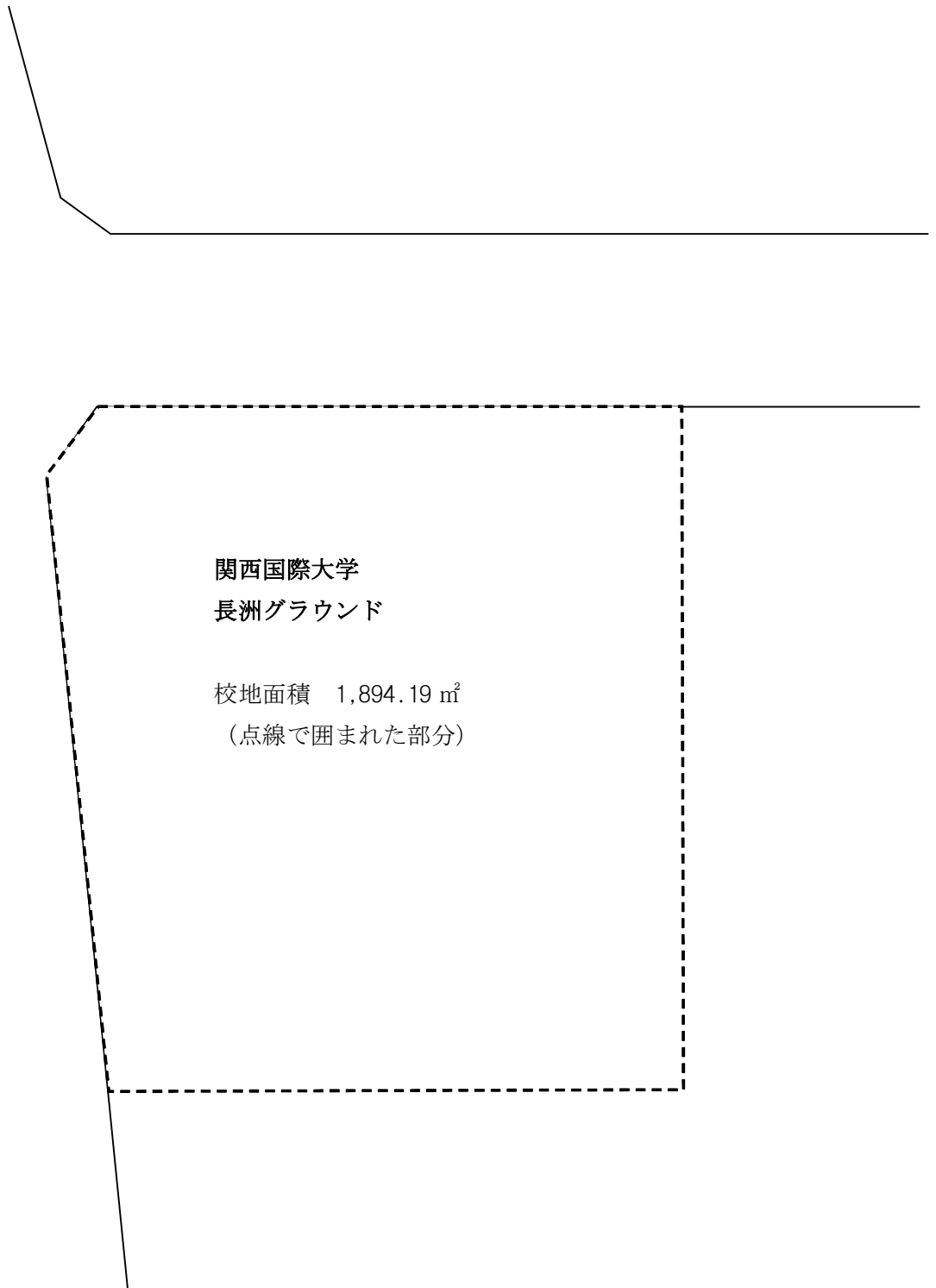
(校地面積は実線で囲まれた部分。ただし友愛寮・駐車場用地の面積(7412.98㎡を除く)

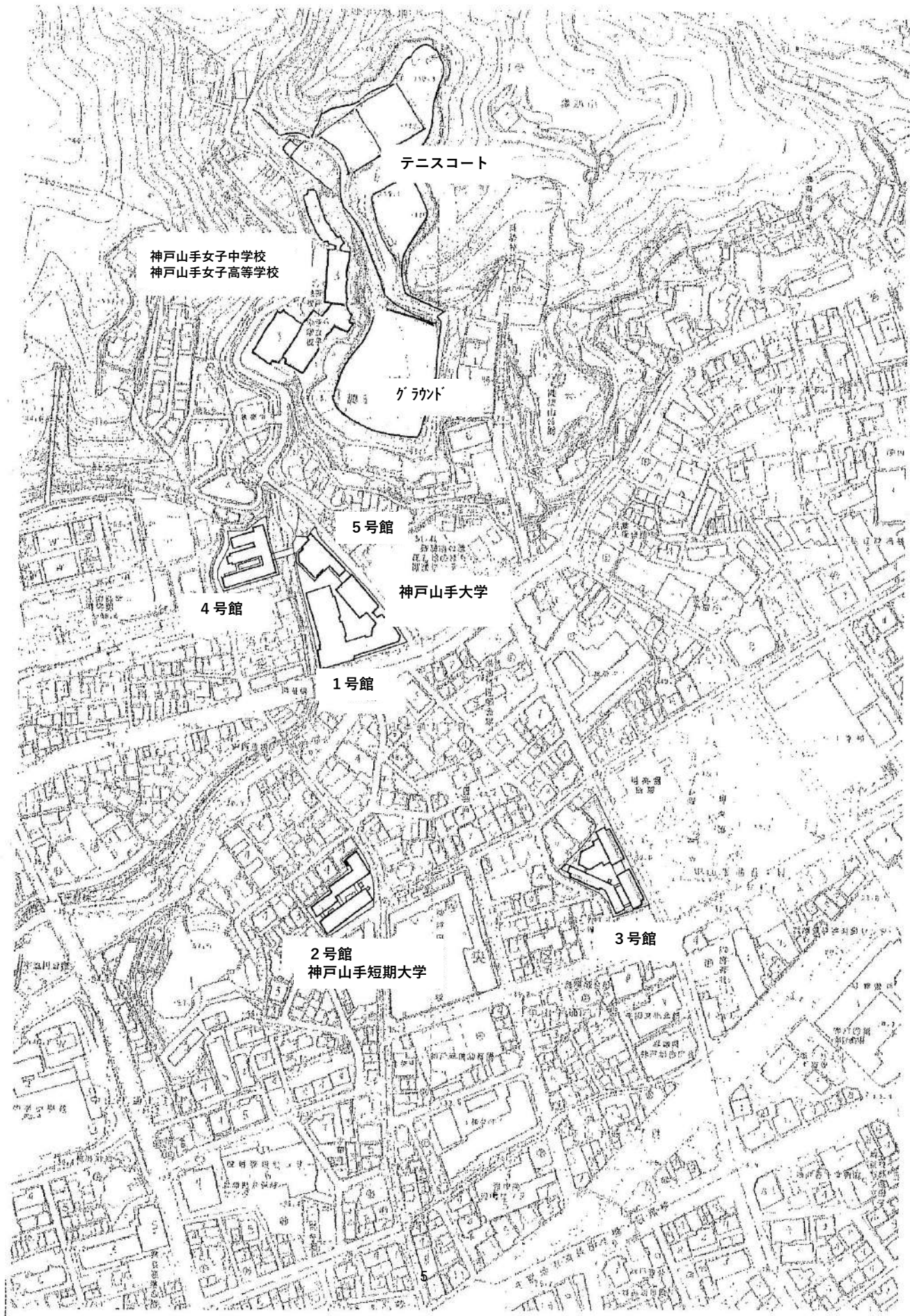


# 尼崎キャンパス配置図

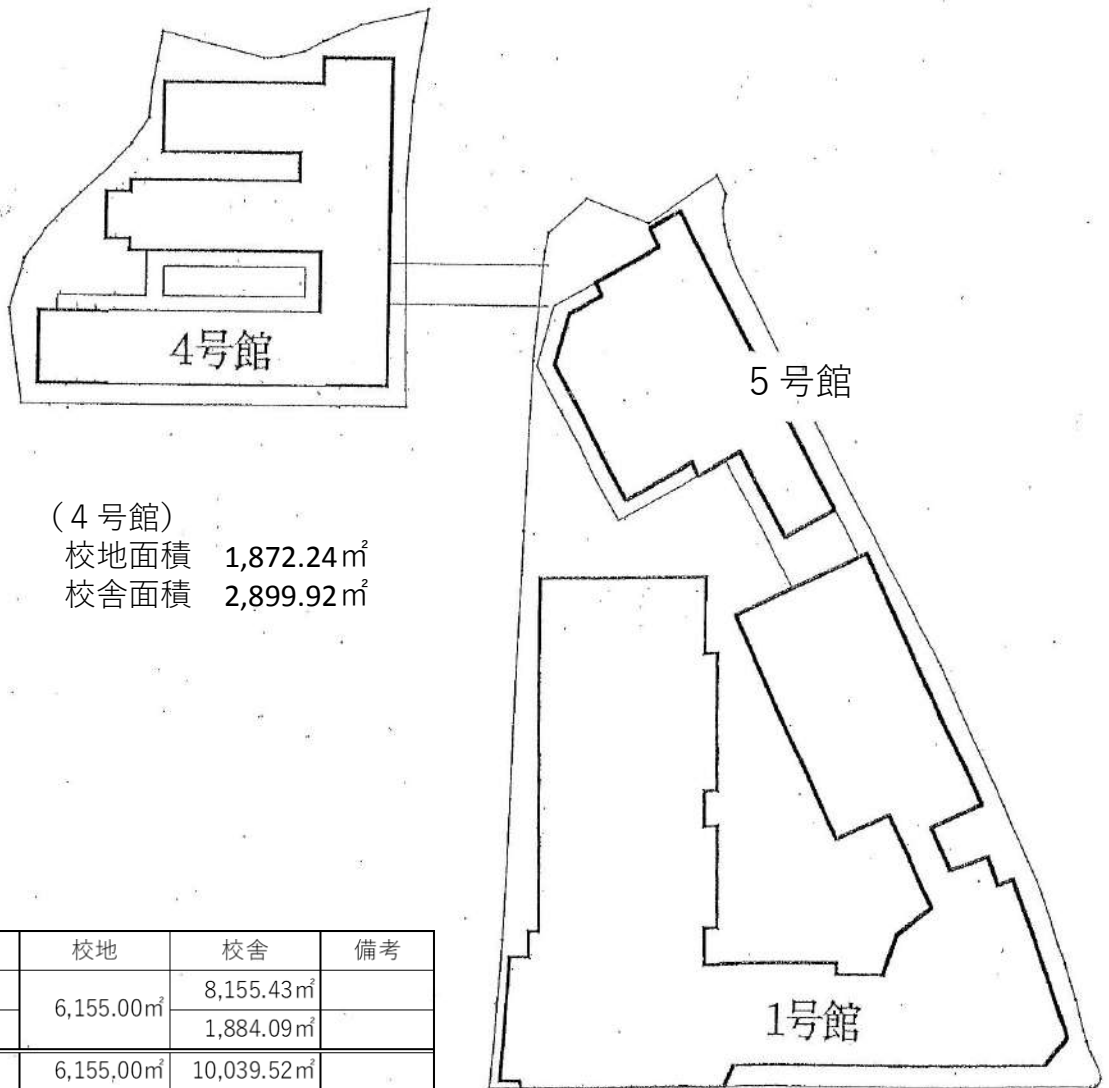


# 関西国際大学長洲グラウンド

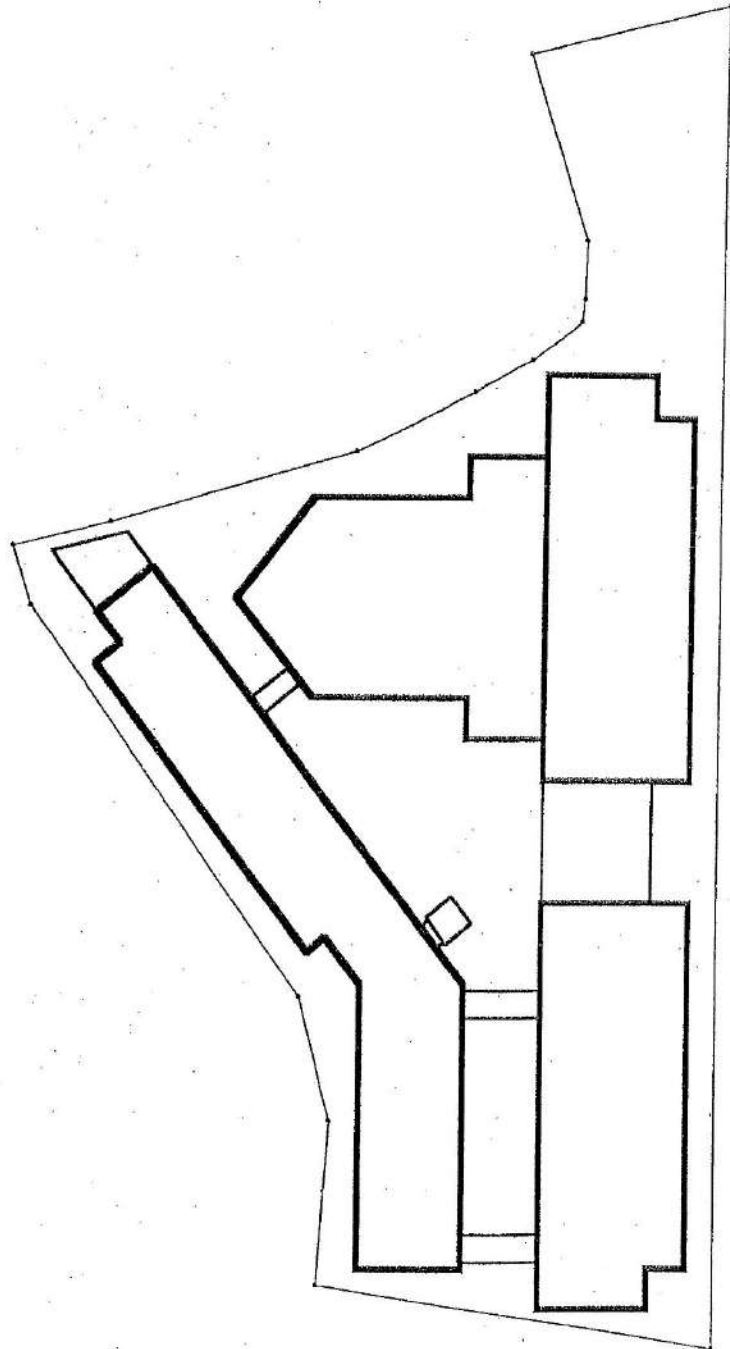




校舎等建物の配置図  
1号館、4号館、5号館



校舎等建物の配置図  
3号館

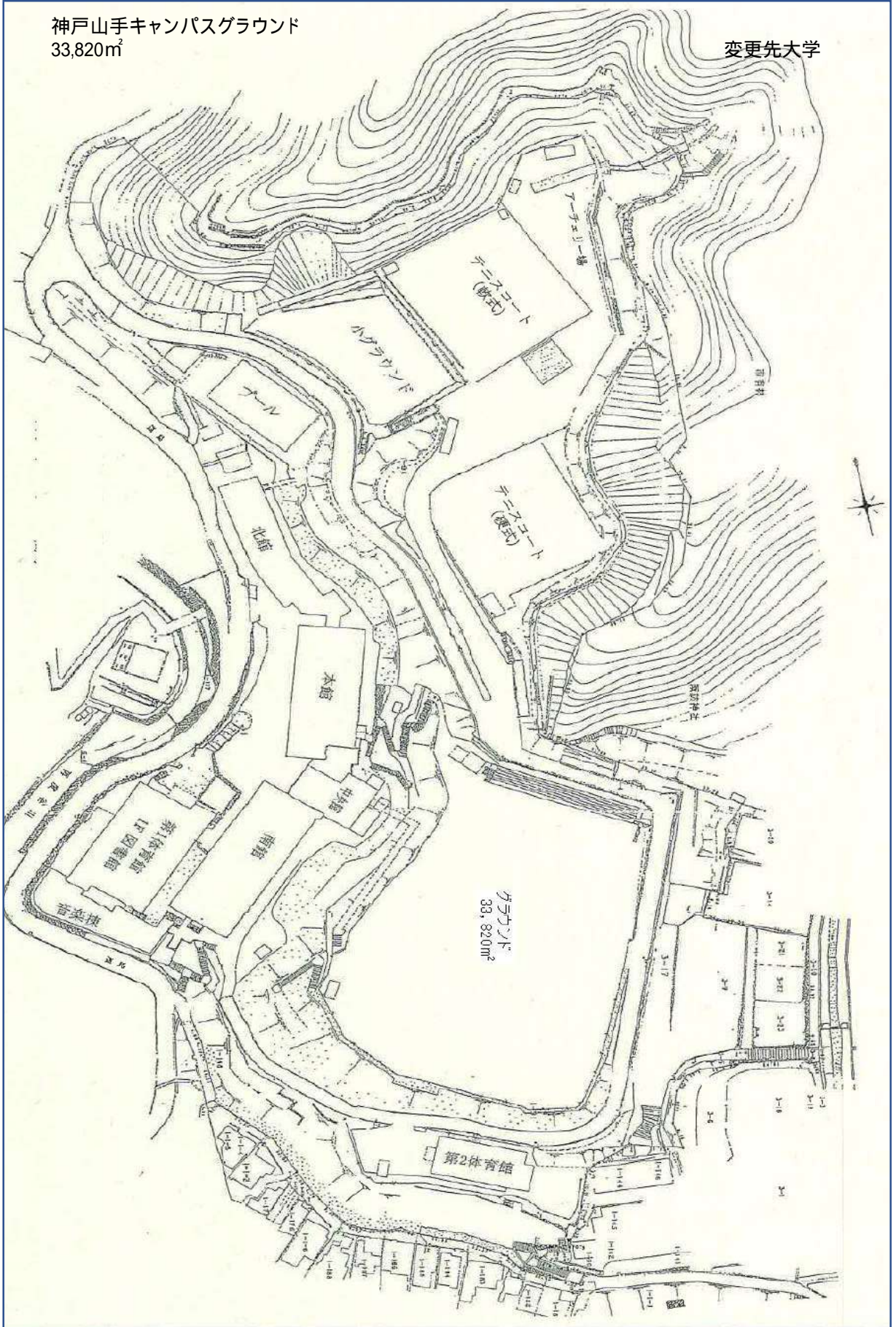


(3号館)  
校地面積 2,942.24m<sup>2</sup>  
校舎面積 5,698.95m<sup>2</sup>



神戸山手キャンパスグラウンド  
33,820m<sup>2</sup>

変更先大学



# 関西国際大学学則（案）

## 第1章 総 則

### （目 的）

第1条 関西国際大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、グローバルな視野に立った教養と専門的知識・技術を修得し、安全な社会やコミュニティづくりに向けて総合的に活用できる人材を育成することを目的とする。

2 各学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、各学部の学部規則に定める。

### （教育目標）

第1条の2 前条に規定する目的を実現するために、本学は次の各号に定める力・資質を修得・涵養し、総合的に活用できる人材を養成することを教育目標とする。

- (1) 自律的で主体的な態度（自律性）
- (2) 社会に能動的に貢献する姿勢（社会的貢献性）
- (3) 多様な文化や背景を理解し受け容れる能力（多様性理解）
- (4) 問題発見・解決力
- (5) コミュニケーションスキル
- (6) 専門的知識・技能の活用力

### （2 削除）

2 本条に規定する教育目標の達成方法及び評価方法は、別に定める。

### （自己評価等）

第2条 本学は、教育水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項に定める評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

## 第2章 学部・学科、学生定員及び修業年限

### （学部・学科及び学生定員）

第3条 本学において設置する学部・学科・専攻及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	100人	20人	440人
人間科学部	人間心理学科	125人	—	500人
教育学部	教育福祉学科	150人	—	600人
	福祉学専攻	30人	—	120人
	こども学専攻	120人	—	480人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50人	—	200人
保健医療学部	看護学科	100人	—	400人
現代社会学部	総合社会学科	80人	10人	340人
	観光学科	120人	—	480人

### （短期大学部）

第4条（削 除）

### （大学院）

第4条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関することは、別に定める。

(別科)

第4条の3 本学に別科を置く。

2 別科に関することは別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

2 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第14条及び第15条の規定により入学した学生は、在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

### 第3章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学 期)

第7条 学年を次の4学期に分ける。

春学期	4月1日から7月31日まで
夏学期(集中)	8月1日から9月30日まで
秋学期	10月1日から翌年1月31日まで
冬学期(集中)	2月1日から3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする

日曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

夏期休業日 8月1日から8月31日まで

冬期休業日 12月24日から翌年1月6日まで

春期休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

### 第4章 入学、退学及び休学

(入学の時期)

第9条 入学の時期は、春学期または秋学期の始めとする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を終了した者を含む)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(7) その他、相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第11条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 その他提出の時期、方法、提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第12条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第13条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の納付金を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第14条 本学に、編入学を志願する者は、第3条に定める編入学定員の枠内又は欠員のある場合、選考の上、3年次に学長が入学を許可する。

2 編入学の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 短期大学を卒業した者

(2) 他の大学において、2年以上在学し、62単位以上修得した者

(3) 大学を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程を修了した者

3 その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

(再入学・転入学)

第15条 本学に再入学、又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に学長が入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転学部・転学科・転専攻)

第16条 転学部・転学科・転専攻を希望する者がある時は、選考の上、学長が許可することがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(退学)

第17条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(休学)

第18条 疾病その他やむを得ない事情により3ヵ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学をすることができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第19条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし特別の事由がある場合は、引き続き更に1年を限度として延長を認めることができる。

2 休学の期間は通算して2年を超えることができない。

3 前2項の規定にかかわらず、母国の兵役により休学する場合は、2年を限度に、前2項の休学限度期間に加えることができる。

4 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

(留学)

第20条 外国の大学又は短期大学で学修を志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項により留学する期間は、原則として3ヶ月以上1年以内とし、2年を限度とする。

3 第1項により留学する者は、許可された期間のうち1年を限度として、第33条に定める在学年限に算入することができる。

4 本条に定めるもののほか、留学について必要な事項は、別に定める。

(復学)

第21条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第22条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項および第3項に定める在学年限を超えた者
- (2) 第19条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料等の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (4) 死亡または長期にわたり行方不明の者

2 除籍となった者の復籍については別に定める。

## 第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第23条 授業科目を分けて、専門教育科目、基盤教育科目とする。ただし、現代社会学部は、専門科目、基礎科目とする。

- 2 授業科目の種類、単位数等は別表第1-1から第1-7のとおりとする。
- 3 前1項に定めるもののほか、教員免許状取得に必要な科目を置く。
- 4 前3項の授業科目の種類、単位数等は別表第2のとおりとする。

(KUISオナーズプログラム)

第23条の2 各学部(保健医療学部を除く。)に、学部横断型の教育を行うための教育課程として、KUISオナーズプログラムを置く。

- 2 KUISオナーズプログラム及び当該プログラムの教育を受ける学生の卒業の認定については、KUISオナーズプログラム規則により定める。

(授業期間)

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(単位の計算方法)

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 講義、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作、課題研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えるものとする。

(学習の評価)

第27条 試験等の評価は優、良、可、不可、または認定をもって表わし、可以上あるいは認定を合格とする。

(入学前の既修得単位等の取扱い)

第28条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った他の大学又は短期大学における学修又は文部科学大臣が別に定める学修を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

- 2 前項により修得したのものとして認定することのできる単位数は、編入学等を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前2項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

4 前3項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第29条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(外国の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協議により、学生が休学することなく当該外国の大学又は短期大学において学修することを認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他本学が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、第29条第1項により本学において修得したものとして認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

第32条 第29条、第30条及び第31条の規定により他の大学又は短期大学あるいは外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる単位数は、すべてを合わせて60単位を超えない範囲とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第32条の2 学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

## 第6章 卒業等

(卒業の要件)

第33条 本学を卒業するためには、学生は、休学期間及び特別履修期間を除いて、4年以上在学し、別表第1に定めるところにより、126単位以上を取得しなければならない。

(卒業)

第34条 本学に休学期間及び特別履修期間を除いて、4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 卒業の期日は、3月31日又は9月30日とする。

(学位)

第35条 前条の規定に基づき、本学を卒業した者に対しては、学士の学位を授与する。

2 学位には、専攻分野の名称を付記するものとする。

3 前項の専攻分野の名称は、別に定める。

## 第7章 資格

(免許状・資格の種類)

第36条 本学において取得することができる免許状及び資格の種類は、次のとおりである。

人間科学部 人間心理学科	……………	中学校教諭一種免許状・社会
		…………… 高等学校教諭一種免許状・公民
		…………… 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)
		…………… 認定心理士(日本心理学会)

教育学部	教育福祉学科	
	福祉学専攻	…………… 社会福祉士国家試験受験資格
		…………… 保育士資格
	こども学専攻	…………… 特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
		…………… 保育士資格
		…………… 幼稚園教諭一種免許状
		…………… 小学校教諭一種免許状
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	
		…………… 中学校教諭一種免許状・英語
		…………… 高等学校教諭一種免許状・英語
保健医療学部	看護学科	…………… 保健師国家試験受験資格
		…………… 助産師国家試験受験資格
		…………… 看護師国家試験受験資格

(教員免許状の取得)

第 37 条 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 教員免許状を取得しようとする者は、別に定める実習指導料及び教育実習委託費を納入しなければならない。

3 その他、教員免許状を取得するために必要な事項は、別に定める。

第 38 条 (削除)

(認定心理士資格の取得)

第 39 条 認定心理士資格を取得しようとする者は、日本心理学会と人間科学部人間心理学科が定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、認定心理士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(保育士資格の取得)

第 39 条の 2 保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保育士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(社会福祉士受験資格の取得)

第 39 条の 3 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、社会福祉士受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程の設置)

第 39 条の 4 本学に社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程(以下、「認定課程」という。)をおく。

2 認定課程を修了し、社会福祉士の登録を受けた者については、本学が社団法人日本社会福祉士養成校協会に申請することにより、「社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」として修了証の交付を受けることができる。

3 認定課程の履修等に関する事項は、別に定める。

第 39 条の 5 保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学が定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

## 第8章 入学検定料、入学金、授業料等納付金

(入学検定料等の金額)

第40条 本学の入学検定料、入学金、授業料等の金額は別表第3のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第41条 授業料等は年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納入しなければならない。

区 分	納 入 期
1期 (4月から9月まで)	4月中
2期 (10月から翌年3月まで)	10月中

2 やむを得ない事情によって、授業料等の分納・延納を希望する学生の取扱いについては、別に定める。

(退学及び停学の場合の授業料等)

第42条 学期の途中で退学し又は停学となった者の当該納入期分の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

2 停学期間中の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

(休学の場合の授業料等)

第43条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学する月の前月までの期間、授業料を納入するものとする。ただし、この場合の授業料の額は、年額で18万円とし、その12分の1をもって月額として算定する。

(復学の場合の授業料等)

第44条 復学を許可された者については、復学した月から授業料等を納入するものとする。ただし、この場合の授業料等の額は、第40条に定める授業料等(年額)の12分の1をもって月額として算定する。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第45条 学年の途中で卒業する者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納入するものとする。ただし、この場合の授業料等の額は、第44条但書に準ずるものとする。

(納入した授業料等)

第46条 納入した入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として返還しない。

(科目等履修生の入学検定料及び授業料等)

第47条 科目等履修生の入学検定料及び授業料等については、別に定める。

## 第9章 教職員組織

(職員組織)

第48条 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

2 本学に、副学長、学長補佐を置くことができる。

## 第10章 教授会、大学協議会及び委員会

(教授会)

第49条 本学の学部に、それぞれ教授会を置く。

2 教授会は、教授、准教授、専任講師及び助教をもって構成する。

3 教授会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 教授会は、前項が規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 第3項第3号については、学長裁定により別に定める。



6 本条に定めるもののほか、教授会に関して必要な事項は、別に定める。

(大学協議会)

第50条 本学に、大学協議会を置く。

2 大学協議会は、学長、副学長、学長補佐、大学院研究科長、学部長、学長の指名する委員長、大学事務局長、大学事務局次長、部長及び学長の指名する職員をもって構成する。

3 大学協議会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議する。

(1) 学則その他学内諸規程の制定及び改廃に関する事項

(2) 教育・研究計画に関する事項

(3) 教員人事の基準に関する事項

(4) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項

(5) 全学的及び学部間の連絡調整に関する事項

(6) その他、教育研究に関し学長が意見を求める事項

4 本条に定めるもののほか、大学協議会に関して必要な事項は、別に定める。

(委員会)

第50条の2 本学に委員会を置く。

2 委員会に関することは、別に定める。

## 第11章 研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第51条 本学において特定の事項について研究をすることを志願する者があるときは、選考の上、研究生として学長が入学を許可することがある。

2 その他、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第52条 本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、科目等履修生として学長が履修を許可することがある。

2 科目等履修生には第25条、第26条及び第27条に基づき、本学の正規の単位及び評価を与える。

3 その他、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第53条 本学において特定の授業科目を受講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、聴講生として学長が受講を許可することがある。

2 聴講生は、当該科目を受講した場合も単位を取得することはできない。

3 その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第54条 外国人で大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者は、選考の上、外国人留学生として学長が入学を許可することがある。

2 その他、外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

## 第12章 賞 罰

(表彰)

第55条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。

(罰則)

第56条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

- (3) 正当な理由なくして出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

### 第13章 学生寮

(学生寮)

第57条 本学に学生寮を置く。

- 2 学生寮に関して必要な事項は、別に定める。

### 第14章 公開講座

(公開講座)

第58条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

- 2 その他、公開講座について必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定による経営学部経営学科の収容定員は、平成12年度から平成14年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
			収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		1,000人	1,100人	1,200人

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定による人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成13年度から平成15年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
			収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		200人	400人	600人
	英語コミュニケーション学科		100人	200人	300人

- 3 第4条の規定による短期大学部は、平成13年3月31日に短期大学部に在学する者が短期大学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部経営学科及び総合ビジネス学科の収容定員は、平成 16 年度から平成 19 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		850人	550人	200人	0人
	総合ビジネス学科		150人	300人	500人	700人

附 則

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部総合ビジネス学科、人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成 17 年度から平成 20 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	総合ビジネス学科		300人	480人	660人	660人
	(うち 3 年次編入学)		0人	30人	60人	60人
人間学部	人間行動学科		800人	800人	800人	800人
	英語コミュニケーション学科		350人	300人	250人	200人

- 3 平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科は、改正後の関西国際大学学則の規定にかかわらず平成 16 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者（以下この項に置いて「在学者」という。）及び平成 16 年 4 月 1 日 以後において在学者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

- 4 前 2 項に定めるもののほか、平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科の編入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度
			3 年次編入学定員 30人	3 年次編入学定員 0人
経営学部	経営学科			

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科の収容定員は、平成 18 年度から平成 21 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		600人	400人	200人	0人
	人間心理学科		100人	200人	300人	400人
	教育福祉学科		100人	200人	300人	400人

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間科学部ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科、人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科、経営学部総合ビジネス学科の収容定員は、平成 19 年度から平成 22 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	ビジネス行動学科		150人	300人	450人	600人
	人間心理学科		115人	230人	345人	460人
教育学部	教育福祉学科		100人	200人	300人	400人
	英語教育学科		50人	100人	150人	200人
人間学部	人間行動学科		400人	200人	0人	0人
	人間心理学科		100人	100人	100人	0人
	教育福祉学科		100人	100人	100人	0人
	英語コミュニケーション学科		200人	100人	50人	0人
経営学部	総合ビジネス学科		510人	330人	150人	0人

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 35 条及び第 36 条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間学部及び経営学部の各学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては改正（平成 19 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 35 条については、平成 19 年度以降の入学生に対し適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 35 条及び第 36 条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間科学部ビジネス行動学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成 23 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。
- 3 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科の収容定員は、平成 23 年度から平成 26 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
人間科学部	経営学科	150人	300人	450人	600人
	ビジネス行動学科	450人	300人	150人	0人
	人間心理学科	460人	460人	460人	460人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	200人	200人	200人	200人

附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本学における平成 24 年度から平成 27 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人間科学部	経営学科	250人	370人	490人	440人
	ビジネス行動学科	300人	150人	0人	0人
	人間心理学科	470人	480人	490人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	200人	200人	200人	200人

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 9 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 19 条及び第 22 条については、この学則の施行日において本学に在籍する学生に対し適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 人間科学部経営学科及び教育学部英語教育学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成 31 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。
- 3 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語教育学科保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の、平成 31 年度から平成 34 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科	340人	240人	120人	0人
	人間心理学科	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	150人	100人	50人	0人
保健医療学部	看護学科	320人	320人	320人	320人
経営学部	経営学科	100人	200人	320人	440人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50人	100人	150人	200人

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語教育学科保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科、現代社会学部総合社会学科、観光学科、都市交流学科の、令和 2 年度から令和 5 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科	240人	120人	0人	0人
	人間心理学科	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	100人	50人	0人	0人
保健医療学部	看護学科	340人	360人	380人	400人
経営学部	経営学科	200人	320人	440人	440人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	100人	150人	200人	200人
現代社会学部	総合社会学科	340人	340人	340人	340人
	観光学科	480人	480人	480人	480人
	都市交流学科	0人	0人	0人	0人

3 別表第 3 の規定に関わらず、令和元年度以前に神戸山手大学現代社会学部に入学した学生の学納金については、次のとおりとする。

学部・学科		授業料	教育充実費
現代社会学部	総合社会学科	780,000円	300,000円
	観光学科	780,000円	300,000円
	都市交流学科	780,000円	300,000円

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基礎 科目	基礎 科目	経営学概論	4		} 20単位	
		経済学概論	4			
		マーケティング	4			
ファイナンス		4				
ビジネス統計学		4				
基 幹 科 目	基 幹 科 目	地域経営概論		2	} 選択必修8単位以上	
		公共サービス論		2		
		コミュニティビジネス		2		
		地域マネジメント		4		
		セーフティマネジメント論		2		
		危機管理入門		2		
		企業危機管理論		2		
		防災・復興組織論		2		
		ホスピタリティマネジメント		4		
		観光産業論		2		
		アジア文化論		2		
		専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	インバウンドツーリズム産業論		
サービス企画論				2		
ビジネスプロモーション				2		
ビジネスコミュニケーション技法				2		
コンプライアンス				2		
顧客満足論				2		
発想法				2		
観光実務論				2		
観光産業特論				2		
観光実務特論				2		
インバウンド商品企画演習				2		
実用英語A				2		
実用英語B				2		
ホテルマネジメント				2		
ビューティビジネス論				2		
ビューティ技術論				2		
ビューティ・コーディネーター論				2		
コスメティック論				2		
ブライダル産業論				2		
セレモニー産業論				2		
セレモニー産業特論				2		
地域マネジメント特論				2		
環境保全論				2		
公共サービス特論				2		
危機管理・防災演習				2		
危機管理リーダーシップ論				2		
コミュニティ防災				2		
国際防災協力				2		
安全安心社会特論				2		
フードセキュリティ				2		
マーケティングリサーチ				2		
インターネットマーケティング				2		
国際経済論				2		
アジアマーケティング論				2		
経営戦略論				2		
商業簿記				2		
経営組織論		2				
財務会計論		2				
国際経営論		2				
原価会計		2				
経営分析		2				
広告論		2				
産業心理学		2				
インターンシップ I		2				
インターンシップ II		4				



別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	総合 演習 科目	業界研究		2	} 20単位		
		プロジェクトマネジメント演習Ⅰ		2			
		プロジェクトマネジメント演習Ⅱ		2			
		プロジェクトマネジメント演習Ⅲ		4			
		プロジェクトマネジメント演習Ⅳ		4			
		マネジメント専門演習		2			
		卒業研究		4			
基盤 教育 科目	ベ ー シ ッ ク ス K U I S	評価と実践Ⅰ	1		} 必修8単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ		2			
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第 1 外 国 語	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語から5単位 以上)	
			総合英語Ⅰ		2		
			総合英語Ⅱ		2		
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
			オーラルイングリッシュⅢ		1		
			インテンシブイングリッシュⅠ		1		
			インテンシブイングリッシュⅡ		1		
			英語Ⅰ		4		
		英語Ⅱ		4			
		英語Ⅲ		4			
		英語Ⅳ		4			
		第 2 外 国 語	中国語Ⅰ		2		
			中国語Ⅱ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅰ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅱ		2		
			マレー語		1		
			インドネシア語		1		
留 学 生 対 象	日本語Ⅰ		2	} 選択必修 10単位以上  } 日本語能力試験N1の 合格者は10単位中2単 位を認定、8単位履修			
	日本語Ⅱ		2				
	日本語Ⅲ		2				
	日本語Ⅳ		2				
	日本語Ⅴ		2				
	アカデミック日本語Ⅰ		1				
	アカデミック日本語Ⅱ		1				
	日本語ライティングⅠ		1				
	日本語ライティングⅡ		1				
	ビジネス日本語Ⅰ		1				
	ビジネス日本語Ⅱ		1				
	専門日本語Ⅰ		1				
	専門日本語Ⅱ		1				
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み 2単位以上			
	ICT活用A		2				
	ICT活用B		2				
	ICT活用C		2				
ポ ー ツ 健 康 と ス	生涯スポーツⅠ		1				
	生涯スポーツⅡ		1				

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考		
		必修	選択				
基盤教育科目	人間の理解	人間学Ⅰ	2		必修科目含み 4単位以上		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活		2			
		人権と法		2			
	社会と生活	近現代の歴史			2	選択必修 2単位以上	
		日本国憲法			2		
		国際社会と政治			2		
		社会階層と文化			2		
	科学と生活	環境と生活			2	選択必修 2単位以上	
		データサイエンス			2		
		生命と倫理			2		
		情報と社会			2		
	グローバル スタディ	グローバルスタディⅠ			1		※
		グローバルスタディⅡ			2		※
		グローバルスタディⅢ			3		※
		地域研究(北米圏)			2		
		地域研究(アジア圏)			2		
		日本事情			2		
		日本文化論			2		
	コミュニ ティ スタ ディ	サービスラーニングA			1		※
		サービスラーニングB			2		※
地域防災減災論				2			
災害と安全				2			
ボランティア論				2			
特別 研究	特別研究Ⅰ			1			
	特別研究Ⅱ			2			
	特別研究Ⅲ			3			
	特別研究Ⅳ			4			
課題 研究	課題研究Ⅰ			4			
	課題研究Ⅱ			8			
	課題研究Ⅲ			12			
	課題研究Ⅳ			16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、  
126 単位以上を修得しなければならない。

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基 礎 科	心理学入門	4		} 10単位		
	心理学概論	4				
統計学Ⅰ	2					
専 門 教 育 科 目	心理学研究法	4		} 20単位以上		
	心理学実験		4			
	臨床心理学概論		4			
	司法・犯罪心理学		4			
	スポーツ心理学		4			
	社会学概論		2			
	教育学概論		2			
	犯罪学概論		2			
	社会福祉概論		2			
	健康・医療心理学		2			
	教育・学校心理学		2			
	発達心理学		2			
	学習・言語心理学		2			
	知覚・認知心理学		2			
	社会・集団・家族心理学		2			
	精神疾患とその治療		2			
	社会調査論Ⅰ		2			
	社会調査論Ⅱ		2			
	心理学統計法		2			
	コミュニケーション演習		2			
産業・組織心理学		4				
公認心理師の職責		2				
障害者(児)心理学		2				
展 開 科 目	環境心理学		2	} 46単位以上		
	神経・生理心理学		2			
	災害心理学		2			
	心理演習		4			
	心理学的支援法		4			
	感情・人格心理学		2			
	心理的アセスメント		4			
	教育相談		2			
	福祉心理学		2			
	人体の構造と機能及び疾病		2			
	関係行政論		2			
	心理実習		3			
	犯罪関連法論		4			
	捜査心理学		2			
	犯罪・災害報道論		2			
	スポーツ社会学		2			
	スポーツ科学		4			
生涯スポーツ論		2				

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	メンタルトレーニング		2		
		応用犯罪心理学		2		
		顧客満足論		2		
		スポーツコーチング論		2		
		スポーツコーチング実習		1		
		現代社会論		2		
		現代家族論		2		
		教育社会学		2		
		統計学Ⅱ		2		
		データ解析		2		
		質的調査法		2		
		社会調査演習		4		
		外書講読		2		
		近代社会論		2		
		法律学概論		2		
		日本文化史		2		
		日本史概説		2		
		外国史概説		2		
		地理学		2		
		人文地理		2		
		経済学		2		
		国際経済論		2		
		マーケティング		4		
		障害者教育総論		2		
		障害児教育論		2		
		障害児教育課程論		2		
		知的障害教育総論		2		
		知的障害者の自立活動の理論と実際		2		
		知的障害者の心理		2		
		知的障害者の生理・病理		2		
		知的障害教育Ⅰ		2		
		知的障害教育Ⅱ		2		
		知的障害者の言語障害指導		2		
		知的障害児における情報機器等の活用と指導		2		
重複障害・LD等教育総論		2				
教育実習(特別支援学校)		3				
国際防災協力		2				
セーフティマネジメント論		2				
防災教育		2				
コミュニティ防災		2				
復興論		2				
ファシリテーション演習		2				

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専門 教育 科目	総合 演習	専門演習Ⅰ	2		} 必修12単位	※ ※ ※
		専門演習Ⅱ	2			
		専門演習Ⅲ	2			
		専門演習Ⅳ	2			
		卒業研究	4			
		インターンシップⅠ		1		
		インターンシップⅡ		2		
		インターンシップⅢ		4		
基盤 教育 科目	ベ ー シ ッ ク ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修10単位	
		評価と実践Ⅱ	1			
		リーダーシップ演習		1		
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2			
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2			
		初年次セミナー	1			
		基礎演習	1			
		学習技術	1			
		リサーチ入門	1			
	第1 外 国 語	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語から 5単位以上) (留学生は選択科目)	
		総合英語Ⅰ		2		
		総合英語Ⅱ		2		
		オーラルイングリッシュⅠ		1		
		オーラルイングリッシュⅡ		1		
		オーラルイングリッシュⅢ		1		
		インテンシブイングリッシュⅠ		1		
		インテンシブイングリッシュⅡ		1		
		英語Ⅰ		4		
		英語Ⅱ		4		
		英語Ⅲ		4		
		英語Ⅳ		4		
	第2 外 国 語	中国語Ⅰ		2		
		中国語Ⅱ		2		
		韓国・朝鮮語Ⅰ		2		
		韓国・朝鮮語Ⅱ		2		
		マレー語		1		
		インドネシア語		1		
	留 学 生 対 象	日本語Ⅰ		2	} 選択必修10単位以 上  日本語能力試験N1 の合格者は10単位 中2単位を認定、8 単位履修	
		日本語Ⅱ		2		
		日本語Ⅲ		2		
		日本語Ⅳ		2		
		日本語Ⅴ		2		
		アカデミック日本語Ⅰ		1		
		アカデミック日本語Ⅱ		1		
		日本語ライティングⅠ		1		
		日本語ライティングⅡ		1		
		ビジネス日本語Ⅰ		1		
		ビジネス日本語Ⅱ		1		
		専門日本語Ⅰ		1		
専門日本語Ⅱ			1			
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み 2単位以上		
	ICT活用A		2			
	ICT活用B		2			
	ICT活用C		2			
健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1			
	生涯スポーツⅡ		1			

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間学Ⅰ	2		} 必修科目含み 6単位以上		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活 教育と人間形成		2			
		比較宗教論		2			
			人権と法		2		
		社会と生活	近現代の歴史		2	} 選択必修 2単位以上	
			社会階層と文化		2		
			国際社会と政治		2		
			日本国憲法		2		
		科学と生活	データサイエンス		2	} 選択必修 2単位以上	
	環境と生活		2				
	生命と倫理		2				
	情報と社会		2				
	食と健康		2				
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1		※	
		グローバルスタディⅡ		2		※	
		グローバルスタディⅢ		3		※	
		地域研究(北米圏)		2			
		地域研究(アジア圏)		2			
		日本事情		2			
		日本文化論		2			
	コミュニティ	サービスラーニングA		1		※	
		サービスラーニングB		2		※	
		ボランティア論		2			
		災害と安全		2			
		地域防災減災論		2			
	特別研究	特別研究Ⅰ		1			
		特別研究Ⅱ		2			
		特別研究Ⅲ		3			
		特別研究Ⅳ		4			
	課題研究	課題研究Ⅰ		4			
		課題研究Ⅱ		8			
		課題研究Ⅲ		12			
		課題研究Ⅳ		16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオーナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	基 礎 科 目	教育学概論	2		} 6単位	
		心理学概論 I	2			
		社会学概論	2			
	基 幹 科 目	統計学 I		2	} 20単位以上	
		臨床心理学 I		2		
		発達心理学		2		
		教育心理学		2		
		公教育論		2		
		児童家庭福祉		2		
		教育相談		2		
		社会福祉概論 I		2		
		社会福祉概論 II		2		
		障害者福祉論		2		
		老人福祉論		4		
		社会保障論		4		
		社会福祉援助技術論 I		4		
		保育原理		2		
		社会的養護		2		
		保育内容総論		1		
		保育内容・健康		1		
		保育内容・人間関係		1		
		保育内容・環境		1		
		保育内容・言葉		1		
		保育内容・表現 I		1		
		保育内容・表現 II		1		
		幼児教育方法論		2		
		保育者論		2		
		初等国語科教育法		2		
		初等社会科教育法		2		
		初等算数科教育法		2		
		初等理科教育法		2		
		初等生活科教育法		2		
		初等音楽科教育法		2		
初等図画工作科教育法		2				
初等家庭科教育法		2				
初等体育科教育法		2				
幼児理解		2				
生徒・進路指導論		2				
教職概論		2				
教職特論		2				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	精神保健学		2		
		医学一般		2		
		こども発達学		2		
		教育社会学		2		
		子どもの保健Ⅰ		2		
		子どもの保健Ⅱ		1		
		社会福祉基礎		2		
		地域福祉論		2		
		公的扶助論		2		
		介護概論		2		
		社会調査論Ⅰ		2		
		社会福祉援助技術論Ⅱ		4		
		社会福祉援助技術論Ⅲ		4		
		相談援助		1		
		相談援助演習Ⅰ		2		
		相談援助演習Ⅱ		2		
		相談援助演習Ⅲ		2		
		相談援助実習指導Ⅰ		2		
		相談援助実習指導Ⅱ		2		
		相談援助実習指導Ⅲ		2		
		社会福祉援助技術現場実習		4		
		福祉行財政と福祉計画		2		
		福祉サービスの組織と経営		2		
		保健医療サービス		2		
		就労支援サービス		2		
		更生保護制度		2		
		権利擁護と成年後見制度		2		
		子どもの食と栄養		2		
		家庭支援論		2		
		乳児保育Ⅰ		2		
		乳児保育Ⅱ		1		
		障害児保育Ⅰ		1		
		障害児保育Ⅱ		1		
		社会的養護内容		1		
		体育指導Ⅰ		1		
		体育指導Ⅱ		1		
		造形Ⅰ		1		
		造形Ⅱ		1		
		音楽Ⅰ・器楽		1		
		音楽Ⅱ・器楽		1		
音楽Ⅲ・伴奏法		1				
音楽Ⅳ・器楽		1				
音楽Ⅴ・声楽及び理論		1				
音楽Ⅵ・器楽及び指導法		1				
音楽Ⅶ・器楽		1				
音楽Ⅷ・器楽		1				
言語表現技術		1				



別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 展 開 教 育 科 目	保育実習Ⅰ事前事後指導①		1	48単位以上	
	保育実習Ⅰ事前事後指導②		1		
	保育実習Ⅱ事前事後指導		1		
	保育実習Ⅲ事前事後指導		1		
	保育実習Ⅰ(保育所)		2		
	保育実習Ⅰ(施設)		2		
	保育実習Ⅱ		2		
	保育実習Ⅲ		2		
	幼児指導法		2		
	保育実践観察法		1		
	子どもの家庭支援の心理学		2		
	保育心理学演習		1		
	初等学校経営論		2		
	教育制度論		2		
	初等教育方法論		2		
	初等教育課程論		2		
	道徳教育の指導法		2		
	初等英語教育研究		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	インターンシップⅢ		2		
	特別活動の指導法		2		
	ボランティア実習		2		
	保育課程論		2		
	初等情報機器活用論		2		
	図画工作Ⅰ		1		
	図画工作Ⅱ		1		
	体育講義		2		
	国語Ⅰ		2		
	国語Ⅱ		2		
	社会Ⅰ		2		
	社会Ⅱ		2		
	算数Ⅰ		2		
	算数Ⅱ		2		
	理科Ⅰ		2		
	理科Ⅱ		2		
生活		2			
家庭		2			
幼稚園教育実習Ⅰ		2			
幼稚園教育実習Ⅱ		2			
幼稚園教育実習事前事後指導		1			
小学校教育実習Ⅰ		2			
小学校教育実習Ⅱ		2			
教育実習事前事後指導		1			

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	教職実践演習(幼)		2	
		教職実践演習(小)		2	
		福祉科教育法Ⅰ		2	
		福祉科教育法Ⅱ		2	
		障害者教育総論		2	
		知的障害者の言語障害指導		2	
		知的障害者の自立活動の理論と実際		2	
		知的障害児における情報機器等の活用と指導		2	
		知的障害教育総論		2	
		障害児教育論		2	
		教育実習(特別支援学校)		3	
		知的障害者の心理・生理・病理		2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
		病弱者の心理・生理・病理		2	
		知的障害教育		2	
		肢体不自由教育		2	
		病弱教育		2	
		肢体不自由教育総論		2	
		病弱教育総論		2	
		重複障害教育総論		2	
		LD等教育総論		2	
		聴覚障害・視覚障害教育総論		2	
		スクールソーシャルワーク論		2	
		スクールソーシャルワーク演習		1	
		スクールソーシャルワーク実習指導		1	
		スクールソーシャルワーク実習		2	
		英語発音クリニック		2	
		児童英語		2	
		板書技術		2	
		防災教育		2	
		特別支援教育総論		2	
		総合的な学習の時間の指導法		1	
		外国語		2	
外国語の指導法		2			
総 合 演 習	専門演習Ⅰ	2	}	必修12単位	
	専門演習Ⅱ	2			
	専門演習Ⅲ	2			
	専門演習Ⅳ	2			
	卒業研究	4			

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基盤教育科目	ベーシックスキ K U I S	評価と実践Ⅰ	1	1	必修10単位	
		評価と実践Ⅱ	1			
		リーダーシップ演習				
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2			
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2			
		初年次セミナー	1			
		基礎演習	1			
		学習技術	1			
		リサーチ入門	1			
	第1外国語	基礎英語		2	選択必修 7単位以上 (第1外国語から 5単位以上) (留学生は選択科目)	
		総合英語Ⅰ		2		
		総合英語Ⅱ		2		
		オーラルイングリッシュⅠ		1		
		オーラルイングリッシュⅡ		1		
オーラルイングリッシュⅢ			1			
インテンシブイングリッシュⅠ			1			
インテンシブイングリッシュⅡ			1			
英語Ⅰ			4			
英語Ⅱ			4			
第2外国語	中国語Ⅰ		2			
	中国語Ⅱ		2			
	韓国・朝鮮語Ⅰ		2			
	韓国・朝鮮語Ⅱ		2			
	マレー語		1			
インドネシア語		1				
留學生対象	日本語Ⅰ		2	選択必修 10単位以上  日本語能力試験 N1の合格者は10 単位中2単位を認 定、8単位履修		
	日本語Ⅱ		2			
	日本語Ⅲ		2			
	日本語Ⅳ		2			
	日本語Ⅴ		2			
	アカデミック日本語Ⅰ		1			
	アカデミック日本語Ⅱ		1			
	日本語ライティングⅠ		1			
	日本語ライティングⅡ		1			
	ビジネス日本語Ⅰ		1			
	ビジネス日本語Ⅱ		1			
	専門日本語Ⅰ		1			
	専門日本語Ⅱ		1			
情報	ICTリテラシー	2		必修科目含 み2単位以上		
	ICT活用A		2			
	ICT活用B		2			
	ICT活用C		2			
健康とスポーツ	生涯スポーツⅠ		1			
	生涯スポーツⅡ		1			

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考		
			必修	選択				
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理と社会生活 教育と人間形成 比較宗教論 人権と法	2 2	2 2 2 2	} 必修科目含み 6単位以上		
		社会と生活	近現代の歴史 社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法		2 2 2 2		} 選択必修 2単位以上	
		科学と生活	データサイエンス 環境と生活 生命と倫理 情報と社会 食と健康		2 2 2 2 2			} 選択必修 2単位以上
		グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅡ グローバルスタディⅢ 地域研究(北米圏) 地域研究(アジア圏) 日本事情 日本文化論		1 2 3 2 2 2 2		} 選択必修 1単位以上	
		コミュニティスタディ	サービスラーニングA サービスラーニングB ボランティア論 災害と安全 地域防災減災論		1 2 2 2 2			} 選択必修 1単位以上 (専門科目の該当科目を含む)
		特別研究	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ		1 2 3 4			
		課題研究	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ		4 8 12 16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	基礎 科 目	英語基礎1		2	必修16単位 選択必修4単位以上
		リーディング1		2	
		ライティング1		2	
		オーラル・コミュニケーション1		2	
		英語基礎2		2	
		リーディング2		2	
		ライティング2		2	
		オーラル・コミュニケーション2		2	
		英語総合1	2		
		リーディング総合1	2		
		ライティング総合1	2		
		アドバンスト・コミュニケーション1	2		
		英語総合2	2		
		リーディング総合2	2		
		ライティング総合2	2		
		アドバンスト・コミュニケーション2	2		
		アカデミック英語		2	
	グローバル事情		2		
	総合英語Ⅰ		2		
	総合英語Ⅱ		2		
	総合英語Ⅲ		2		
	総合英語Ⅳ		2		
	インテンシブイングリッシュⅠ		1		
	インテンシブイングリッシュⅡ		1		
	インテンシブイングリッシュⅢ		1		
	基 幹 科 目	異文化理解	2		必修6単位 選択必修4単位以上
		経済学基礎	2		
		国際関係	2		
		アジア研究		2	
		日本研究		2	
		言語と文化		2	
		文化人類学		2	
		経営学概論		4	
展 開 科 目	課題研究(グローバルリサーチ)	16		GS科目	
	日本のポップカルチャー		2		
	日本文学		2		
	経済学概論		4		
	マーケティング		4		
	ファイナンス		4		
	実践ビジネス英語Ⅰ		2		
	実践ビジネス英語Ⅱ		2		
	ビジネスプレゼンテーション		2		
	ホスピタリティマネジメント		4		
	ビジネスマナー		2		
	航空実務		4		
ホテル実務		4			
ツーリズム事情Ⅰ		2			
ツーリズム事情Ⅱ		2			

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数			備 考							
		必修	選択											
専 門 教 育 科 目	ツアーガイド実務		4	基礎・基幹・展開科目から 32単位以上	}	}	CS科目							
	通訳入門		2											
	サービスラーニングⅠ		2											
	サービスラーニングⅡ		2											
	インターンシップⅠ		1											
	インターンシップⅡ		2											
	インターンシップⅢ		4											
	言語学概論		2				}	}	}	}				
	日本語の構造Ⅰ		2											
	日本語の構造Ⅱ		2											
	日本語教育事情		2											
	日本語コミュニケーション		2											
	日本語教授法		2											
	日本語教育の実践と評価		2											
	英語音声学		2											
	英語学Ⅰ		2								}	}	}	}
	英語学Ⅱ		2											
	英米文学概論		2											
	英語科教育法Ⅰ		2											
	英語科教育法Ⅱ		2											
	英語科教育法Ⅲ		2											
	英語科教育法Ⅳ		2											
	教育学概論		2											
	教職概論		2											
	教育社会学		2											
	学校経営論		2											
	教育制度論		2											
	教育心理学		2											
	発達心理学		2											
	特別支援教育基礎		1				}	}	}	}				
	教育課程論		2											
	道徳教育の指導法		2											
総合的な学習の時間の指導法		1												
特別活動の指導法		2												
教育方法論		2												
教育相談		2												
生徒・進路指導論		2												
教育実習Ⅰ		5												
教育実習Ⅱ		3												
教職実践演習(中・高)		2												

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目の区分等		授業科目	単位数		卒業要件単位数	備考			
			必修	選択					
専門教育科目	展開科目	ボランティア実習		2	}	自由科目			
		英文法研究		2					
		英語発音クリニック		2					
		児童英語		2					
		社会学概論		2					
		国際経済論		2					
		アジアマーケティング論		2					
		ビジネス統計学		4					
		国際通商法		2					
		国際経営論		2					
		インバウンドツーリズム産業論		2					
	総合演習	専門演習Ⅰ	2		} 必修10単位				
		専門演習Ⅱ	2						
専門演習Ⅲ		2							
卒業研究		4							
基盤教育科目	ベークシックス	評価と実践Ⅰ	1	} 必修8単位					
		評価と実践Ⅱ	1						
		リーダーシップ演習				1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2						
		仕事とキャリア形成Ⅱ				2			
		初年次セミナー	1						
		基礎演習	1						
		学習技術	1						
		リサーチ入門	1						
	第2外国語	中国語Ⅰ		2					
		中国語Ⅱ		2					
		韓国・朝鮮語Ⅰ		2					
		韓国・朝鮮語Ⅱ		2					
		マレー語		1					
		インドネシア語		1					
		留学生対象	日本語Ⅰ				2	} 選択必修 10単位以上  日本語能力試験 N1の合格者は 10単位中2単位を	
			日本語Ⅱ				2		
			日本語Ⅲ				2		
			日本語Ⅳ				2		
日本語Ⅴ			2						
アカデミック日本語Ⅰ			1						
アカデミック日本語Ⅱ			1						
日本語ライティングⅠ			1						
日本語ライティングⅡ			1						
ビジネス日本語Ⅰ			1						
情報	ビジネス日本語Ⅱ		1	}					
	専門日本語Ⅰ		1						
	専門日本語Ⅱ		1						
健康とスポーツ	ICTリテラシー		2						
	ICT活用A		2						
	生涯スポーツⅠ		1						
	生涯スポーツⅡ		1						

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
基盤教育科目 リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理と社会生活 教育と人間形成 比較宗教論 人権と法	2 2  2 2 2	2  2 2 2	必修4単位	
	社会と生活	近現代の歴史 社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法	  2 2 2	2 2 2 2	選択必修2単位以上	各領域から 2単位以上 (※1)
	科学と生活	データサイエンス 環境と生活 生命と倫理 情報と社会 食と健康	 2 2 2 2	2 2 2 2 2	選択必修2単位以上	
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅡ グローバルスタディⅢ 地域研究(北米圏) 地域研究(アジア圏) 日本事情 日本文化論	 1 2 3 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2	選択必修1単位以上	
	コミュニティスタディ	地域防災減災論 災害と安全 ボランティア論	 2 2 2	2 2 2	0単位(※2)	
	特別研究	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ	 1 2 3 4	1 2 3 4		
	課題研究	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ	 4 8 12 16	4 8 12 16		

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

(※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。

(※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスマーケティングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。



別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考			
			必修	選択					
専門教育科目	専門基礎科目	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	2		}				
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	2						
		生化学	1						
		薬理学	1						
		臨床栄養学	1						
		免疫学	1						
		病態学	1						
		疾病・治療論Ⅰ(内科系)	1						
		疾病・治療論Ⅱ(外科系)	1						
		疾病・治療論Ⅲ(精神/老年)	1						
		疾病・治療論Ⅳ(母性/小児)	1						
		多専門職連携医療論	1						
		遺伝学		1			}	}	}
		生物学基礎		1					
	化学基礎		1						
	心理学基礎		1						
	人間と環境	家族社会学		1	}				
		環境保健学	1						
		疫学	2						
		保健統計学	2						
		保健医療福祉行政論		1					
	専門科目	基盤看護学	基礎看護学概論	2		}			
			基礎看護学方法論	2					
			基礎看護技術Ⅰ(生活援助)	1					
			基礎看護技術Ⅱ(治療援助)	1					
			基礎看護技術Ⅲ(看護過程)	1					
			セイフティマネジメント	1					
			看護マネジメント	1					
			基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1					
			基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程)	2					
療養支援看護学		成人健康看護学概論	2		}			}	}
		急性・重症看護援助論	2						
		慢性看護援助論	2						
		がん看護援助論(含む終末期)	1						
		急性・慢性看護技術演習	1						
		急性看護学実習	3						
		慢性看護学実習	3						
精神健康看護学概論	2								
精神看護援助論	2								
精神看護学実習	2								

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	家族支援看護学	小児健康看護学概論	2		選択科目 6 単位以上	
		小児看護援助論	2			
		小児看護学実習	2			
		母性健康看護学概論	2			
		母性看護援助論	2			
		母性看護学実習	2			
		基礎助産学		2		
		助産診断技術学Ⅰ		2		
		助産診断技術学Ⅱ		4		
		助産管理		1		
		助産学実習		7		
		生活支援看護学	老年健康看護学概論	2		
	老年看護援助論		2			
	老年看護学実習		3			
	在宅看護学概論		2			
	在宅看護援助論		2			
	在宅看護学実習		1			
	公衆衛生看護学概論		2			
	個人・家族・集団・組織の支援活動論			2		
	公衆衛生看護活動展開演習			3		
	公衆衛生看護管理論			2		
	公衆衛生看護学実習			4		
	総合看護		代替療法看護論		1	
		災害看護論		1		
		国際看護論	1			
		看護研究方法	2			
		実践看護学特演		3		
		統合看護実習	4			
		卒業研究	4			

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	ベ ー K シ ュ ー ク ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修科目含み 4単位以上		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		初年次セミナー 学習技術	1 1				
		リサーチ入門		1			
	コ モ ン ペ ー シ ュ ク ス	第 1 外 国 語	基礎英語	2		} 必修科目含み 6単位以上	
			総合英語Ⅰ	2			
			総合英語Ⅱ	2			
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
			オーラルイングリッシュⅢ		1		
			インテンシブイングリッシュⅠ		1		
			インテンシブイングリッシュⅡ		1		
		第 2 外 国 語	中国語Ⅰ		2		
			中国語Ⅱ		2		
	韓国・朝鮮語Ⅰ			2			
	韓国・朝鮮語Ⅱ			2			
	情 報	ICTリテラシー		2			
		ICT活用A		2			
		ICT活用B		2			
ICT活用C			2				
ポ ー ツ	健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1			
		生涯スポーツⅡ		1			
リ ベ ラ ル ア ー ツ	人 間 の 理 解	人間学Ⅰ	2		} 必修科目含 み 4単位以上		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活 教育と人間形成		2 2			
		比較宗教論		2			
		人権と法		2			
	社 会 と 生 活	近現代の歴史		2	} 2単位以上		
		社会階層と文化		2			
		国際社会と政治		2			
		日本国憲法		2			
	科 学 と 生 活	環境と生活		2	} 2単位以上		
		生命と倫理		2			
		情報と社会		2			
		食と健康		2			
グ ロ ー バ ル ス タ デ ィ バ ル ス	グローバルスタディⅠ		1				
	グローバルスタディⅡ		2				
	グローバルスタディⅢ		3				
	地域研究(北米圏)		2				
	地域研究(アジア圏)		2				
日本文化論		2					
テ コ ミ ニ タ リ	ボランティア論		1				
	災害と安全		2				
	地域防災減災論		2				

ただし、専門教育科目102単位以上、基盤教育科目18単位以上を修得し、その他6単位の計126 単位以上を修得しなければならない。

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
		必修	選択		
学部共通	現代社会概論	2			
専門科目	社会学入門		2	} 4単位選択必修	
	心理学入門		2		
	経済・経営学入門		2		
	建築・インテリア入門		2		
	陸上環境論		2		
	海洋環境論		2		
	環境倫理学		2		
	欧米文化論		2		
	アジア文化論		2		
	特殊講義(1)		2		
	特殊講義(2)		2		
	特殊講義(3)		2		
	特殊講義(4)		2		
	特殊講義(5)		2		
	特殊講義(6)		2		
	特殊講義(7)		2		
	特殊講義(8)		2		
	特殊講義(9)		2		
	特殊講義(10)		2		
	海外留学		16	英語圏・中国語圏・国際理解	
総合社会学特別演習A		1	} 集中		
総合社会学特別演習B		1			
総合社会学特別演習C		1			
総合社会学特別演習D		1			
総合社会学特別演習E		1			
総合社会学特別演習F		1			
総合社会学特別演習G		1			
総合社会学特別演習H		1			

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
			必修	選択		
専門科目	両学科開講科目	地域創造論		2		
		ヘリテージツーリズム論		2		
		世界遺産論		2		
		日本地域研究		2		
		日本歴史文化論		2		
		東アジア地域研究		2		
		東南アジア地域研究		2		
		南・西アジア地域研究		2		
		北米地域研究		2		
		中南米地域研究		2		
		ヨーロッパ地域研究		2		
	オセアニア地域研究		2			
	アフリカ地域研究		2			
	社会学応用	教育社会学		2		
		消費生活論		2		
		ジェンダーと世代		2		
		家族論		2		
		福祉社会学		2		
		労働社会学		2		
		社会関係論		2		
	社会学・メディア・フィールド	まちづくり論		2		
		現代都市論		2		
		コミュニティ論		2		
		地域文化論		2		
		神戸文化研究		2		
		神戸学フィールドワーク		2		
		社会的企業論		2		
	情報・メディア・文化	情報社会学		2		
		メディア文化論		2		
		マスコミ論		2		
		メディア・文化演習		2		
		ジャーナリズム論(1)新聞研究		2		
		ジャーナリズム論(2)放送研究		2		
サブカルチャー論			2			
メディア制作演習			2			

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
			必修	選択		
専門科目	社会学・メディアフィールド	市場調査論		2		
		フィールドワーク		2		
		社会調査法(1)		2		
		社会調査法(2)		2		
		社会調査実習(1)		1		
		社会調査実習(2)		1		
	心理学概論・研究法	心理学概論		2		
		心理学研究法		2		
		心理測定法		2		
		心理データ解析法		2		
	心理学実験・実習	心理学基礎実験		1		
		心理学実験実習(1)		1		
		心理学実験実習(2)		1		
		社会心理学実験実習		1		
	心理学フィールド ・臨床・教育・知覚心理学	教育評価		2		
		臨床心理学概論		2		
		認知心理学		2		
		教育心理学		2		
		発達心理学		2		
	人格心理	カウンセリング		2		
		教育相談		2		
		青年心理学		2		
		人格心理学		2		
	社会・産業心理	社会心理学		2		
		環境心理学		2		
		集団心理学		2		
		産業心理学		2		
消費者の心理			2			

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
			必修	選択		
専門科目	産業と政策	現代経済理論		2		
		日本経済とグローバル経済		2		
		中小企業論		2		
		産業政策論		2		
		環境政策論		2		
	企業と経営	経営学総論		2		
		簿記と会計		2		
		地域産業論		2		
		イノベーション論		2		
		ブランド論		2		
		マーケティング論		2		
		経営品質論		2		
	マネジャメント	生活と経済		2		
		生活と法		2		
		ファイナンシャルプランニング(1)		2		
		ファイナンシャルプランニング(2)		2		
	環境と科学技術	環境科学		2		
		科学技術論		2		
		持続可能性経営論		2		
		環境マネジメント論		2		
環境マネジメント演習			2			
企業の社会的責任			2			
建築・インテリアフィールド	建築文化史(1)		2			
	建築文化史(2)		2			
	住居学		2			
	建築生産		2			
	建築計画		2			
	建築・インテリア法規		2			
	地域環境論		2			

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考		
			必修	選択				
専門科目	建築・インテリアフィールド	建築材料		2				
			建築構造	建築一般構造(1)		2		
				建築一般構造(2)		2		
				建築構造力学		2		
		設計製図		設計製図基礎(1)		2		
			設計製図基礎(2)		2			
			設計製図演習(1)		2			
			設計製図演習(2)		2			
	CAD(1)			2				
	CAD(2)			2				
	インテリア	インテリア計画論		2				
		インテリアコーディネート論(1)		2				
		インテリアコーディネート論(2)		2				
	演習	課題研究	4					
専門演習		4						
卒業研究		4						
卒業論文・制作・設計		4						
基礎科目	【第I群】リテラシー	コンピュータ・リテラシーⅠ		2	} 2単位選択必修			
		コンピュータ・リテラシーⅡ		2				
		コンピュータ・リテラシーⅢ(ネットワーク・プレゼンテーション)		2				
		コンピュータ・リテラシーⅣ(データ処理演習)		2				
		リサーチ入門		1				
	表現力	日本語表現(基礎)	2					
		日本語表現(応用)	2					
		日本語コミュニケーション実践		2				
		学習技術	1					



別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考	
			必修	選択			
基礎科目	留学生以外	総合英語Ⅰ	2	}	8単位必修 (留学生以外)		
		総合英語Ⅱ	2				
		総合英語Ⅲ	2				
		総合英語Ⅳ	2				
	留学生	総合日本語Ⅰ	2	}	12単位必修(留学生)		
		総合日本語Ⅱ	2				
		総合日本語Ⅲ	2				
		総合日本語Ⅳ	2				
		総合日本語Ⅴ	2				
		総合日本語Ⅵ	2				
		日本語・日本文化Ⅰ	2	留学生のみ履修(必修)			
		日本語・日本文化Ⅱ	2	留学生のみ履修(必修)			
	第2外国語科目	ドイツ語・ドイツ文化Ⅰ		2	}	第2外国語科目より 4単位選択必修 (留学生以外)	
		ドイツ語・ドイツ文化Ⅱ		2			
		イタリア語・イタリア文化Ⅰ		2			
		イタリア語・イタリア文化Ⅱ		2			
		ハングル・コリア文化Ⅰ		2			
		ハングル・コリア文化Ⅱ		2			
		中国語・中国文化Ⅰ		2			
		中国語・中国文化Ⅱ		2			
スペイン語・スペイン文化Ⅰ			2				
スペイン語・スペイン文化Ⅱ			2				
フランス語・フランス文化Ⅰ			2				
フランス語・フランス文化Ⅱ			2				

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考	
			必修	選択			
基礎科目	【第Ⅱ群】国際コミュニケーション	選択英語A		2			
		選択英語B		2			
		選択英語C		2			
		選択英語D		2			
		選択英語E		2			
		選択英語F		2			
		選択英語G		2			
		選択英語H		2			
		選択英語I		2			
		選択中国語A		2			
		選択中国語B		2			
		選択中国語C		2			
		選択中国語D		2			
		選択中国語E		2			
		選択中国語F		2			
		選択中国語G		2			
		選択中国語H		2			
		選択中国語I		2			
		資格日本語Ⅰ		2		留学生のみ履修可	
		資格日本語Ⅱ		2		留学生のみ履修可	
		上級日本語Ⅰ		2		留学生のみ履修可	
上級日本語Ⅱ		2		留学生のみ履修可			
海外語学研修		4		前・後期集中			
	グローバルスタディ		1				
	グローバルスタディⅡ		2				
	グローバルスタディⅢ		3				

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
			必修	選択		
基礎科目	【第Ⅲ群】総合基礎力 キャリア	基礎演習	4			
		キャリアガイダンスⅠ		2		
		キャリアガイダンスⅡ		2		
		キャリアガイダンスⅢ		2		
		キャリアガイダンスⅣ		2		
		キャリアプランニングⅠ		2		
		キャリアプランニングⅡ		2		
		キャリアプランニングⅢ		2		
		キャリアプランニングⅣ		2		
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2			
		仕事とキャリア形成Ⅱ		2		
		インターンシップ1A		1		
		インターンシップ1B		1		
		インターンシップ1C		1		
		インターンシップ1D		1		
		インターンシップ1E		1		
		インターンシップ1F		1		
		インターンシップ1G		1		
		インターンシップ1H		1		
		インターンシップ2A		2		
		インターンシップ2B		2		
		インターンシップ2C		2		
		インターンシップ2D		2		
		インターンシップ2E		2		
		インターンシップ2F		2		
		インターンシップ2G		2		
		インターンシップ2H		2		
		評価と実践Ⅰ		1		
		評価と実践Ⅱ		1		
		リーダーシップ演習		1		

別表1-6 現代社会学部総合社会学科

授業科目の区分等		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
			必修	選択		
基礎科目	【第IV群】教養科目	人間学Ⅰ	2			
		人間学Ⅱ	2			
		地域防災減災論		2		
		哲学		2		
		倫理学		2		
		社会思想史		2		
		ことばと人間		2		
		地理学		2		
		文化人類学		2		
		宗教と社会		2		
		法学		2		
		自然史		2		
		生物学		2		
		統計学		2		
		基礎数学		2		
		健康科学		2		
		トラベルメディスン		2		
		手話演習		2		
スポーツ		1				

別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目分類	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考	
		必修	選択			
専門科目	現代社会概論	2				
	学科共通科目	観光学概論	2		}	集中
		観光産業入門	2			
		グローバルコミュニケーション	2			
		観光マーケティング基礎	2			
		観光文化論	2			
		観光リスクマネジメント	2			
		特殊講義 I		2		
		特殊講義 II		2		
		特殊講義 III		2		
		特殊講義 IV		2		
		特殊講義 V		2		
		特殊講義 VI		2		
		特殊講義 VII		2		
		特殊講義 VIII		2		
		特殊講義 IX		2		
		特殊講義 X		2		
		観光文化学特別演習A		1		
		観光文化学特別演習B		1		
		観光文化学特別演習C		1		
	観光文化学特別演習D		1			
	観光文化学特別演習E		1			
	観光文化学特別演習F		1			
	観光文化学特別演習G		1			
	観光文化学特別演習H		1			
	両学科開講科目	陸上環境論		2		
		海洋環境論		2		
		環境倫理学		2		
		欧米文化論		2		
		アジア文化論		2		
		消費生活論		2		
		市場調査論		2		
労働社会学			2			
産業心理学			2			
消費者の心理			2			
現代経済理論			2			
日本経済とグローバル経済			2			
生活と経済			2			
中小企業論		2				
産業政策論		2				

別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目分類		科目名	単位数		卒業要件単位数	備考	
			必修	選択			
専門共通科目	両学科共通科目	イノベーション論		2			
		持続可能性経営論		2			
		企業の社会的責任		2			
		建築文化史(1)		2			
		建築文化史(2)		2			
専門科目	地域創造	地域創造論		2			
		サステイナブルツーリズム論		2			
		グリーンツーリズム論		2			
		エコツーリズム論		2			
		ヘリテージツーリズム論		2			
		フードツーリズム論		2			
		ウェルネスツーリズム論		2			
		スポーツツーリズム論		2			
	分野別専門科目	観光ビジネス	ホテルビジネス		2		
			ブライダルビジネス		2		
			旅行ビジネス		2		
			エアラインビジネス		2		
			観光ビジネスモデル論		2		
			観光交通産業論		2		
			観光経済論		2		
			インバウンドビジネス		2		
			テーマパーク・リゾートビジネス		2		
	グローバル	国際関係論	国際関係論		2		
			観光地理		2		
			世界遺産論		2		
			世界の食文化		2		
			ユニバーサルツーリズム論		2		
			日本地域研究		2		
			日本歴史文化論		2		
			東アジア地域研究		2		
			東南アジア地域研究		2		
			南・西アジア地域研究		2		
			北米地域研究		2		
中南米地域研究		2					
ヨーロッパ地域研究		2					
オセアニア地域研究		2					
アフリカ地域研究		2					

別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目分類	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
		必修	選択		
専門科目	演習	基礎演習Ⅰ	2		
		基礎演習Ⅱ	2		
		課題研究Ⅰ	2		
		課題研究Ⅱ	2		
		専門演習Ⅰ	2		
		専門演習Ⅱ	2		
		卒業研究Ⅰ	2		
		卒業研究Ⅱ	2		
		卒業論文		6	
基礎科目	【第Ⅰ群】 情報リテラシー	コンピュータ・リテラシーⅠ	2		
		コンピュータ・リテラシーⅡ		2	
		コンピュータ・リテラシーⅢ(ネットワーク・プレゼンテーション)		2	
		コンピュータ・リテラシーⅣ(データ処理演習)		2	
		リサーチ入門		1	
	【第Ⅰ群】 表現力	日本語表現(基礎)	2		
		日本語表現(応用)	2		
		日本語コミュニケーション実践		2	
		学習技術	1		
	留學生以外	総合英語Ⅰ	2		}12単位必修(留學生以外)
		総合英語Ⅱ	2		
		総合英語Ⅲ	2		
		総合英語Ⅳ	2		
		中国語・中国文化Ⅰ	2		
		中国語・中国文化Ⅱ	2		
	【第Ⅱ群】 留學生 国際コミュニケーション	総合日本語Ⅰ	2		}12単位必修(留學生)
		総合日本語Ⅱ	2		
		総合日本語Ⅲ	2		
		総合日本語Ⅳ	2		
		総合日本語Ⅴ	2		
総合日本語Ⅵ		2			
選択語学	選択英語A		2		
	選択英語B		2		
	選択英語C		2		
	選択英語D		2		
	選択英語E		2		
	選択英語F		2		
	選択英語G		2		
	選択英語H		2		
	選択英語I		2		

別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目分類	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考	
		必修	選択			
基礎科目	【第Ⅱ群】国際コミュニケーション 選択語学	選択中国語A		2		
		選択中国語B		2		
		選択中国語C		2		
		選択中国語D		2		
		選択中国語E		2		
		選択中国語F		2		
		選択中国語G		2		
		選択中国語H		2		
		選択中国語I		2		
		資格日本語Ⅰ		2	留学生のみ履修可	
	資格日本語Ⅱ		2	留学生のみ履修可		
	上級日本語Ⅰ		2	留学生のみ履修可		
	上級日本語Ⅱ		2	留学生のみ履修可		
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅰ		2			
	ドイツ語・ドイツ文化Ⅱ		2			
	イタリア語・イタリア文化Ⅰ		2			
	イタリア語・イタリア文化Ⅱ		2			
	ハングル・コリア文化Ⅰ		2			
	ハングル・コリア文化Ⅱ		2			
	スペイン語・スペイン文化Ⅰ		2			
	スペイン語・スペイン文化Ⅱ		2			
	フランス語・フランス文化Ⅰ		2			
	フランス語・フランス文化Ⅱ		2			
	海外留学		16	英語圏・中国語圏・国際理解		
	海外語学研修		4	前・後期集中		
	グローバルスタ	グローバルスタディⅠ		1		
		グローバルスタディⅡ		2		
		グローバルスタディⅢ		3		
	【第Ⅲ群】キャリア	キャリアガイダンスⅠ	2	2		
		キャリアガイダンスⅡ		2		
キャリアガイダンスⅢ		2				
キャリアガイダンスⅣ		2				
キャリアプランニングⅠ		2				
キャリアプランニングⅡ		2				
キャリアプランニングⅢ		2				
キャリアプランニングⅣ		2				
仕事とキャリア形成Ⅰ		2				
仕事とキャリア形成Ⅱ		2				
インターンシップ1A		1				
インターンシップ1B		1				
インターンシップ1C		1				
インターンシップ1D		1				



別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目 分類	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
		必修	選択		
基礎科目	インターンシップ1E		1		
	インターンシップ1F		1		
	インターンシップ1G		1		
	インターンシップ1H		1		
	インターンシップ2A		2		
	インターンシップ2B		2		
	インターンシップ2C		2		
	インターンシップ2D		2		
	インターンシップ2E		2		
	インターンシップ2F		2		
	インターンシップ2G		2		
	インターンシップ2H		2		
	コープ4A		4		
	コープ4B		4		
	コープ4C		4		
	コープ4D		4		
	コープ4E		4		
	コープ4F		4		
	コープ16		16		
	評価と実践Ⅰ		1		
	評価と実践Ⅱ		1		
リーダーシップ演習		1			
【第IV群】 教養科目	人間学Ⅰ	2			
	人間学Ⅱ	2			
	地域防災減災論		2		
	哲学		2		
	倫理学		2		
	社会思想史		2		
	ことばと人間		2		
	地理学		2		
	文化人類学		2		
	宗教と社会		2		
	法学		2		
	社会学		2		
	心理学		2		
	経営学		2		
	自然史		2		
生物学		2			
統計学		2			

別表別表1-7 現代社会学部観光学科

科目 分類	科目名	単位数		卒業要件単位数	備考
		必修	選択		
基礎 科目	【第 IV 群 】 教養 科目				
	基礎数学		2		
	健康科学		2		
	トラベルメディスン		2		
	手話演習		2		
	スポーツ		1		

別表第2-1～11 削除

別表第2-12

教育の基礎的理解に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		
		発達心理学		2		

別表第2-12-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[中学校・社会]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論		2	
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-12-3

教育実践に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[中学校・社会]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-13

教育の基礎的理解に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)			教育課程論		2	

別表第2-13-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[高等学校・公民]

総合的な学習の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論			2	
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-13-3

教育実践に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[高等学校・公民]

教育実習	5	教育実習Ⅰ		5	} 1科目以上 選択
		教育実習Ⅱ		3	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2	

別表第2-14

教科及び教科の指導法に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本史 及び 外国史	32	日本史概説 外国史概説 日本文化史	近代社会論	2 2 2	2	
地理学 (地誌を含む)		地理学 人文地理	地域民俗論	2 2	2	
法律学 政治学		法律学概論	人権と法	2	2	
社会学 経済学		国際社会と政治		2		
		社会学概論	現代社会論 現代家族論	2	2 2	
		経済学	国際経済論 マーケティング 犯罪学概論	2	2 4 2	
哲学 倫理学 宗教学	比較宗教論 倫理と社会生活	生命と倫理	2 2	2		
各教科の指導法(情報 機器及び教材の活用を 含む。)	社会科教育法 I 社会科教育法 II 社会科・公民科教育法 I 社会科・公民科教育法 II		2 2 2 2			

別表第2-15

教科及び教科の指導法に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
法律学 (国際法を含む) 政治学 (国際政治を含む)	24	法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学、経済学 (国際経済を含む)		社会学概論	現代社会論 現代家族論	2 2	2 2	
		経済学 国際経済論	マーケティング 犯罪学概論	2 2	4 2	
		倫理と社会生活	生命と倫理	2	2	
哲学 倫理学 宗教学 心理学		心理学概論		4		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ		2			
	社会科・公民科教育法Ⅱ		2			

別表第2-16

大学が独自に設定する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2 2		

別表第2-12(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-12-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-12-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-14(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-17

大学が独自に設定する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2	

別表第2-13(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-13-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-13-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-15(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。

別表第2-18

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会][高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-19~22 削除

別表第2-23

教育の基礎的理解に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	発達心理学	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-23-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論			2	
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-23-3

教育実践に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		



別表第2-24

教育の基礎的理解に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2		} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学		2 2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-24-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

総合的な学習の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論				
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)				2		

別表第2-24-3

教育実践に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことができる。)	5	教育実習Ⅰ		5	} 1科目以上 選択
		教育実習Ⅱ		3	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2	

別表第2-25

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報 機器及び教材の活用を 含む。)	英語科教育法Ⅰ		2			
	英語科教育法Ⅱ		2			
	英語科教育法Ⅲ		2			
	英語科教育法Ⅳ		2			

別表第2-26

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報 機器及び教材の活用を 含む。)	英語科教育法Ⅰ		2			
	英語科教育法Ⅱ		2			
	英語科教育法Ⅲ		2			
	英語科教育法Ⅳ		2			

## 別表第2-27

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2	2 2 2 2	
別表第2-23(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-23-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-23-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-25(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。						

## 別表第2-28

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2	
別表第2-24(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-24-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-24-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-26(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-29

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語][高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-30

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	16	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			初等学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目 以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論		2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		初等教育課程論 保育課程論		2 2		

別表第2-30-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	6		幼児教育方法論		2	
		初等教育方法論(情報機器の操作含む)		2		
幼児理解の理論及び方法		幼児理解		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		

別表第2-30-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

教育実習	7	幼稚園教育実習Ⅰ		2		
		幼稚園教育実習Ⅱ			2	
		幼稚園教育実習事前事後指導		1		
教職実践演習		教職実践演習(幼)		2		

別表第2-31

領域及び保育内容の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数					
		必修科目	選択科目	単位数		備考	
				必修	選択		
国語	16		国語Ⅰ 国語Ⅱ		2 2		
算数			算数Ⅰ 算数Ⅱ		2 2		
生活			生活		2		
音楽			音楽Ⅰ・器楽 音楽Ⅱ・器楽		1 1		
				音楽Ⅲ・伴奏法		1	
図画工作			造形Ⅰ		1		
				造形Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ		1 1 1	
体育			体育指導Ⅰ 体育指導Ⅱ		1 1		
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)				幼児指導法		2	
			保育内容総論		1		
			保育内容・健康		1		
			保育内容・人間関係		1		
			保育内容・環境		1		
			保育内容・言葉		1		
			保育内容・表現Ⅰ		1		
			保育内容・表現Ⅱ		1		

別表第2-32

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	14		ボランティア論 ボランティア実習 道德教育の指導法 心理学概論Ⅰ 社会学概論 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論 防災教育 障害児保育Ⅰ 障害児保育Ⅱ 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 社会的養護内容 保育相談支援 社会的養護		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2	
別表第2-30(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-30-2(道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-30-3(教育実践に関する科目)の21単位を超えて履修した科目及び別表第2-31(領域及び保育内容の指導法に関する科目)の16単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、14単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-33

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-34

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	14	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			初等学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論		2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		初等教育課程論		2		

別表第2-34-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		初等教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。 )の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法						
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。 )の理論および方法を含む)		生徒・進路指導論		2		

別表第2-34-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことが出来る。)	7	小学校教育実習Ⅰ 小学校教育実習Ⅱ		2	2	
		教育実習事前事後指導		1		
教職実践演習		教職実践演習(小)		2		

別表第2-35

教科及び教科の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
国語	30	国語Ⅰ (書写含む)	国語Ⅱ	2	2	
社会			社会Ⅰ 社会Ⅱ		2 2	
算数		算数Ⅰ	算数Ⅱ	2	2	
理科			理科Ⅰ 理科Ⅱ		2 2	
生活			生活		2	
音楽		音楽Ⅰ・器楽 音楽Ⅱ・器楽	音楽Ⅲ・伴奏法	1 1	1	
図画工作		造形Ⅰ	造形Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1	1 1 1	
家庭			家庭		2	
体育		体育指導Ⅰ 体育指導Ⅱ		1 1		
外国語		外国語		2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		初等国語科教育法 (書写含む) 初等社会科教育法 初等算数科教育法 初等理科教育法 初等音楽科教育法 初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法 初等体育科教育法 外国語の指導法	初等生活科教育法	2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	



## 別表第2-36

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	2		ボランティア論 ボランティア実習 社会学概論 心理学概論Ⅰ 教育と人間形成 災害と安全 防災教育 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2 2 2	

別表第2-34(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-34-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-34-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-35(教科及び教科の指導法に関する科目)の30単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、2単位以上を履修しなければならない。

## 別表第2-37

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-38

特別支援教育に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[特別支援学校教諭・知的障害者の教育に関する領域]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論		2		
特別支援教育領域に関する科目	4	知的障害者の心理		2		
		知的障害者の生理・病理		2		
	10	知的障害教育Ⅰ		2		
		知的障害教育Ⅱ		2		
知的障害者の言語障害指導 知的障害者の自立活動の理論と実際 知的障害児における情報機器等の活用と指導			2 2 2			
特別支援教育領域に関する科目	2	知的障害教育総論		2		
		知的障害教育総論		2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	2	障害児教育課程論		2		
	4	障害児教育論		2		
		重複障害・LD等教育総論		2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習(特別支援学校)		3		

別表第2-39

特別支援教育に関する科目(教育学部教育福祉学科)

[特別支援学校教諭・知的障害者、肢体不自由、病弱者の教育に関する領域]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数					
		必修科目	選択科目	単位数		備考	
				必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論		2			
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理		2			
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2			
		病弱者の心理・生理・病理		2			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	16	知的障害教育	知的障害者の言語障害指導 知的障害者の自立活動の理論と実際 知的障害児における情報機器等の活用と指導	2	2 2 2	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		肢体不自由教育 病弱教育		2 2			
			知的障害教育総論 肢体不自由教育総論 病弱教育総論		2 2 2	1科目選択必修	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		6	聴覚障害・視覚障害教育総論 重複障害教育総論 LD等教育総論	障害児教育論	2 2 2	2	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	3	教育実習(特別支援学校)		3		

別表第3

費目 学部・学科		入学 検定料	学 費			
			入学金	授業料 (年額)	教育改善費 (年額)	教材費 (年額)
経営学部	経営学科	円 35,000	円 300,000	円 857,000	円 262,000	円 40,000
人間科学部	人間心理学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
教育学部	教育福祉学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
保健医療学部	看護学科	35,000	300,000	1,278,000	262,000	40,000
現代社会学部	総合社会学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
	観光学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000

## 変更の事由及び変更の時期等を記載した書類

### (1)新旧の設置者名

新設置者名 学校法人濱名学院

旧設置者名 学校法人神戸山手学園

### (2)設置者変更をする事由

旧設置者である学校法人神戸山手学園は、神戸山手大学及び中高一貫校である、神戸山手女子中学校・高等学校を設置している。神戸山手大学及び神戸山手女子中学校・高等学校は、近年の少子化等の影響により入学者の減少が続くなど、学校法人の経営が困難な状況となってきた。そのような経過を受け、学校法人濱名学院と学校法人神戸山手学園は令和2年4月に法人合併を予定している。

このたびの設置者変更は、前述の学校法人の合併を前提としながら、両大学の持つ教育研究のリソースを充実させ、魅力ある高等教育を地域社会に提供するとともに、より安定した学校経営基盤の強化を図ることを目的とし、神戸山手大学現代社会学部を関西国際大学現代社会学部とするものである。

なお、関西国際大学現代社会学部は、神戸山手大学現代社会学部の教育目標、教育課程、教員組織、施設・設備を以下のように継承し同一性を保持するものである。

### 1)学部名称及び学位の分野・種類及び名称

このたびの学部の設置者変更による学部名称、学位の分野・種類及び名称の変更は下記のとおり行わない。

#### 設置者変更前

学部等の名称	学位の分野	学位名称
現代社会学部総合社会学科	社会学・社会福祉学関係、経済学関係、文学関係、工学関係	学士(学術)
現代社会学部観光学科	社会学・社会福祉学関係	学士(観光学)

#### 設置者変更後

学部等の名称	学位の分野	学位名称
現代社会学部総合社会学科	社会学・社会福祉学関係、経済学関係、文学関係、工学関係	学士(学術)
現代社会学部観光学科	社会学・社会福祉学関係	学士(観光学)

## 2) 教育研究上の目的及び教育目標

神戸山手大学現代社会学部規則に定められる、神戸山手大学現代社会学部の教育研究上の目的及び教育目標は〈1〉のとおりであり、関西国際大学現代社会学部は、神戸山手大学現代社会学部の教育研究上の目的及び教育目標を継承した上で、〈2〉で示す関西国際大学の教育目標の達成を目指す。

神戸山手大学現代社会学部はその教育目標に「個としての市民意識の形成」を、また関西国際大学はその教育理念に「心豊かな世界市民であろう」を掲げるなど、ともに「市民育成」を志向した大学であり、その教育目標の親和性は高い。また、関西国際大学の教育目標は、いわゆる「学士力」と呼ばれる学士号を取得する人材が最低限身につけておくべき能力と、それぞれの専門分野における専門的知識・技能を修得することを目標としているものであり、神戸山手大学現代社会学部の教育研究上の目的及び教育目標と反するものではなく、むしろ深化させるものである。

関西国際大学現代社会学部では、神戸山手大学現代社会学部の教育課程を保持した上で、関西国際大学の教育目標の達成を目指すため、3)教育課程で示す科目を追加する。

### 〈1〉神戸山手大学現代社会学部の教育研究上の目的及び教育目標

現代社会の諸問題を統合的視点から理解するための専門的学芸を教授するとともに、社会や文化について科学的に理解し問題解決を図る能力を持つ人間を育成することを目的とする。

この目的を達成するための教育目標は以下のとおりである。

1. 個としての市民意識の形成
2. 文化に対する広範で深い教養の修得と新たな文化創造のための豊かな感性の涵養
3. 知識・教養の実社会での運用能力と自己表現能力に優れた人材の育成

### 〈2〉関西国際大学の教育理念・教育目標

関西国際大学の教育理念

関西国際大学は、世界的視野に立ち、人間愛にあふれ、創造性豊かで行動力のある人間の育成をめざす、知性あふれる学問の場である、として次の3点を掲げている。

1. 自律できる人間であろう  
自己に厳しく、たえず努力し続ける人間になろう。
2. 社会に貢献できる人間であろう  
自ら創造し、積極的に行動する人間になろう。
3. 心豊かな世界市民であろう  
世界の人々と共に生き、互いを高めうる人間になろう。

## 関西国際大学の教育目標

### [1] 自律的で主体的な態度(自律性)

自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ意欲的に行動することができます。

### [2] 社会に能動的に貢献する姿勢(社会的貢献性)

集団や社会のために他者とともに行動し、貢献することができます。

### [3] 多様な文化や背景を理解し受け入れる能力(多様性理解)

世界に住まう人々の文化や社会が多様であることに理解を深め、世界市民として行動できます。

### [4] 問題発見・解決力

根拠にもとづいて、問題を発見したり解決のアイデアを構想したりする思考力や判断力を身につけ、問題を解決することができます。

### [5] コミュニケーションスキル

国内外を問わず、社会生活の様々な場面で、他者の思いや考えを理解するとともに、自分の考えを的確に表現し、意見を交わすことができます。

### [6] 専門的知識・技能の活用力

自ら学ぶ学位プログラムの基礎となる専門的知識・技能を修得し、実際に想定した場面で活用することができます。

## 〈3〉神戸山手大学現代社会学部の教育目標と関西国際大学の教育理念・教育目標の関係性

これら、関西国際大学の教育理念・教育目標と、神戸山手大学現代社会学部の教育目標は次のような親和性がある。

### 1. 個としての市民意識の形成

神戸山手大学現代社会学部の教育目標の一つとして、“個としての市民意識の形成”を掲げている。ここでいう市民とは、個人としての主体性を持ちながら、コミュニティの一員としての自覚と、公益に対し積極的に関わる態度を持つものである。関西国際大学の教育理念は、“心豊かな世界市民”として必要な、自律性、社会的貢献性、多様性理解といった態度・能力を持った人材の育成にあり、神戸山手大学現代社会学部の教育目標である“個としての市民意識の形成”に合致するものである。

### 2. 文化に対する広範で深い教養の修得と新たな文化創造のための豊かな感性の涵養

神戸山手大学現代社会学部の教育目標の一つとして掲げられている、“文化に対する広範で深い教養の修得と新たな文化創造のための豊かな感性の涵養”は、まさしく関西国際大学の教育理念に掲げる“心豊かな世界市民”にとって必要な資質である。

### 3. 知識・教養の実社会での運用能力と自己表現能力に優れた人材の育成

神戸山手大学現代社会学部の教育目標の一つとして掲げられている、“知識・教養の実社会での運用能力と自己表現能力に優れた人材の育成”は、単に大学での学びを知識・教養の獲得だけに押し留めることなく、実社会での活用まで目指すものである。関西国際大学の教育目標には、専門的知識・技能の活用力やコミュニケーションスキルの獲得を掲げ、大学での学びで得た知識・技能を、実際の現場にて活用できることを目標としている。

### 3) 教育課程

前述したように、関西国際大学の教育目標と神戸山手大学現代社会学部の教育目標は親和性がある。同一性の担保の観点から、関西国際大学現代社会学部では神戸山手大学現代社会学部の教育課程を継承するが、関西国際大学の教育目標で掲げている「自律性」「社会的貢献性」「多様性理解」「問題発見・解決力」「コミュニケーションスキル」といった態度・能力獲得の更なる向上をはかるため、下記の科目を追加する。

	科目名	追加理由
1	学習技術	大学で学ぶための総合的なリテラシーの修得を目的とする
2	リサーチ入門	リサーチ(特に質的)に関する基礎的な知識・技能の修得を目的とする。
3	グローバルスタディⅠ	関西国際大学における教育の柱の一つである「グローバル教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である多様性理解を深めることを目的とする。
4	グローバルスタディⅡ	関西国際大学における教育の柱の一つである「グローバル教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である多様性理解を深めることを目的とする。
5	グローバルスタディⅢ	関西国際大学における教育の柱の一つである「グローバル教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である多様性理解を深めることを目的とする。
6	評価と実践Ⅰ	汎用的能力獲得の基盤である。関西国際大学における教育の柱の一つである「マネジメント教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である自律性を養うことを目的とする。
7	評価と実践Ⅱ	汎用的能力獲得の基盤である。関西国際大学における教育の柱の一つである「マネジメント教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である自律性を養うことを目的とする。
8	リーダーシップ演習	リーダーシップの理論とスキル獲得を目的とする。
9	人間学Ⅰ	関西国際大学の教養科目の基盤である。
10	人間学Ⅱ	関西国際大学の教養科目の基盤である。



	科目名	追加理由
11	地域防災減災論	関西国際大学の教育の柱の一つである「セーフティ教育」を実践し、関西国際大学の教育目標である社会的貢献性を養うことを目的とする。

また、関西国際大学に現代社会学部が設置者変更されることによって、卒業要件単位(124 単位から 126 単位へ)、1 学期の授業期間(14 週から 15 週へ)、1 学年の学期区分(前後期の2学期制から春夏秋冬の4学期制へ)、1 時限の授業時間数(100 分から 90 分へ)を変更しているが、このことによって教育内容が変わることはない。

#### 4) 教員組織

関西国際大学現代社会学部は、神戸山手大学現代社会学部の教員組織を継承する。神戸山手大学現代社会学部における専任教員と関西国際大学現代社会学部における専任教員は、下記のとおり何ら変更を行うものではない。

##### ①教員一覧新旧対比(現代社会学部総合社会学科)

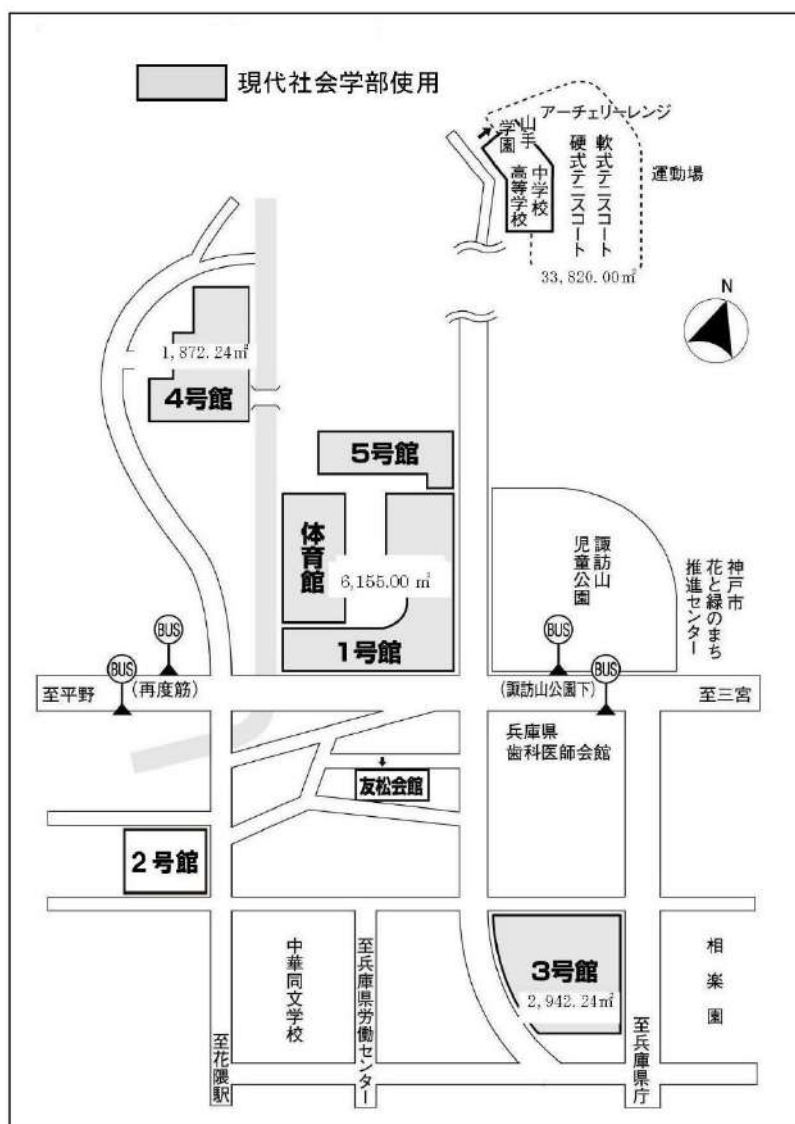
(新) 関西国際大学現代社会学部総合社会学科				(旧) 神戸山手大学現代社会学部総合社会学科			
職位	氏名	年齢	学位	職位	氏名	年齢	学位
教授	飯嶋 香織	61	修士(教育学)	教授	飯嶋 香織	61	修士(教育学)
教授	井上 尚之	65	博士(学術)	教授	井上 尚之	65	博士(学術)
教授	加藤 恵介	61	文学修士	教授	加藤 恵介	61	文学修士
教授	田中 栄治	53	工学修士	教授	田中 栄治	53	工学修士
教授	山隈 直人	55	工学士	教授	山隈 直人	55	工学士
教授	吉岡 英二	62	理学博士	教授	吉岡 英二	62	理学博士
准教授	阿部 忍	55	文学修士	准教授	阿部 忍	55	文学修士
准教授	佐伯 恵里 奈	44	博士(心理学)	准教授	佐伯 恵里 奈	44	博士(心理学)
准教授	永井 純一	42	博士(社会学)	准教授	永井 純一	42	博士(社会学)
准教授	行木 敬	50	修士(文学)	准教授	行木 敬	50	修士(文学)
准教授	村上 幸史	48	博士 (人間科学)	准教授	村上 幸史	48	博士 (人間科学)
講師	須崎 暁世	34	博士(学術)	講師	須崎 暁世	34	博士(学術)
講師	八木 寛之	39	博士(文学)	講師	八木 寛之	39	博士(文学)

②教員一覧新旧対比(現代社会学部観光学科)

(新) 関西国際大学現代社会学部観光学科				(旧) 神戸山手大学現代社会学部観光学科			
職位	氏名	年齢	学位	職位	氏名	年齢	学位
教授	岡本 久	55	芸術学士	教授	岡本 久	55	芸術学士
教授	小野田 金司	62	修士(経済学)	教授	小野田 金司	62	修士(経済学)
教授	小磯 学	59	Ph.D(インド)	教授	小磯 学	59	Ph.D(インド)
教授	齋藤 富雄	75	法学士	教授	齋藤 富雄	75	法学士
教授	櫻井 一成	65	医学博士	教授	櫻井 一成	65	医学博士
教授	佐藤 勝秀	59	修士(経営情報学)	教授	佐藤 勝秀	59	修士(経営情報学)
教授	清水 隆吉	67	経営学士	教授	清水 隆吉	67	経営学士
教授	傍嶋 則之	58	修士(政策科学)	教授	傍嶋 則之	58	修士(政策科学)
教授	橘 セツ	53	Ph.D(英国)	教授	橘 セツ	53	Ph.D(英国)
教授	西村 典芳	58	修士(人間科学)	教授	西村 典芳	58	修士(人間科学)
教授	松村 博之	66	社会学士	教授	松村 博之	66	社会学士
教授	吉田 誠	65	政治学士	教授	吉田 誠	65	政治学士
教授	渡辺 卓也	56	理学博士	教授	渡辺 卓也	56	理学博士
准教授	蝦名 大助	47	修士(文学)	准教授	蝦名 大助	47	修士(文学)
准教授	高根沢 均	45	修士(教育学) 修士(学術)	准教授	高根沢 均	45	修士(教育学) 修士(学術)
准教授	田中 智子	48	修士(文学)	准教授	田中 智子	48	修士(文学)
准教授	疋田 浩一	50	博士(工学)	准教授	疋田 浩一	50	博士(工学)
准教授	松本 亮	44	文学博士	准教授	松本 亮	44	文学博士
講師	安川 佳子	42	修士(教育学)	講師	安川 佳子	42	修士(教育学)
講師	田中 圭	38	博士(商学)	講師	田中 圭	38	博士(商学)
講師	山下 紗矢佳	32	博士(経営学)	講師	山下 紗矢佳	32	博士(経営学)
講師	劉 争	41	修士(学術)	講師	劉 争	41	修士(学術)

## 5) 施設・設備

関西国際大学現代社会学部は、神戸山手大学現代社会学部の施設・設備を継承する。神戸山手大学現代社会学部は、下記に示す神戸山手大学 1 号館、3 号館、4 号館、5 号館及び運動場において、教育研究活動を行っているが、関西国際大学現代社会学部においても、同様の施設・設備を使用する。また、今後は関西国際大学が推進している、アクティブ・ラーニングや経験学修といった教育手法を導入することとしており、必要となる施設・設備の整備を行っていく。



### ②変更の時期

2020年(令和2年)4月1日とする

### ③寄附行為(案)

# 学校法人濱名学院 寄附行為（案）

（平成24年9月27日理事会改訂）

## 第1章 総 則

（名 称）

第1条 この法人は、学校法人濱名学院と称する。

（事務所の所在地）

第2条 この法人は、事務所を兵庫県尼崎市潮江一丁目3番23号に置く。

## 第2章 目的及び事業

（目 的）

第3条 この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

（設置する学校）

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

- |            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| (1) 関西国際大学 | 大 学 院         | 人間行動学研究科<br>看護学研究科 |
|            | 教育学部          | 教育福祉学科             |
|            | 国際コミュニケーション学部 | 英語コミュニケーション学科      |
|            | 人間科学部         | 人間心理学科             |
|            | 経営学部          | 経営学科               |
|            | 保健医療学部        | 看護学科               |
|            | 現代社会学部        | 総合社会学科<br>観光学科     |

- (2) 関西保育福祉専門学校 保育専門課程  
社会福祉専門課程

- (3) 認定こども園難波愛の園幼稚園

（収益事業）

第5条 （削除）

### 第3章 役員及び理事会

#### （役員）

第6条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 9人から10人
  - (2) 監事 2人
- 2 理事のうち1人を理事長とし、理事総数の過半数の議決により選任する。理事長の職を解任するときも、同様とする。
  - 3 理事のうち1人を常務理事とすることができるものとし、理事総数の過半数の議決により選任する。
  - 4 常務理事は、この法人の業務全般について理事長を補佐する。

#### （理事の選任）

第7条 理事は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 関西国際大学学長
  - (2) 関西保育福祉専門学校校長
  - (3) この法人の設置する学校の職員のうちから、理事会において選任した者 1人
  - (4) 評議員のうちから、評議員会において選任した者 2人
  - (5) 学識経験者のうちから、理事会において選任した者 4人から5人
- 2 前項第1号、第2号、第3号及び第4号の理事は、学長、校長、職員又は評議員の職を退いたときは、理事の職を失うものとする。

#### （監事の選任及び職務）

第8条 監事は、この法人の理事、職員（学長、校長、園長、教員その他の職員を含む。以下同じ。）又は評議員以外の者であって理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て、理事長が選任する。

- 2 監事は、次の各号に掲げる職務を行う。
  - (1) この法人の業務を監査すること。
  - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
  - (3) 第1号又は第2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したときは、これを文部科学大臣に報告し、又は理事会及び評議員会に報告すること。
  - (3)–2 この法人の業務又は財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2月以内に理事会及び評議員会に提出すること。
  - (4) 3号の報告をするために必要があるとき、理事長に対して評議員会の招集を請求すること。
  - (5) この法人の業務又は財産の状況について、理事会に出席して意見を述べること。

（親族関係等の制限）

第9条 この法人の理事のうちには、各理事について、その親族その他特殊の関係がある者が1人を超えて含まれることになってはならない。

2 この法人の監事には、この法人の理事若しくはその親族その他特殊の関係がある者又は職員（学長、校長及び教員を含む。以下同じ。）が含まれることになってはならない。

3 この法人の監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

（役員任期）

第10条 役員（第7条第1項第1号及び第2号に掲げる理事を除く。以下この条において同じ。）の任期は、4年とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。

（役員補充）

第11条 理事又は監事のうち、その定数の5分の1を超えるものが欠けたときは、1月以内に補充しなければならない。

（役員解任及び退任）

第12条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事総数の4分の3以上出席した理事会において、理事総数の4分の3以上の議決及び評議員会の議決により、これを解任することができる。

(1) 法令の規定又はこの寄附行為に著しく違反したとき。

(2) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき。

(3) 職務上の義務に著しく違反したとき。

(4) 役員たるにふさわしくない重大な非行があったとき。

2 役員は次の事由によって退任する。

(1) 任期の満了。

(2) 辞任。

(3) 学校教育法第9条各号に掲げる事由に該当するに至ったとき。

（理事会）

第13条 この法人に理事をもって組織する理事会を置く。

1-2 理事会は、学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

2 （削除）

3 理事会は、理事長が招集する。

4 理事長は、理事総数の3分の2以上の理事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から7日以内に、これを招集しなければならない。

5 理事会を招集するには、各理事に対して会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を書面により通知しなければならない。

- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りではない。
- 7 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。
- 8 理事長が第4項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。
- 9 理事会は、この寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の過半数の理事が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。ただし、第12項の規定による除斥のため過半数に達しないときは、この限りでない。
- 10 前項の場合において、理事会に付議される事項につき、書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 11 理事会の議事は、法令及びこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 理事会の決議について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

（業務の決定）

第14条 この法人の業務は、理事会で決定する。

（理事長の職務）

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

（理事の代表権の制限）

第16条 理事長以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない。

（理事長職務の代理等）

第17条 理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、あらかじめ理事長が指名した理事が、その職務を代理し、又はその職務を行う。

（議事録）

第18条 議長は、理事会の開催の場所及び日時並びに議決事項及びその他の事項について、議事録を作成しなければならない。

- 2 議事録には、出席した理事全員が署名押印し、常にこれを事務所に備えて置かなければならない。

## 第4章 評議員会及び評議員

### （評議員会）

第19条 この法人に、評議員会を置く。

- 2 評議員会は、理事数の2倍を超える20人から22人の評議員をもって組織する。
- 3 評議員会は、理事長が招集する。
- 4 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内にこれを招集しなければならない。
- 5 評議員会を招集するには、各評議員に対して会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を、書面により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りではない。
- 7 評議員会に議長を置き、議長は、評議員のうちから評議員会において選任する。
- 8 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その会議を開き、議決することができない。
- 9 前項の場合において、評議員会に付議される事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 10 評議員会の議事は、出席した評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 議長は評議員として議決に加わることができない。

### （議事録）

第20条 第18条の規定は、評議員会の議事録について準用する。この場合において、同条第2項中「出席した理事全員」とあるのは、「議長及び出席した評議員のうちから互選された評議員2人以上」と読み替えるものとする。

### （諮問事項）

第21条 次の各号に掲げる事項については、理事長において、あらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。

- (1) 予算、借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）及び基本財産の処分並びに運用財産中の不動産及び積立金の処分
- (1)-2 事業計画
- (2) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (3) 寄附行為の変更
- (4) 合併
- (5) 目的たる事業の成功の不能による解散
- (6) 削除
- (7) 寄附金品の募集に関する事項
- (8) その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの



（評議員会の意見具申等）

第 22 条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができる。

（評議員の選任）

第 23 条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) この法人の職員で理事会において推薦された者のうちから、評議員会において選任した者 7 人
- (2) この法人の設置する学校を卒業した者で年令 25 歳以上のものうちから、理事会において選任した者 5 人
- (3) 学識経験者のうちから、理事会において選任した者 8 人から 10 人

2 前項第 1 号に規定する評議員は、この法人の職員の地位を退いたときは、評議員の職を失うものとする。

（評議員の解任及び退任）

第 24 条 評議員が次の各号の一に該当するに至ったときは、評議員総数の 3 分の 2 以上の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき。
- (2) 評議員たるにふさわしくない重大な非行があったとき。

2 評議員は次の事由によって退任する。

- (1) 任期の満了。
- (2) 辞任。

（任 期）

第 25 条 評議員の任期は、4 年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 評議員は、再任されることができる。

3 評議員は、任期満了の後でも、後任の評議員が選任されるまでは、なおその職務を行う。

## 第 5 章 資産及び会計

（資 産）

第 26 条 この法人の資産は、財産目録記載のとおりとする。

（資産の区分）

第 27 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、運用財産とする。

2 基本財産は、この法人の設置する学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金とし、財産目録中基本財産の部に記載する財産及び将来基本財産に編入された財産とする。

3 運用財産は、この法人の設置する学校の経営に必要な財産とし、財産目録中運用財産の部に記載する財産及び将来運用財産に編入された財産とする。

4 （削除）

5 寄附金品については、寄附者の指定がある場合には、その指定に従って基本財産、運用財産に編入する。

（基本財産の処分の制限）

第 28 条 基本財産は、これを処分してはならない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事総数の 3 分の 2 以上の議決を得て、その一部に限り処分することができる。

（積立金の保管）

第 29 条 基本財産及び運用財産中の積立金は、確実な有価証券を購入し、又は確実な信託銀行に信託し、又は確実な銀行に定期預金とし、若しくは定額郵便貯金として理事長が保管する。

（経費の支弁）

第 30 条 この法人の設置する学校の経営に要する費用は、基本財産並びに運用財産中の不動産及び積立金から生ずる果実、授業料収入、入学金収入、検定料収入その他の運用財産をもって支弁する。

（会 計）

第 31 条 （削除）

2 この法人の会計は、学校法人会計基準により行う。

（事業計画及び予算）

第 32 条 この法人の事業計画及び予算は、毎会計年度開始前に理事長が編成し、理事会において出席した理事の 3 分の 2 以上の議決を得なければならない。これに重要な変更を加えようとするときも、同様とする。

（予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄）

第 33 条 予算をもって定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会において出席した理事の 3 分の 2 以上の議決がなければならない。借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）についても、同様とする。

（決算及び実績の報告）

第 34 条 この法人の決算は、毎会計年度終了後 2 月以内に作成し、監事の意見を求めるものとする。

2 理事長は、毎会計年度終了後 2 月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、そ

の意見を求めなければならない。

3 （削除）

（財産目録等の備付及び閲覧）

第 35 条 この法人は、毎会計年度終了後 2 月以内に財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書を作成しなければならない。

2 この法人は、前項の書類及び第 8 条第 2 項第 3 号-2 の監査報告書を事務所に備えて置き、この法人の設置する私立学校に在学する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。

（資産総額の変更登記）

第 36 条 この法人の資産総額の変更は、毎会計年度末の現在により、会計年度終了後 3 月以内に登記しなければならない。

（会計年度）

第 37 条 この法人の会計年度は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終るものとする。

## 第 6 章 解散及び合併

（解 散）

第 38 条 この法人は、次の各号に掲げる事由によって解散する。

- (1) 理事会における理事総数の 3 分の 2 以上の議決及び評議員会の議決
- (2) この法人の目的たる事業の成功の不能となった場合で、理事会における出席した理事の 3 分の 2 以上の議決
- (3) 合 併
- (4) 破 産
- (5) 文部科学大臣の解散命令

2 前項第 1 号に掲げる事由による解散にあつては、文部科学大臣の認可を、同項 第 2 号に掲げる事由による解散にあつては、文部科学大臣の認定を受けなければならない。

（残余財産の帰属者）

第 39 条 この法人が解散した場合（合併又は破産によって解散した場合を除く。）における残余財産は、解散のときにおける理事会において出席した理事の 3 分の 2 以上の議決により選定した学校法人又は教育の事業を行う公益法人に帰属する。

（合 併）

第 40 条 この法人が合併しようとするときは、理事会において理事総数の 3 分の 2 以上の議決を得て、文部科学大臣の認可を受けなければならない。

## 第7章 寄附行為の変更

（寄附行為の変更）

第41条 この寄附行為を変更しようとするときは、理事会において出席した理事の3分の2以上の議決を得て、文部科学大臣の認可を受けなければならない。

2 私立学校法施行規則に定める届出事項については、前項の規定にかかわらず、理事会において出席した理事の3分の2以上の議決を得て、文部科学大臣に届け出なければならない。

## 第8章 補 則

（書類及び帳簿の備付）

第42条 この法人は、第35条第2項の書類のほか、次の各号に掲げる書類及び帳簿を、常に事務所に備えて置かなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 役員及び評議員の名簿及び履歴書
- (3) 収入及び支出に関する帳簿及び証ひょう書類
- (4) その他必要な書類及び帳簿

（公告の方法）

第43条 この法人の公告は、学校法人濱名学院の掲示場に掲示して行う。

（施行細則）

第44条 この寄附行為の施行についての細則その他この法人及びこの法人の設置する学校の管理及び運営に関し必要な事項は、理事会が定める。

附 則

この寄附行為は、文部大臣認可の日（平成3年7月2日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部大臣認可の日（平成9年12月19日）から施行する。

附 則

平成10年3月24日文部大臣認可のこの寄附行為は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部大臣認可の日（平成12年12月21日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成16年11月30日）から施行する。

2 ただし、前項の変更により増員された第23条第1項第3号の評議員2名の任期については、第25条第1項の規定にかかわらず、平成20年5月7日までとし、第25条第1項の規定は、平成20年5月8日より適用するものとする。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成17年5月20日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成18年3月30日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成19年3月22日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成22年7月26日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成24年11月8日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成25年2月27日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成26年10月31日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成29年4月1日から施行する。

（関西国際大学教育学部英語教育学科の存続に関する経過措置）

関西国際大学教育学部英語教育学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず平成29年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成29年7月25日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、2019年4月1日から施行する。

（関西国際大学教育学部英語コミュニケーション学科および関西国際大学人間科学部経営学科の存続に関する経過措置）

関西国際大学教育学部英語コミュニケーション学科および関西国際大学人間科学部経営学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この寄附行為は、2020年4月1日から施行する。